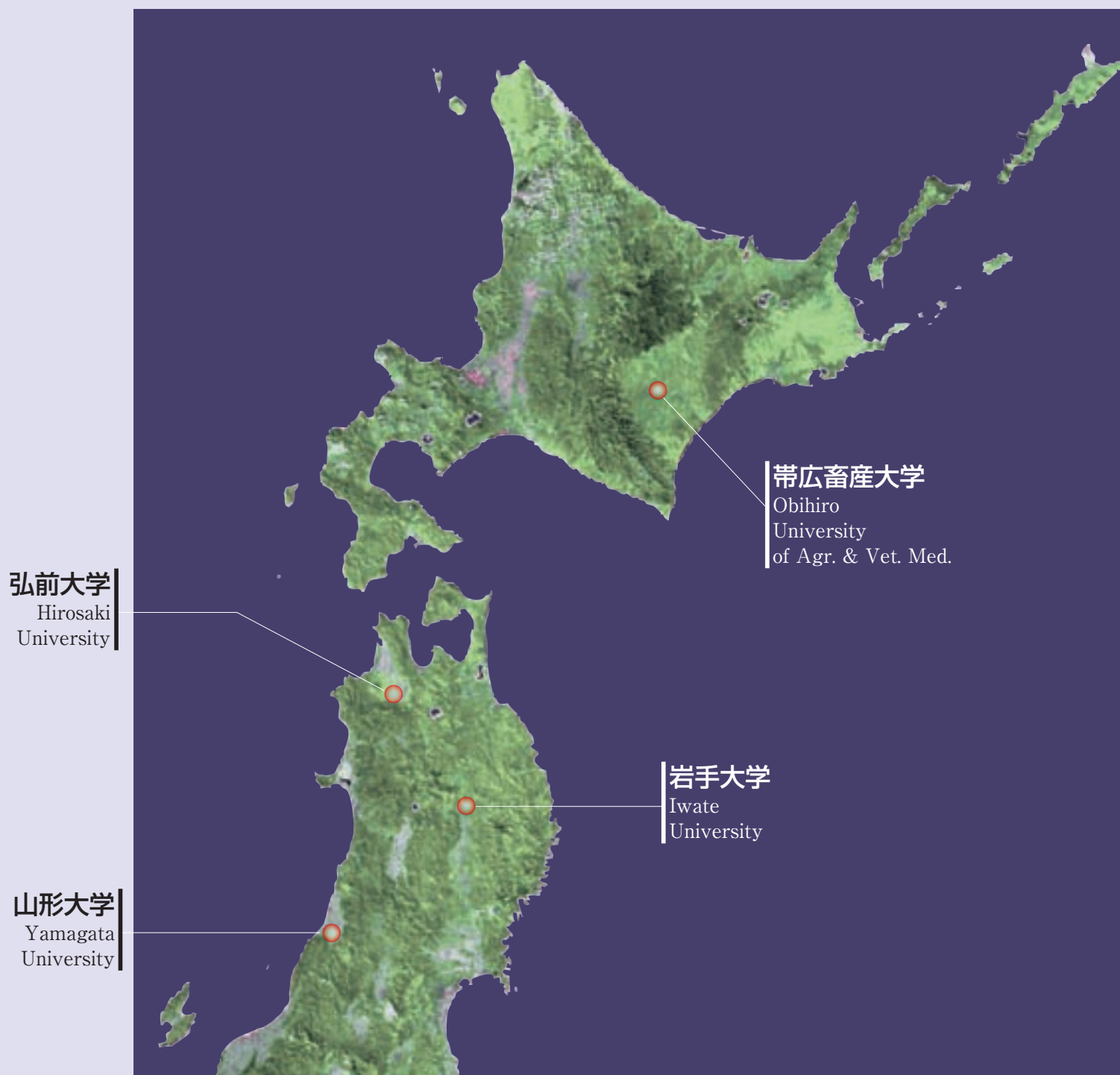


連大年報

No.13 (2010.4~2011.3)



平成24年12月

岩手大学大学院連合農学研究科

第1部 教 育 活 動

第1章 学生の受け入れ

1 学生の在籍状況

平成22年度

在籍学生数（全体）

平成22年5月1日現在

区分	専 攻	連合講座	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	合 計
旧 専 攻	生 物 生 産 科 学	植 物 生 産 学					
		動 物 生 産 学	1				1
		森 林 経 済 学					
	生 物 資 源 科 学	生物機能開発学					
		ゲノム工学		1			1
		生物資源工学					
		生物資源化学					
	生 物 環 境 科 学	生 産 環 境 学					
		地域資源工学	1				1
		環 境 管 理 学					
	小 計		2	1	0	0	3
新 専 攻	生 物 生 産 科 学	植 物 生 産 学	4	1			5
		動 物 生 産 学	7		3	4	14
		生 物 制 御 学	2	5	5	1	13
	生 物 資 源 科 学	生物機能開発学		5	1		6
		ゲノム工学	7	7		1	15
		生物資源利用学	3		4	5	12
	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	12	3		1	16
	生 物 環 境 科 学	地域資源経済学	4	4	5	2	15
		地域環境工学	4	3		4	11
		地域環境管理学	5		2	3	10
	小 計		48	28	20	21	117
	合 計		50	29	20	21	120

在籍学生数(入学年度別)

平成 22 年 5 月 1 日現在

入学 年度	専 攻	連合講座	学生数	配 属 大 学			
				岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
平成 22 年度	生物生産 科 学	植 物 生 産 学					
		動 物 生 産 学	4(1)	1		2	1(1)
		生 物 制 御 学	3(1)		2(1)	1	
		計	7(2)	1	2(1)	3	1(1)
	生物資源 科 学	生 物 機 能 開 発 学	1(1)			1(1)	
		ゲ ノ ム 工 学	1	1			
		生 物 資 源 利 用 学	2(1)	1(1)			1
		計	4(2)	2(1)	0(0)	1(1)	1
	寒冷圏生命 システム学	熱・生命システム学	4(2)	3(1)			1(1)
		計	4(2)	3(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	生物環境 科 学	地 域 資 源 経 済 学	4(2)	1	1(1)	1(1)	1
		地 域 環 境 工 学	1		1		
		地 域 環 境 管 理 学	1			1	
		計	6(2)	1	2(1)	2(1)	1
	小 計		21(8)	7(2)	4(2)	6(2)	4(2)
平成 21 年度	生物生産 科 学	植 物 生 産 学	1(1)	1(1)			
		動 物 生 産 学	7(4)	3(2)		1	3(2)
		生 物 制 御 学	1				1
		計	9(5)	4(3)	0(0)	1(0)	4(2)
	生物資源 科 学	生 物 機 能 開 発 学	2(1)		2(1)		
		ゲ ノ ム 工 学	4(2)	1	3(2)		
		生 物 資 源 利 用 学	2				2
		計	8(3)	1(0)	5(3)	0(0)	2(0)
	寒冷圏生命 システム学	熱・生命システム学	3(3)	2(2)	1(1)		
		計	3(3)	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)
	生物環境 科 学	地 域 資 源 経 済 学	4(1)		1(1)	3	
		地 域 環 境 工 学	5(2)	2(1)	1(1)		2
		地 域 環 境 管 理 学	4(1)	1(1)			3
		計	13(4)	3(2)	2(2)	3(0)	5(0)
	小 計		33(15)	10(7)	8(6)	4(0)	11(2)

入学 年度	専 攻	連合講座	学生数	配 属 大 学			
				岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
平成 20 年度	生物生産 科 学	植 物 生 産 学	4(1)	3(1)	1		
		動 物 生 産 学	3	2		1	
		生 物 制 御 学	4(1)		2(1)	2	
		計	11(2)	5(1)	3(1)	3(0)	0(0)
	生物資源 科 学	生 物 機 能 開 発 学	1		1		
		ゲ ノ ム 工 学	3		3		
		生 物 資 源 利 用 学	5(1)	1		2(1)	2
		計	9(1)	1(0)	4(0)	2(1)	2(0)
	寒冷圏生命 システム学	熱・生命システム学	6(3)	4(2)	2(1)		
		計	6(3)	4(2)	2(1)	0(0)	0(0)
	生物環境 科 学	地 域 資 源 経 済 学	3(1)		2		1(1)
		地 域 環 境 工 学	3(1)	2	1(1)		
		地 域 環 境 管 理 学	1			1	
		計	7(2)	2(0)	3(1)	1(0)	1(1)
	小 計		33(8)	12(3)	12(3)	6(1)	3(1)
平成 19 年度	生物生産 科 学	植 物 生 産 学					
		動 物 生 産 学	1(1)	1(1)			
		生 物 制 御 学	4(1)	2(1)	1	1	
		計	5(2)	3(2)	1(0)	1(0)	0(0)
	生物資源 科 学	生 物 機 能 開 発 学	2	1	1		
		ゲ ノ ム 工 学	5(1)	4(1)			1
		生 物 資 源 利 用 学	2	0		2	
		計	9(1)	5(1)	1(0)	2(0)	1(0)
	寒冷圏生命 システム学	熱・生命システム学	1	1			0
		計	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	生物環境 科 学	地 域 資 源 経 済 学	2(1)	1		1(1)	
		地 域 環 境 工 学	1				1
		地 域 環 境 管 理 学	3	3			
		計	6(1)	4(0)	0(0)	1(1)	1(0)
	小 計		21(4)	13(3)	2(0)	4(1)	2(0)

入学 年度	専攻	連合講座	学生数	配 属 大 学			
				岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
平成18年度	生物生産科学	計	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	生物資源科学	生物機能開発学	1		1		
		ゲノム工学	1		1		
		生物資源利用学	1	1			
		計	3(0)	1(0)	2(0)	0(0)	0(0)
	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	2(1)	2(1)			
		計	2(1)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	生物環境科学	地域資源経済学	2	2			
		地域環境工学	1				1
		地域環境管理学	1	1			
		計	4(0)	3(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	小計		9(1)	6(1)	2(0)	0(0)	1(0)
平成17年度	生物生産科学	動物生産学	1	1			
		計	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	生物資源科学	ゲノム工学	1		1		
		計	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
	生物環境科学	地域環境工学	1	1			
		計	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	小計		3(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)
合 計		120(36)	50(16)	29(11)	20(4)	21(5)	

() 内は外国人留学生で内数

2 外国人留学生在籍状況

(新専攻)

専攻		生物生産科学						生物資源科学						寒冷圏生命システム学		生物環境科学						合 計											
連合講座		植物生産学		動物生産学		生物制御学		生物機能開発学		ゲノム工学		生物資源利用学		熱・生命システム学		地域資源経済学		地域環境工学		地域環境管理学													
配属大学	国 籍	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	山形大学	帯広畜産大学		
パングラデシュ					2			1	1			1																3	2	1	6		
ミャンマー							2																							2	2		
インドネシア					1												1												2		2		
タイ																	1												1		1		
フィリピン											1						1												1	1	2		
中 国		2						1					2		1	1	3	1	1	2	2		1	1		1		1	8	7	3	2	
エジプト												1						1				1							1	1	1	3	
小 計		2			3		2	1	2			1	2		1	1	6	2	1		2	2	1	1	2		1		1	16	11	4	5
計		2		5		3		2		3		2		9		5		3		2						36							
合 計		10						7						9		10																	

3 社会人学生在籍状況

(旧専攻)

平成 22 年 5 月 1 日現在

構成大学	生物生産科学			生物資源科学				生物環境科学			合 計
	植 物 生産学	動 物 生産学	農 林 経済学	生物機能 開発学	ゲノム 工学	生 物 資源学	生 物 資源学	生 産 環境学	地 域 資源学	環 境 管理学	
岩手大学									1		1
弘前大学											
山形大学											
帯広畜産大学											
合 計									1		1

(新専攻)

構成大学	生物生産科学			生物資源科学				寒冷圏生命システム学	生物環境科学			合 計
	植 物 生産学	動 物 生産学	生 物 制御学	生物機能 開発学	ゲノム 工学	生物資源 利用学	熱・生命 システム学	熱・生命 システム学	地域資源 経済学	地 域 環境工学	地域環境 管理学	
岩手大学	2	2			3	1	4		4	3	1	20
弘前大学	1			1	1							3
山形大学		2	4			2			3			11
帯広畜産大学			1		1	3				4	1	10
合 計	3	4	5	1	5	6	4		7	7	2	44

4 新入生の研究テーマと指導教員

平成 22 年度

平成 22 年 4 月入学

専攻	連合講座	配属大学	氏名	性別	研究題目	主指導教員	第一副指導教員	第二副指導教員	補助教員
生物生産科学	動物生産学	岩手	カマダ ハルキ 鎌田 晴己	男	ウシ超早期妊娠因子 (Super-EPP) に関する研究	松原 和衛	山下 哲郎	木村 直子	平田 統一
		山形	マツダ オウミ 松田 朗海	男	モンゴル国ゴビ地域の牧畜における適正な栄養学的飼養管理に関する研究	堀口 健一	高橋 敏能	花田 正明	
		山形	モリタ マサユキ 森田 昌孝	男	吸引通気式堆肥化システムより回収された硫酸を利用した低コスト・低環境負荷型飼料米生産に関する研究	吉田 宣夫	堀口 健一	松崎 正敏	
		帯広畜産	THAN THAN シント SINT	女	Regulatory mechanism of ghrelin and insulin release in response to oxyntomodulin administration in ruminants.	桑山 秀人	鈴木 三義	鈴木 裕之	
	生物制御学	弘前	カリム KARIM, サイフル Saiful	男	The study on the effects of organic matter application on the properties of soil humic acids	青山 正和	松山 信彦	筒木 潔	
		弘前	ヒラヤマ カズユキ 平山 和幸	男	分子系統解析によるプレオスボラ目の系統考察と子の先端構造に基づく分類体系の再構築	田中 和明	佐野 輝男	生井 恒雄	藤田 隆
		山形	アラオ ヒデキ 荒生 秀紀	男	水田生態系の生物を活用した省資源持続的環境保全型農法確立の基礎研究	安田 弘法	佐藤 智	倉持 勝久	
	生物機能開発学	山形	モウリツック MOWLICK, スブラタ Subrata	男	Analysis of community structure and functions of anaerobes in the biological soil disinfestation.	上木 厚子	加来 伸夫	殿内 暁夫	
	ゲノム工学	岩手	タカハシ ユウ 高橋 有	男	アブラナ科作物における栽培進化の遺伝機構	高畑 義人	横井 修司	阿部 利徳	
生物資源科学	生物資源利用学	岩手	モン ティ 孟 琦	男	醤油の新規香気成分であるチオール化合物の生成機構の解明	菅原 悦子	塚本 知玄	貫名 学	
		帯広畜産	ナカムラ ケンジ 仲村 憲治	男	酵母 Kluyveromyces marxianus によるテンサイシクジュース・生チーズホエー混合原料からのバイオエタノール生産に関する研究	小田 有二	大和田琢二	小関 卓也	
	熱・生命システム学	岩手	カキザキ ユウスケ 柿崎 裕介	男	被子植物におけるシアン耐性呼吸酵素の新規機能ドメインによる呼吸制御に関する解析	伊藤 菊一	堤 賢一	三橋 渉	
		岩手	タカハシ マチコ 高橋真智子	女	イネいもち病菌とイネの相互作用に関わるタンパク質の解析	寺内 良平	坂本 裕一	大町 鉄雄	
寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	岩手	バユ BAYU, ドワイアプリ Dwiapri ヌグロホ Nugroho	男	Evaluate of multiple cropping considering climate abnormality in Gunung Kidul, Yogyakarta, Indonesia	菅野 洋光	鮫島 良次	藤井 弘志	
		帯広畜産	グウ リンズワン 顧 令爽	男	葉に対する茎の支持に関する生理生態学的研究	山本 紳朗	紺野 康夫	杉山 修一	
	地域資源経済学	弘前	ウ 非 呉 フェイ	男	中国における総合的農協の存在意義と可能性に関する研究～中国山東省招遠市Q町を中心に～	神田 健策	武田 共治	木下 幸雄	
		岩手	キムラケンイチロウ 木村憲一郎	男	森林政策の展開に関する研究－地方分権と地域の視点から－	岡田 秀二	柴崎 茂光	高橋 教夫	
生物環境科学	地域資源経済学	山形	ジン ホンラン 金 紅蘭	女	「中国・日本・韓国3カ国の農産品貿易の競争と合作研究」	金 成学	小沢 互	神田 健策	

専攻	連合講座	配属大学	氏名	性別	研究題目	主指導教員	第一副指導教員	第二副指導教員	補助教員
生物環境科学	地域資源経済学	帯広畜産	ヒダチ 樋口 聖哉	男	北海道における地域預託システムの課題と整備の方向性	仙北谷 康	樋口 昭則	小沢 互	
	地域環境工学	弘前	サイトウ 齋藤 アケミ 朱未	女	女性起業による農家レストランと地域社会における人的関係	高橋 照夫	藤崎 浩幸	広田 純一	加藤 幸
	地域環境管理学	山形	タキ 瀧 セイシロウ 誠志郎	男	炭素収量をベースとした収量－密度図の作成	野堀 嘉裕	小山 浩正	武田 一夫	

平成 22 年 10 月入学

専攻	連合講座	配属大学	氏名	性別	研究題目	主指導教員	第一副指導教員	第二副指導教員	補助教員
生物生産科学	動植物生産学	帯広畜産	ドウゴシ 堂腰 アキラ 顕	男	高感度低周波センサを用いた牛の反芻行動計測システムの開発とその応用	柏村 文郎	瀬尾 哲也	出口 善隆	
	生物制御学	弘前	ツシマ 対馬 タロウ 太郎	男	ウィロイドの分子進化について	佐野 輝男	田中 和明	長谷 修	藤田 隆
生物資源科学	生物機能開発学	弘前	サトウ 佐藤 ショウタ 将太	男	植物病原菌由来 xyloglucanase の構造と活性に関する研究	吉田 孝	大町 鉄雄	小関 卓也	
	ゲノム工学	弘前	シモヤマ 下山 シュウジ 修司	男	遺伝子 CYP1A1 の転写誘導機構の解明	菊池 英明	石黒 誠一	山下 哲郎	
	生物資源利用学	岩手	スドウ 須藤 アキナリ 朗孝	男	温湿度技術による熟成技術のシステム化	岡部 敏弘	内沢 秀光	佐野 輝男	
		岩手	フクダ 福田 コウジ 浩二	男	バイオマスの利用に係る総合的評価手法の開発	岡部 敏弘	桐原 慎二	園木 和典	
		岩手	オカチ 岡地 ヨシナオ 慶直	男	未利用資源の利活用開発：抗菌飼料、乾燥工程開発（ウッドセラミック炭素素材等利活用開発含む）	岡部 敏弘	上村 松生	田中 和明	
		山形	モリカワ 森川 タクヤ 卓哉	男	針葉樹枝心材部の有する生物活性	高橋 孝悦	芦谷 竜矢	小藤田久義	
		帯広畜産	チョウ 張 ホウ 鳳	女	Purification of Functional Substances from Wine Pomace and Study of Its Utilization as a Functional Food.	木下 幹朗	得字 圭彦	長澤 孝志	
寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	帯広畜産	リュウ 劉 エイチョウ 永超	女	エコフィード利用による豚肉生産に関する研究	日高 智	花田 正明	高橋 敏能	
		帯広畜産	ガリーラット GHLAILAT, バディーアターラ Badee Atallah アブデルラーゼ Abdelrazeq	男	Studies on the Wheat Wet Distillers Grain with Solubles(WDGS) as Cattle Feed	日高 智	河合 正人	高橋 敏能	
生物環境科学	地域環境工学	岩手	キクチ 菊池 ユタ 豊	男	農業機械のユニバーサルデザイン化技術に関する研究	武田 純一	廣間 達夫	佐藤 禎稔	
	地域環境管理学	岩手	サトウ 佐藤 タカヒロ 孝弘	男	障害者のための「市民権的見解」に基づく余暇活動の場としての森林の活用策の検討	比屋根 哲	立川 史郎	武田 一夫	

第2章 学生の研究活動

公表論文等

1 生物生産科学専攻

(1) 植物生産学連合講座

【岩手大学】

李 積軍 (LI, JiJun) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導：壽松木 章)

〈学会口頭発表〉

- 1) 李 積軍・小森貞男・渡邊 学・山下裕喜・和田雅人・壽松木 章：オーキシン合成酵素遺伝子 (iaaM, iaaH) およびサイトカイニン合成酵素遺伝子 (ipt) を導入した形質転換リンゴ樹の成長特性と開花促進. 園芸学研究第 9 巻別 2, p107 (2010)

【弘前大学】

葛西 智 (KASAI, Satoshi) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：荒川 修)

〈論文〉

- 1) 葛西 智, 工藤 智, 荒川 修：NAA 処理によるリンゴ ‘ふじ’ の裂果抑制, 園芸学研究, (レフェリー有), 10 (1) : 69-74 (2011)

〈学会賞〉

- 1) 葛西 智, 園芸学会東北支部賞「リンゴ ‘ふじ’ のこうあ部裂果及び内部褐変の発生機構に関する研究」, 平成 22 年 9 月 13 日

(2) 動物生産学連合講座

【帯広畜産大学】

THAN THAN SINT 平成 22 年度 4 月入学 (主指導：桑山 秀人)

〈論文〉

- 1) Oxyntomodulin increases the concentrations of insulin and glucose in plasma but does not affect ghrelin secretion in Holstein cattle under normal physiological conditions. Domestic Animal Endocrinology 39 (2010) 163-170. (レフェリー有)

(3) 生物制御学連合講座

【岩手大学】

工藤 洋晃 (Kudo, Hiroaki) 平成 19 年度 4 月入学 (主指導教員：河合 成直)

〈論文〉

- 1) Hiroaki Kudo, Kazuaki Kudo, Hirokazu Ambo, Matsuo Uemura and Shigenao Kawai : Cadmium sorption to plasma membrane isolated from barley roots is impeded by copper association onto membranes Plant Science, 180 (2) : 300-305 (2011).

〈学会ポスター発表〉

- 1) 工藤洋晃・安保広和・上村松生・河合成直：オオムギ根から単離した細胞膜小胞のカドミウム収着に対するマグネシウムの影響. 日本土壌肥料学会 2010 年度北海道大会, 講演要旨集 56 : 87 (2010)

TAMANNA, Islam 平成 19 年度 10 月入学 (主指導教員：河合 成直)

〈論文〉

- 1) Islam, T., Fukuda, E., Shiyomi, M., Shaibur, M. R., Kawai, S. and Tsuiki, M. Effects of feces on spatial distribution patterns of grazed grassland communities. Agricultural Sciences in China, 9(1) : 121-129 (2010)

【弘前大学】

赫 英紅 (HE, Yinghong) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：佐野 輝男)

〈論文〉

- 1) Ying-Hong He : Characterization of a new Apple dimple fruit viroid variant that causes yellow dimple fruit formation in 'Fuji' apple trees. Journal of General Plant Pathology 76 : 324-330 (2010)

〈ポスター発表〉

- 1) 赫 英紅・田中和明・佐野輝男 マクロアレイ法による異なる病害虫管理条件下で栽培されたリンゴ樹の葉圏微生物相の多様性の比較解析 (2009 年) 日本植物病理学会大会, 日本植物病理学会報第 76 巻 : 205 (2010)
- 2) 赫 英紅・田中和明・伊藤大雄・佐野輝男 リンゴ樹葉圏に生息する病原性及び非病原性真菌・細菌類の季節変動のオリゴ DNA マクロアレイ解析. 日本植物病理学会大会, 日本植物病理学会報

平山 和幸 (HIRAYAMA, Kazuyuki) 平成 22 年度 4 月入学 (主指導教員：田中 和明)

〈論文〉

- 1) Kazuyuki Hirayama, Kazuaki Tanaka K, Huzefa A. Raja, Andrew N. Miller, Carol A. Shearer : A molecular phylogenetic assessment of Massarina ingoldiana sensu lato. Myco-

logia 102 : 729-746 (2010).

- 2) Kazuaki Tanaka, Kazuyuki Hirayama, Syed H. Iqbal : *Diadema ahmadii*, a new ascomycetous species in Pleosporales from Pakistan. *Mycotaxon* 113 : 337-342 (2010).
- 3) Kazuaki Tanaka, Kazuyuki Hirayama, Syed H. Iqbal : *Massariosphaeria websteri* sp. nov. and several members of the Pleosporales noteworthy to Pakistan. *Mycologia Balcanica* 7 : 77-85 (2010).
- 4) Kazuaki Tanaka, Vadim A. Mel'nik, Maasa Kamiyama, Kazuyuki Hirayama, Takashi Shirouzu : Molecular phylogeny of two coelomycetous fungal genera with stellate conidia, *Prosthemia* and *Asterosporium*, on Fagales trees. *Botany* 88 : 1057-1071 (2010).

〈学会口頭発表〉

- 1) 平山和幸, 田中和明 : プレオスポラ目における *Lophiostoma* 属と *Lophiotrema* 属の再定義および新科 *Lophiotremataceae* の設立. 日本菌学会第 54 回大会講演要旨集 : 55 (2A08), 玉川大学 (2010).
- 2) 田中和明, 遠藤茉惟, 平山和幸, 岡根 泉, 細矢 剛 : *Discosia* および *Seimatosporium* 属菌の系統と分類 (3). 日本菌学会第 54 回大会講演要旨集 : 55 (2A07), 玉川大学 (2010).

〈ポスター発表〉

- 1) 本田和幸, 平山和幸, 田中和明, 原田幸雄, Mel'nik V. A. : ハクサンシャクナゲ上にみられる希少種 *Nagrajomyces dictyosporus* (分生子果不完全菌類) の再発見. 日本菌学会第 54 回大会講演要旨集 : 82 (P07), 玉川大学 (2010).
- 2) Kazuyuki Hirayama, Kazuaki Tanaka : Molecular analyses of two pleosporalean genera *Lophiostoma* and *Lophiotrema* and their morphological redefinition. *International Mycological Congress (IMC9) Programme Book* (P3. 113), Edinburgh, UK (2010).
- 3) Kazuaki Tanaka, V.A. Mel'nik, Maasa Kamiyama, Kazuyuki Hirayama, Takashi Shirouzu : Molecular phylogeny of two coelomycetous genera with stellate conidia, *Prosthemia* and *Asterosporium*. *International Mycological Congress(IMC9) Programme Book* (P3.161), Edinburgh, UK (2010).

【山形大学】

出口 新 (Deguchi, Shin) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員 : 俵谷 圭太郎)

〈論文〉

- 1) Deguchi, S., S.Uozumi, E. Touno and K. Tawaraya : Potassium nutrient status of corn declined in white clover living mulch *Soil Science and Plant Nutrition* 56(6) : 848-852 (2010).

〈ポスター発表〉

- 1) 出口 新・魚住 順・金子 真・嶋野英子・俵谷圭太郎 : リビングマルチによる飼料用トウモロコシのリン酸施肥量削減の可能性. 日本土壌肥料学会. 日本土壌肥料学会講演要旨集, 56 : 129 (2010)

2 生物資源科学専攻

(1) 生物機能開発学連合講座

【弘前大学】

佐藤 孝太 (SATO, Kota) 平成 19 年度 10 月入学 (主指導教員：石黒 誠一)

〈論文〉

- 1) Kota Sato, Mitsuru Nakazawa, Kimio Takeuchi, Sayuri Mizukoshi, Sei-Ichi Ishiguro. S-opsin protein is incompletely modified during N-glycan processing in RPE65^{-/-} mice. *Experimental Eye Research*. 91 : 54-62 (2010)
- 2) Takeshi Hujimoto, Koh-Hei Sonoda, Kuniaki Hijioka, Kota Sato, Atsunobu Takeda, Eiichi Hasegawa, Yuji Ohsima, Tatsuro Ishibashi. Choroidal Neovascularization Enhanced by *Chlamydia pneumoniae* via Toll-like Receptor 2 in the Retinal Pigment Epithelium. *Investigative Ophthalmology & Visual Science*. 51 : 4694-4702 (2010)
- 3) Sayuri Mizukoshi, Mitsuru Nakazawa, Kota Sato, Taku Ozaki, Tomomi Metoki, Sei-ichi Ishiguro. Activation of mitochondrial calpain and release of apoptosis-inducing factor from mitochondria in RCS rat retinal degeneration. *Experimental Eye Research*. 91 : 353-361 (2010)
- 4) Kimio Takeuchi, Mitsuru Nakazawa, Yuichi Ebina, Kota Sato, Tomomi Metoki, Yasuhiro Miyagawa, Tadashi Ito. Inhibitory effects of trehalose on fibroblast proliferation and implications for ocular surgery. *Experimental Eye Research*. 91 : 567-577 (2010)

〈学会口頭発表〉

- 1) 佐藤孝太, 石黒誠一, 中澤 満. RPE65 ノックアウトマウスにおける錐体オプシンの翻訳後修飾異常. 第 114 回日本眼科学会 (名古屋)
- 2) 佐藤孝太, 中澤 満, 石黒誠一. Rpe65 ノックアウトマウスにおける網膜視細胞の微細構造の変化. 日本動物学会東北支部会 (福島)
- 3) 佐藤孝太, 中澤 満, 石黒誠一. RPE65 ノックアウトマウスにおける M 型-錐体オプシンの分解. 第 81 回日本動物学会大会 (東京)

Wilanfranco C. Tayone 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員：橋本 勝)

〈論文〉

- 1) Wilanfranco Caballero Tayone, Saori Shindo, Takanori Murakami, Masaru Hashimoto, Kazuaki Tanaka, Noboru Takada, Absolute Stereochemistry and Conformational Analysis of Achaetolide Isolated from *Ophiobolus* sp., *Tetrahedron Journal*, Vol. 65, Issue 36, 7464-7467 (2010).
- 2) Wilanfranco C. Tayone, Miho Honma, Saki Kanamaru, Shogo Noguchi, Kazuaki Tanaka, Tatsuo Nehira, and Masaru Hashimoto, Stereochemical Investigations of Isochromenones and Isobenzofuranones Isolated from *Leptosphaeria* sp. KTC 727, *Journal of Natural*

Products. (special issue dedicated to Professor. Koji Nakanishi) in press

〈学会口頭発表〉

- 1) Structure Determination of Polyketides from *Ophiobolus* sp. Wilanfranco C. Tayone, Saori Shindo, Takaharu Okada, Eri Kogawa, Kazuaki Tanaka, Masaru Hashimoto, Noboru Takada 日本農芸化学会, 大会 (東京)
- 2) Novel Isochroman and Isobenzofuran from *Leptosphaeria* sp. Wilanfranco C. Tayone, Miho Honma, Saki Kanamaru, Shogo Noguchi, Kazuaki Tanaka, and Masaru Hashimoto 日本農芸化学会, 東北支部 (仙台)
- 3) Informational Analysis and Structure Determination of Novel Polyketides from *Ophiobolus* sp. Wilanfranco C. Tayone, Saori Shindo, Takaharu Okada, Eri Kogawa, Kazuaki Tanaka, Masaru Hashimoto, Noboru Takada 環太平洋国際化学会議 (Pasifichem2010, ホノルル)

【山形大学】

Subrata Mowlick 平成 22 年度 4 月入学 (主指導教員: 上木 厚子)

〈学会口頭発表〉

- 1) S. Mowlick, K. Hirota, T. Takehara, N. Kaku and A. Ueki. Analysis of bacterial community in the reductive soil disinfestations. 日本土壤微生物学会 2010 年度大会 (2010. 5, 東京大学). (土と微生物, Vol., 64, p. 139).
- 2) S. Mowlick, K. Hirota, T. Takehara, N. Kaku and A. Ueki. Biological soil disinfestation as an ecofriendly approach-analyzing the process and microbial communities. International Symposium of Food, Life and Environmental Sciences in East Asia-Present and Future- (2010. 12, 山形大学).

(2) ゲノム工学連合講座

【岩手大学】

高橋 有 (Takahashi, Yu) 平成 22 年度 4 月入学 (主指導教員: 高畑 義人)

〈論文〉

- 1) Takahashi Y, Yokoi S and Takahata Y (2011) Improvement of microspore culture method for multiple samples in Brassica. *Breeding Science* (accepted)

〈ポスター発表〉

- 1) Takahashi Y, Yokoi S, Iwata H, Kawase M and Takahata Y (2010) Genetic diversity and population structure of *Brassica rapa* L. based on chloroplast and nuclear microsatellites. *Crucifer Genetics Workshop17* : 139, Canada.

(3) 生物資源利用学連合講座

【岩手大学】

森 真貴子 (Mori, Makiko) 平成 18 年度 4 月入学 (主指導教員：長澤 孝志)

〈著書〉

- 1) Makiko Mori, Yoshiaki Ito, Takashi Nagasawa: Content of free D-Ala and D-Glu in traditional Asian fermented seasonings, *Journal of Nutritional Science and Vitaminology*, (有), 56 (60): 428-435 (2010)

〈ポスター発表〉

- 1) 森 真貴子・伊藤芳明・長澤孝志：アジア地域の伝統的発酵調味料中の D-Ala と D-Glu 含量. 日本アミノ酸学会. 第 4 回学術大会 (JSAAS2010) 講演要旨集: 46 (2010)

孟 琦 (Meng Qi) 平成 22 年度 4 月入学 (主指導教員：菅原 悦子)

〈学会口頭発表〉

- 1) 孟 琦, 角田朋香, 畑山 誠, 菅原悦子：醤油醸造中のチオール化合物の変動. 日本食品科学工学会, 日本食品科学工学会第 57 回大会講演集 64 ページ (2010)

【山形大学】

楠本 倫久 (Kusumoto, Norihisa) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：高橋 孝悦)

〈論文〉

- 1) Norihisa Kusumoto, Tatsuya Ashitani, Tetsuya Murayama, Koichi Ogiyama, Koetsu Takahashi: Antifungal Abietane-Type Diterpenes from the Cones of *Taxodium distichum* Rich. *Journal of Chemical Ecology*, 36: 1381-1386 (2010)
- 2) 伊藤 傑, 芦谷竜矢, 楠本倫久, 関根伸浩, 高橋孝悦：ヤマブドウの貴腐化に関する基礎的研究－ヤマブドウ果皮抽出物の *Botrytis cinerea* に対する生育活性－. 日本ブドウ・ワイン学会誌, 21: 105-111 (2010)

〈学会口頭発表〉

- 1) 楠本倫久, 芦谷竜矢, 村山哲也, 萩山紘一, 高橋孝悦：ラクウショウ (*Taxodium distichum* Rich.) 球果の化学的防御. 日本木材学会大会. 第 61 回日本木材学会大会研究発表要旨集, p. 65 (2011)
- 2) 鶴田和也, 西條裕美, 楠本倫久, 芦谷竜矢, 高橋孝悦：樹木成分による藍藻類 *Microcystis aeruginosa* の増殖抑制. 日本木材学会大会. 第 61 回日本木材学会大会研究発表要旨集, p. 65 (2011)

〈ポスター発表〉

- 1) Norihisa Kusumoto, Tatsuya Ashitani, Koetsu Takahashi: The chemical defenses in living fossil conifer cones. *International Society of Chemical Ecology*. 26th annual meeting of the International Society of Chemical Ecology, p. 237 (2010), (Tours, France)

- 2) Tatsuya Ashitani, Norihisa Kusumoto, Koki Fujita, Koetsu Takahashi : Longifolene as a precursor of plant self-defensive compounds. 26th annual meeting of the International Society of Chemical Ecology, p. 238 (2010), (Tours, France)
- 3) Hiromi Saijo, Kazuya Tsuruta, Norihisa Kusumoto, Tatsuya Ashitani, Koetsu Takahashi : Effect of coniferous bark components on aquatic organisms. 26th annual meeting of the International Society of Chemical Ecology, p. 300 (2010), (Tours, France)
- 4) Koetsu Takahashi, Misako Kido, Ayumi Ito, Shoko Saito, Norihisa Kusumoto, Tatsuya Ashitani, Tetsuya Murayama : Plant growth restraint of norlignan type phenolic compounds (C17 compound). 26th annual meeting of the International Society of Chemical Ecology, p. 245 (2010), (Tours, France)
- 5) 芦谷竜矢, 楠本倫久, 西條裕美, 藤田弘毅, 高橋孝悦 : Humulene 誘導体の抗蟻活性. 日本木材学会大会. 第 61 回日本木材学会大会研究発表要旨集, p. 155 (2011)
- 6) 小野智史, 楠本倫久, 芦谷竜矢, 高橋孝悦 : ヒバ心材ヘキサノ抽出物に含まれる抗蟻活性成分. 日本木材学会大会. 第 61 回日本木材学会大会研究発表要旨集, p. 155 (2011)
- 7) 山下陽平, 芦谷竜矢, 高橋孝悦, 楠本倫久, 橋本尚也 : ハダニに対するスギ葉 n-ヘキサノ抽出物の活性. 日本木材学会大会. 第 61 回日本木材学会大会研究発表要旨集, p. 155 (2011)
- 8) 度會直洋, 楠本倫久, 芦谷竜矢, 高橋孝悦 : スギ心材テルペン類およびノルリグナン類の個体間変異. 日本木材学会大会. 第 61 回日本木材学会大会研究発表要旨集, p. 150 (2011)

【帯広畜産大学】

山崎 民子 (Yamazaki, Tamiko) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員 : 大西 正男)

〈学会口頭発表〉

- 1) 荒井克仁・古田土麗・山崎民子・得字圭彦・川原美香・大庭 潔・木下幹朗・大西正男 : 大腸腺腫発症モデルマウスに与える食餌性ナガイモ塊茎貯蔵タンパク質の効果とその作用機序の解明, 日本農芸化学会, 日本農芸化学会大会講演要旨集 : (2011)

〈ポスター発表〉

- 1) 荒井克仁・山崎民子・堤由香子・堤 麻佳・得字圭彦・木下幹朗・大西正男 : ナガイモの脂質 : 組成とヒト大腸ガン細胞増殖抑制能, 日本油科学会, 日本油科学会第 49 回年会講演要旨集 : 290 (2010)

3 寒冷圏生命システム学専攻

(1) 熱・生命システム学連合講座

【岩手大学】

中出 啓子 (Nakade, Keiko) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員 : 寺内 良平)

〈論文〉

- 1) Nakade K., Nakagawa Y., Yano A., Sakamoto Y. Characterization of an extracellular laccase, PbLac1, purified from *Polyporus brumalis* Fungal Biology, 117 (8) 609-618 2010
- 2) Nakade K., Watanabe H., Sakamoto Y. and Sato T. Gene silencing of the *Lentinula edodes* *lcc1* gene by expression of a homologous inverted repeat sequence Microbiological Research 2010 Nov. 26 (Epub ahead of print) 2010

〈学会口頭発表〉

- 1) Keiko Nakade and Yuichi Sakamoto. The 6th Meeting of East Asia for Mushroom Science Influence of a laccase gene (*lcc1*) down regulation on *Lentinula edodes* hyphae morphology. 要旨集 p74 (2010) (韓国, 慶州)
- 2) Yuichi Sakamoto, and Keiko Nakade. International Mycological Congress 9th Characterization of biological function of laccases in *Lentinula edodes*. (2010) イギリス エジンバラ
- 3) Yuichi Sakamoto, Keiko Nakade and Naotake Konno The 6th Meeting of East Asia for Mushroom Science Enzymes involved in fruiting body senescence in *L. edodes*. 要旨集 p86 (2010) (韓国, 慶州)

〈ポスター発表〉

- 1) Keiko Nakade Yuko Nakagawa, Akira Yano and Yuichi Sakamoto 26th Fungal Genetics Conference A *Polyporus brumalis* Laccase (*pblac1*) was strongly induced by highly concentrated copper (2011) アメリカ

Bayu Dwi Apri Nugroho 平成 22 年度 4 月入学 (主指導教員：菅野 洋光)

〈学会口頭発表〉

- 1) Bayu Dwi Apri Nugroho・Hiromitsu Kanno・Ryoji Sameshima・Hiroshi Fujii・Prima O. D. A. : Relationships between the variations of rainfall in Indonesian rainy season and SOI/SST during 1980-2009 in highland area; case study in Gunung Kidul, Yogyakarta, Indonesia, 日本気象学会, 日本気象学会 2010 年度秋季大会講演予稿集 : 118 (2010)

【弘前大学】

北村 浩二 (Kitamura, Koji) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：赤田 辰治)

〈論文〉

- 1) Koji Kitamura, Takashi Fujita, Shinji Akada, Akio Tonouchi : *Methanobacterium kanagiense* sp. nov., a hydrogenotrophic methanogen, isolated from Japanese rice field soil. International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology Published online ahead of print on 16 July 2010 as doi : ijs. 0. 026013-0

4 生物環境科学専攻

(1) 地域資源経済学連合講座

【山形大学】

難波 耕司 (NAMBA, Koji) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員：岩鼻 通明)

〈論文〉

- 1) 難波耕司, 論文題名：「高野山と空海」, 掲載誌名：『宗教研究』, 巻号：第 23 集 (2010 年), ページ数：42-49.
- 2) 難波耕司, 論文題名：「出羽三山の神仏分離－三条教則と西川須賀雄」, 掲載誌名：日本宗教民俗学会報『宗教民俗研究』, 巻号：第 21 号

〈学会発表〉

- 1) 日本宗教民俗学会第 20 回記念大会「出羽三山の神仏分離と国学－宣長・篤胤, そして西川須賀雄－」発表者：難波 耕司
日 時 2010 年 6 月 12 日 (土)
場 所 大谷大学 響流館 3 階メディアホール

【帯広畜産大学】

樋口 聖哉 (HIGUCHI, Seiya) 平成 22 年度 4 月入学 (主指導教員：仙北谷 康)

〈論文〉

- 1) 樋口聖哉・仙北谷康・樋口昭則：北海道における公共牧場の運営形態と再編整備の方向性, 日本農業経済学会論文集, 2010 年度：90-97 (2010)
- 2) 樋口昭則・樋口聖哉・渡邊大樹・仙北谷康：実取りトウモロコシの経営的評価－酪農経営と畑作経営の連携を前提とした評価－, 農業経済学会論文集, 2010 年度：30-37 (2010)

〈学会口頭発表〉

- 1) 樋口聖哉：公共牧場に対する酪農経営の預託ニーズ, 北海道農業経済学会, 第 121 回北海道農業経済学会例会個別報告要旨集：6 (2011)

(2) 地域環境工学連合講座

【弘前大学】

羅 璇 (LUO, Xuan) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員：張 樹槐)

〈ポスター発表〉

- 1) Xuan Luo, Shuhuai Zhang, Teruo Takahashi : Comparison of visible and NIR spectroscopy for bruise detection of apples. 平成 22 年度農業機械学会東北支部大会, 研究発表会講演要旨集：33-34 (2010)

- 2) Xuan Luo, Shuhuai Zhang, Teruo Takahashi: wavelength selection of vis/NIR spectroscopy for bruise detection of apples. 第 69 回農業機械学会年次大会. 第 69 回農業機械学会年次大会講演要旨: 372-373 (2010)

齋藤 朱未 (SAITO, Akemi) 平成 22 年度 4 月入学 (主指導教員: 高橋 照夫)

〈論文〉

- 1) 齋藤朱未・藤崎浩幸: 個人経営の農家レストラン開業状況と経営者性別による相違－東北地方を対象として－. 農村計画学会誌論文特集号, 29 巻: 197-202 (2010)

〈学会口頭発表〉

- 1) 齋藤朱未・藤崎浩幸: 農村女性起業による農家レストラン開業状況と家族理解－東北地方における聞き取り調査より－. 農業農村工学会. 農業農村工学会大会講演要旨集, : (2010)

〈ポスター発表〉

- 1) 齋藤朱未・藤崎浩幸・谷口 建・澁谷長生: 東北地方における農家レストランの開業状況と運営形態の関連性－農村女性起業の視点から－. 農村計画学会春期大会要旨集), 65-66 (2010)

【帯広畜産大学】

福田 尚人 (FUKUDA, Naoto) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員: 辻 修)

〈学会口頭発表〉

- 1) 福田尚人: 道内国立公園における自生植物種の導入方法と今後の課題, 日本緑化工学会, 日本緑化工学会積雪寒冷地緑化研究部会平成 22 年度講演会 (H22/12/16 釧路)

(3) 地域環境管理学連合講座

【岩手大学】

坂牧 はるか (SAKAMAKI, Haruka) 平成 19 年度 4 月入学 (主指導教員: 青井 俊樹)

〈論文〉

- 1) Sakamaki H, Enari H, Aoi T. and Kunisaki T.: Winter food abundance for Japanese monkeys in differently aged Japanese cedar plantations in snowy regions, Mammal study, 36(1) : (2011)
- 2) Enari H. and Sakamaki H. : Estimation of abundance and distribution of Japanese macaques using track-counts in snow, Acta Theriologica, (2011)
- 3) Enari H., Koike S. and Sakamaki H. : Assessing the diversity of dung beetle assemblages utilizing Japanese monkey feces in cool-temperate forests, Journal of Forest Research, (2010)
- 4) Enari H. and Sakamaki H. : Abundance and morphology of Japanese mulberry trees in response to the distribution of Japanese macaques in snowy areas, International Journal

of Primatology, 31(5) : 904-919 (2010)

〈学会口頭発表〉

- 1) 江成広斗, 小池伸介, 坂牧はるか: 哺乳類の地域絶滅がブナ林に生息する糞虫群集の多様性に及ぼす影響, 日本生態学会, 日本生態学会第 58 回全国大会講演要旨集 (<http://www.esj.ne.jp/meeting/abst/58/B1-06.html>) (2011)

〈ポスター発表〉

- 1) 坂牧はるか, 江成広斗, 青井俊樹: 冷温帯林におけるニホンザル野生群の冬期森林利用に関する空間的評価, 日本生態学会, 日本生態学会第 58 回全国大会講演要旨集 (<http://www.esj.ne.jp/meeting/abst/58/P2-059.html>) (2011) (日本生態学会 最優秀ポスター賞受賞)
- 2) 坂牧はるか, 江成広斗, 青井俊樹: 冷温帯林におけるニホンザル野生群の冬期採食地選択に関する空間的評価, 日本哺乳類学会および野生生物保護学会, 第 16 回野生生物保護学会・日本哺乳類学会 2010 年度合同大会 (岐阜大会) 講演要旨集 141 ページ (2010)
- 3) 江成広斗, 小池伸介, 坂牧はるか: 冷温帯林におけるニホンザルの糞を利用する食糞性コガネムシの多様性と生息分布, 日本哺乳類学会および野生生物保護学会, 第 16 回野生生物保護学会・日本哺乳類学会 2010 年度合同大会 (岐阜大学) 講演要旨集 173 ページ (2010) (野生生物保護学会 最優秀ポスター賞受賞)

【帯広畜産大学】

佐藤 忠 (SATO, Tadashi) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員: 本江 昭夫)

〈論文〉

- 1) 佐藤 忠・中井朋一・大谷昌之・佐渡谷裕朗: DFA III (オリゴ糖) を用いた乳牛の低カルシウム血症予防法の開発, 農林水産技術研究ジャーナル, (レフェリー無), Vol34 No. 3 (2011, in Press)

〈口頭発表〉

- 1) 佐藤 忠: オリゴ糖: DFA III の乳牛に対する効果, 精糖技術研究会, 第 108 回精糖技術研究会講演要旨, P31 (2010)
- 2) 寺村 誠・Syaw Wynn・阿部真基・佐藤 忠・大谷昌之・川島千帆・花田正明: 分娩前後の乳牛に対する DFA (Difructose Anhydride) III 給与が飼料採食量に及ぼす影響, 北海道畜産学会, 第 65 回大会講演要旨, P23 (2010)

〈受賞〉

- 1) 平成 22 年度 (第 11 回) 民間部門農林水産研究開発功労者表彰事業において農林水産大臣賞受賞, 佐藤 忠・中井朋一・大谷昌之・佐渡谷裕朗, 受賞対象業績の題名: DFA III (オリゴ糖) を用いた乳牛の低カルシウム血症予防法の開発 (2010.11.24)

鈴木 圭 (SUZUKI, Kei) 平成 21 年度 10 月入学 (主指導教員: 柳川 久)

〈論文〉

- 1) Suzuki, K., Mori, S. & Yanagawa, H. Detecting nesting trees of Siberian flying squirrels

(*Pteromys volans*) using their feces. Mammal Study

2) 鈴木 圭・寫本 樹・滝澤洋子・上開地広美・安藤元一・柳川 久. 丹沢山地におけるニホンモモンガ *Pteromys momonga* の営巣木の特徴. 哺乳類科学

3) 鈴木 圭. 帯広のエゾモモンガ観察. ANIMATE 通信 (15) : 22-24 (2011)

〈学会自由集会〉

1) 鈴木 圭・浅利裕伸・柳川 久. 滑空性哺乳類の移動について－タイリクモモンガをメインに－. 野生生物保護学会・日本哺乳類学会, 第 16 回野生生物保護学会・日本哺乳類学会 2010 年度合同大会講演要旨集 : 29 (2010)

〈学会ポスター発表〉

1) 鈴木 圭・柳川 久. タイリクモモンガとヒメネズミの樹上営巣場所の比較. 日本生態学会, 第 58 回日本生態学会講演要旨集 : 69 (2011)

2) 鈴木 圭・浅利裕伸・柳川 久. タイリクモモンガ *Pteromys volans* における効率が悪く負荷が大きい短距離滑空の役割. 日本動物行動学会, 日本動物行動学会第 29 回大会講演要旨集 : 59 (2011)

3) 鈴木 圭・寫本 樹・滝澤洋子・上開地広美・安藤元一・柳川 久. 丹沢山地におけるニホンモモンガ *Pteromys momonga* の営巣木選択－植林されたスギへの営巣－. 野生生物保護学会・日本哺乳類学会, 第 16 回野生生物保護学会・日本哺乳類学会 2010 年度合同大会講演要旨集 : 122 (2010)

第3章 学位授与者と修了後の進路

平成22年度

【課程修了による学位取得者（平成22年3月31日授与） 4名】

学位記 番号	専攻	連合 講座	氏 名 (配属大学)	指導教員	学 位 論 文 題 目	修了後の進路 (現職) 等
連研 508	生物生産科学	植物生産学	ショウ ジン 肖 靖 (岩手大学)	壽松木 章	<i>Allium schoenoprasum</i> L.における鱗茎形成因子の遺伝的解明に関する研究 (A study on inheritance of bulb formation in <i>Allium schoenoprasum</i> L.)	岩手大学農学部 客員研究員
連研 509	寒地生命科学シナテマ学	熱・生命システム学	ツシマ マサアキ 対馬 正秋 (岩手大学)	鈴木 幸一	カイコ冬虫夏草によるマウス脳機能改善効果に関する研究 (Improving effects of the brain function in mice by <i>Paecilomyces tenuipes</i> from the silkworm pupae)	岩手大学 地域連携推進センター 教授
連研 510	生物環境科学	地域環境工学	タカイ カズヒロ 高井 和彦 (岩手大学)	三輪 式	堰下流河床洗掘とその軽減対策に関する研究 (Research on Mechanism and Countermeasures of Local River-bed Scour Downstream of Diversion Dams)	(株)アルファ技研 業務リーダー
連研 511	生物環境科学	生産環境学	サトウ ヨシノリ 佐藤 嘉則 (岩手大学)	鈴木 幸一	Yamamarin 誘導体による細胞増殖制御機構の解析 (Control mechanism of cell growth arrest by Yamamarin derivatives)	(株)フジ環境サー ビス 関東支店 技術職

【課程修了による学位取得者（平成22年9月24日授与） 5名】

学位記 番号	専攻	連合 講座	氏 名 (配属大学)	指導教員	学 位 論 文 題 目	修了後の進路 (現職) 等
連研 512	生物資源科学	生物機能開発学	サトウ コウタ 佐藤 孝太 (弘前大学)	石黒 誠一	RPE65 ノックアウトマウスにおける錐体オペシンの翻訳後修飾異常 (Abnormal post-translation of cone opsins in <i>Rpe65</i> gene knockout mice)	岩手大学大学院 連合農学研究科 研究員
連研 513		ゲノム工学	シーフ エルナスル Seif El-Nasr, ハイサム エルハム Haitham Elham モハメド ザキ Mohamed Zaki (岩手大学)	高畑 義人	Molecular Genetic Analysis of Root Traits in Brassicaceae Root Crops (アブラナ科根菜類における根の形質の分子遺伝学的研究)	Minia University Lecturer of vegetable production and bio technology
連研 514			ホキイユウスケ 保木井悠介 (弘前大学)	牛田 千里	線虫 <i>Caenorhabditis elegans</i> 低分子非翻訳RNA, CeR-2の解析 (Functional Analysis of a <i>C.elegans</i> small non-coding RNA, CeR-2)	(株)ジーシー 研究職
連研 515		生物資源利用学	スガワラ テツヤ 菅原 哲也 (山形大学)	五十嵐 喜治	食用ギクに含まれるフラボノイドとその生理機能に関する研究 (Studies on major flavonoids in petals of edible chrysanthemum flowers and their physiological functions)	山形県工業技術 センター 庄内試験場 研究職
連研 516	生物環境科学	地域資源経済学	チノネ アツオ 茅根 敦夫 (岩手大学)	木下 幸雄	移植水稻作の作業構造と生産性の向上に関する研究 (A study on work structure, productivity and its upgrade in rice transplanting)	(財)茨城県農林 振興公社 コンサルタント (嘱託)

【課程修了による学位取得者（平成 22 年 9 月 30 日授与）2 名】

学位記 番 号	専攻	連合 講座	氏 名 (配属大学)	指導教員	学 位 論 文 題 目	修了後の進路 (現職) 等
連研 517	生物 環境 科学	地域 環境 管理学	モリヤワ タケシ 森澤 猛 (岩手大学)	橋本 良二	ササ抑制処理を伴うヒノキ天然更新施業の研究 (Natural regeneration management of <i>Chamaecyparis obtusa</i> following herbicide weeding for dwarf bamboo)	(独) 森林総合研 究所 東北支所 主任研究員
連研 518	生物 資源 科学	ゲノム 工学	マツダ シュウイチ 松田 修一 (弘前大学)	赤田 辰治	ブナにおける環境応答性遺伝子に関する研究 (Molecular studies on genes responsive to environmental signals in <i>Fagus crenata</i>)	帯広畜産大学地域 環境部門 産官学連携研究員

【課程修了による学位取得者（平成 23 年 3 月 23 日授与）24 名】

学位記 番 号	専攻	連合 講座	氏 名 (配属大学)	指導教員	学 位 論 文 題 目	修了後の進路 (現職) 等
連研 519	生物 生産 科学	植物 生産 学	クマガイ セイコ 熊谷 成子 (岩手大学)	星野 次汪	ヒエの栽培および品質に関する研究 (Studies on Cultivation and Flour Qualities of Japanese Barnyard Millet)	岩手県立盛岡農業 高等学校 教諭
連研 520		動物 生産 学	サイトウ フミヤ 齋藤 文也 (岩手大学)	喜多 一美	アスタキサンチンを給与した産卵鶏由来の卵 における卵質と孵卵成績 (Egg quality and hatching performance of eggs from laying hens given dietary astaxanthin)	小岩井農牧 (株) 技術研究センター 所長
連研 521			タガワ シンイチ 田川 伸一 (山形大学)	高橋 敏能	未利用資源を利用したリードカナリーグラス 発酵 TMR の飼料価値の向上に関する研究 (Studies on improvements of feeding value of fermented total mixed ration of reed canarygrass used with unused resources)	清水港飼料 (株) 石巻工場 製造課
連研 522			カク エイコウ 赫 英紅 (弘前大学)	佐野 輝男	リンゴ葉圏微生物群モニタリングのための真 菌・細菌・ウィロイドのマクロアレイ解析 (DNA macroarray analysis of fungi, bacteria and viroid for monitoring microbial diversity in apple phyllosphere)	
連研 523		生物 制御 学	デグチ シン 出口 新 (山形大学)	俵谷圭太郎	リビングマルチ栽培における主作物の養分吸 収と生育に関する研究 (Effect of the living mulch on the nutrient uptake and growth of main crop)	(独) 農業・食品産 業技術総合研究機 構 東北農業研究 センター 研究職
連研 524			クドウ ヒロアキ 工藤 洋晃 (岩手大学)	河合 成直	Characterization of cadmium sorption to plasma membrane vesicles isolated from barley roots (オオムギ根から単離した細胞膜小胞のカド ミウム収着の特徴付け)	未定
連研 525	生物 資源 科学	ゲノム 工学	エビナ マサユキ 蝦名 真行 (弘前大学)	菊池 英明	The mechanism of the enhancement of TCDD-triggered <i>Cyplal</i> transcription by dysfunction of nonmuscle myosin IIA in Hepa-1 Cells (NMIIA の機能阻害により引き起こされる TCDD 依存 <i>Cyplal</i> 転写増大における分子メ カニズム)	未定
連研 526			カサイ シュウヤ 葛西 秋宅 (弘前大学)	菊池 英明	The Inhibitory Mechanisms of Tyrosine Kinase Inhibitors on the Activation of Aryl Hydrocarbon Receptor in Caco-2 cells (ヒト大腸癌由来 Caco-2 細胞におけるチロシ ンキナーゼ阻害剤によるダイオキシン受容体 活性化の阻害機構)	岩手医科大学医学 部 先端医療研究 センター PD

学位記 番号	専攻	連合 講座	氏 名 (配属大学)	指導教員	学 位 論 文 題 目	修了後の進路 (現職) 等
連研 527	生物資源科学	ゲノム工学	クラウチ タスク 倉内 佑 (弘前大学)	千田 峰生	黄ダイズの種皮着色抑制に関与する内因性RNAサイレンシングについての分子遺伝学的研究 (Molecular genetic analysis of RNA silencing inhibiting seed coat pigmentation in yellow soybean)	青森県りんごジュース(株)品質管理業務
連研 528			クメ コウヘイ 久米 浩平 (岩手大学)	堤 賢一	環境温度変動条件下における tasiRNA の機能解析 (Trans-acting siRNAs impart robustness against fluctuating temperature)	未定
連研 529			サトウ ミカコ 佐藤三佳子 (帯広畜産大学)	三浦 秀穂	春まきパン用コムギ品種の栽培法による収量・品質安定化に関する研究 (Studies on the cultivation method for stable yield and high quality of breadmaking spring wheat)	(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部北見農業試験場研究主任
連研 530			ドイ ヒサコ 土井 寿子 (岩手大学)	高畑 義人	リンドウの倍加半数体作出に関する遺伝育種学的研究 (Genetic and breeding studies of doubled haploid production in gentian)	岩手大学農学部研究職
連研 531		生物資源利用学	クスモト ノリヒサ 楠本 倫久 (山形大学)	高橋 孝悦	現生する化石針葉樹 <i>Taxodium distichum</i> Rich. 球果の化学的防御に関する研究 (Chemical defenses of living fossil conifer, <i>Taxodium distichum</i> Rich.cones.)	山形大学農学部日本学術振興会PD
連研 532			ムラシゲ リョウ 村重 諒 (帯広畜産大学)	小田 有二	Trifluoromethanesulfonic acid (TfOH) の特性を利用した Friedel-Crafts 反応の検討 (Studies of Friedel-Crafts reaction using TfOH)	姫路獨協大学薬学部 助手
連研 533			ヤスダ クミ 安田 久美 (帯広畜産大学)	弘中 和憲	化工分級馬鈴薯澱粉の物理化学特性に関する研究 (Studies on physicochemical properties of chemically-modified fractionated potato starches.)	芽室町役場 行政職員
連研 534			ヨシダ ジュン 吉田 潤 (岩手大学)	木村 賢一	Ca ²⁺ シグナル伝達に関わる遺伝子変異酵母に対して作用する機能性物質の標的分子の解析 (Study on target molecules of functional compounds affected on mutant yeast related to the Ca ²⁺ -signal transduction)	岩手医科大学 共通教育センター助教
連研 535			クラカネ シズエ 倉兼 静江 (山形大学)	五十嵐喜治	サルナシの抗生活習慣病食品素材・成分としての開発と作用機構 (Development of <i>Actinidia arguta</i> as food materials and components available for prevention of lifestyle-related diseases, and its function mechanism.)	山形大学農学部研究支援者
連研 536	寒冷圏生命システム学	熱生命システム学	ナカデ ケイコ 中出 啓子 (岩手大学)	寺内 良平	Studies on the extracellular laccase of <i>Polyporus brumalis</i> ibrc05015 (オツネンタケモドキ ibrc05015 株のラッカーゼに関する研究)	(財) 岩手生物工学研究センター研究助手
連研 537	生物環境科学	地域資源経済学	オオハシ オサム 大橋 治 (弘前大学)	神田 健策	総合農協における共販の意義に関する研究－津軽りんご産地・共販型総合農協の展開事例を基に－ (The Significance of Cooperative Selling in Japan Agricultural Cooperatives : An Analysis of Examples of Cooperative Selling in the Tsgaru Apple Production Area)	未定
連研 538		地域環境管理学	サカマキ 坂牧はるか (岩手大学)	青井 俊樹	白神山地におけるニホンザルの生息地としての針葉樹人工林の評価 (Evaluation of coniferous plantations for Japanese monkey habitats in the Shirakami Mountains)	未定

学位記 番 号	専攻	連合 講座	氏 名 (配属大学)	指導教員	学 位 論 文 題 目	修了後の進路 (現職) 等
連研 539	生物資源科学	生物資源利用学	モリ マ キ コ 森 真貴子 (岩手大学)	長澤 孝志	アジア地域の伝統的発酵調味料中の D-Ala と D-Glu 含有量とそれらのラット小腸管吸収に関する研究 (Studies of content of free D-Ala and D-Glu in traditional Asian fermented seasonings and their absorption by rat intestine)	盛岡大学 助手
連研 540	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	シラ バ コ ン グ SILLAPAKONG, ピヤマス Piyamas (岩手大学)	鈴木 幸一	桑枝皮部からの免疫賦活物質の同定と機能解析 (Identification and function of immunomodulatory compounds from mulberry stem bark)	岩手大学 学術研究員
連研 541	生物環境科学	地域環境工学	ウメザワ コウイチ 梅澤 弘一 (帯広畜産大学)	辻 修	十勝地方の耕地防風林の適正更新に関する研究 (Studies on efficient method of regenerating windbreak in Tokachi)	帯広商工会議所 事務局長
連研 542	生物生産科学	動物生産学	ニシムラ タカシ 西村 貴志 (岩手大学)	松原 和衛	ニホンカモシカ (<i>Capricornis crispus</i>) の非侵襲的試料を用いた DNA 解析手法の開発 (Development of DNA analysis techniques using noninvasive samples of Japanese serows (<i>Capricornis crispus</i>))	未定

【論文提出による学位取得者（平成 23 年 3 月 23 日授与）5 名】

学位記 番 号	氏 名	推薦教員	学 位 論 文 題 目	修了後の進路 (現職) 等
連論 141	イワブチ ケイ 岩渕 慶	堀川 洋	ガレガ (<i>Galega orientalis</i> Lam.) の北海道への導入に関する研究 (Study on Introduction of <i>Galega orientalis</i> Lam.) into Hokkaido, Japan)	ホクレン農業協同 組合連合会 飼料部 調査役
連論 142	ウツミ ショウジ 内海 祥治	黒田 榮喜	イタリアンライグラスとトールフェスクの高 Mg 方向への選抜がミネラル特性、収量性および消化性に及ぼす影響 (Selection Effects of Higher Magnesium Concentration on Mineral Composition, Productivity, and Cellular Constituents in Italian Ryegrass and Tall Fescue.)	(社) 岩手県畜産 協会 技術職
連論 143	ハセガワテツヤ 長谷川啓哉	神田 健策	リンゴ産地の構造と再編－新自由主義的政策下におけるリンゴ産地の課題－ (The Structure and the Reconfiguration of the Apple Production and Marketing System : Apple Growing Issues under the Influence of Neo-liberal Economic Policies in Japan)	(独) 農業・食品 産業技術総合研究 機構 東北農業研 究センター 主任研究員
連論 144	ハヤシ テツオ 林 哲央	河合 成直	寒冷地の施設栽培における土壌診断と肥培管理法に関する研究 (Soil diagnostic methods and fertility management under the condition of field greenhouse culture in cold regions)	(地独) 北海道立 総合研究機構 農業研究本部 花・野菜技術セン ター 主査
連論 145	ミネ トシキ 峯 利喜	三橋 渉	シアル酸含有糖鎖の合成を中心とした海洋性細菌由来シアル酸転移酵素に関する生化学的研究 (Biochemical study for sialyltransferases cloned from marine bacteria : focused on the enzymatic synthesis of various sialyloligosaccharides.)	日本たばこ産業 (株) 研究員

第4章 特別講義等

平成 22 (2010) 年度農学特別講義Ⅱ (日本語) 日程表

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

実施日程	8:30	9:00	9:10	10:40	10:50	12:20	13:20	14:50	15:00	16:30	17:00
	準備 30分	挨拶等 10分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	講義 (90分)	昼休み 60分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	
6月16日(水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡 事項等	講義1 「現代農村計画の課題－農村の再生と持続的管理に向けて－」 (Issues of Recent Rural Planning－Revitalization and Sustainable Management of Rural Area－) 広田 純一 HIROTA, Junichi (岩手大学農学部教授)	休憩 10分	講義2 「野生動物と共存する農村－その設計・計画・管理－」 (Coexistence of Human Beings and Wild Animals in Rural Area－Its design, planning, and management－) 武山 絵美 TAKEYAMA, Emi (愛媛大学農学部教授)	講義3 「環境配慮型施設の参加型管理」 (Participatory Management of Environmental Conservation Facilities) 田村 孝浩 TAMURA, Takahiro (宇都宮大学農学部准教授)	講義4 「パートナーシップによる農村地域の再生」 (Revitalization of Rural Areas through Partnership) 千賀 裕太郎 SENGA, Yutaro (東京農工大学農学部教授)	講義5 「現代農村計画の課題－農村の再生と持続的管理」 (Issues of Recent Rural Planning－Revitalization and Sustainable Management of Rural Area－) 仙北谷 康 SEMBOKUYA, Yasushi (帯広畜産大学畜産学部准教授)	講義6 「農場における家畜疾病対策と経営管理」 (On Farm Animal Disease Control and Farm Management) 仙北谷 康 SEMBOKUYA, Yasushi (帯広畜産大学畜産学部准教授)	講義7 「カキ果実の収穫後の生理」 (Postharvest physiology of persimmon fruit) 板村 裕之 ITAMURA, Hiroyuki (島根大学生物資源科学部教授)	講義8 「融合タンパク質の作成と活用」 (Fusion Protein) 永野 幸生 NAGANO, Yukio (佐賀大学総合分析実験センター准教授)
6月17日(木)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡 事項等	講義9 「生鮮食品流通の仕組みと技術」 (Distribution system and technique for agricultural products) 前澤 重禮 MAEZAWA, Shigenori (岐阜大学応用生物科学部教授)	講義10 「ビタミンB ₆ 分解酵素群の構造・機能・応用」 (Structure, function and application of enzymes involved in degradation for vitamin B ₆) 八木 年晴 YAGI, Toshiharu (高知大学農学部教授)	講義11 「青果流通貯蔵概論」 (Postharvest Handling of Fruit and Vegetables) 川田 和秀 KAWADA, Kazuhide (香川大学農学部教授)	講義12 「生物活性有機化合物の構造、活性と化学合成」 (Structures, activities and syntheses of biologically active organic compounds) 千葉 一裕 CHIBA, Kazuhiro (東京農工大学農学部教授)	講義13 「現代農村計画の課題－農村の再生と持続的管理」 (Issues of Recent Rural Planning－Revitalization and Sustainable Management of Rural Area－) 仙北谷 康 SEMBOKUYA, Yasushi (帯広畜産大学畜産学部准教授)	講義14 「農場における家畜疾病対策と経営管理」 (On Farm Animal Disease Control and Farm Management) 仙北谷 康 SEMBOKUYA, Yasushi (帯広畜産大学畜産学部准教授)	講義15 「カキ果実の収穫後の生理」 (Postharvest physiology of persimmon fruit) 板村 裕之 ITAMURA, Hiroyuki (島根大学生物資源科学部教授)	講義16 「融合タンパク質の作成と活用」 (Fusion Protein) 永野 幸生 NAGANO, Yukio (佐賀大学総合分析実験センター准教授)	講義17 「生物活性有機化合物の構造、活性と化学合成」 (Structures, activities and syntheses of biologically active organic compounds) 千葉 一裕 CHIBA, Kazuhiro (東京農工大学農学部教授)

平成 22 (2010) 年度農学特別講義 I (英語) 日程表

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

実施日程	8:30	9:00	9:10	10:40	10:50	12:20	13:20	14:50	15:00	16:30	17:00
	準備 30分	挨拶等 10分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	講義 (90分)	昼休み 60分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	
11月17日(水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡事項等	Lecture1 Genome microbiology of the gut microflora 「腸内細菌叢のゲノム微生物学」 SUZUKI, Tohru 鈴木 徹 (岐阜大学大学院連合農学研究科教授)		Lecture2 Avian Egg White Basic Proteins: The Structures and Functions 「トリ卵白塩基性タンパク質の構造と機能」 HAYAKAWA, Shigeru 早川 茂 (香川大学農学部教授)	Lecture3 Plant cell wall biosynthesis 「植物細胞壁の生合成メカニズム」 KONISHI, Teruko 小西 昭子 (琉球大学農学部准教授)		Lecture4 Fundamental Principles of Plant Cell Water Relations 「植物細胞水分生理に関わる基本原理」 NONAMI, Hiroshi 野並 浩 (愛媛大学農学部教授)			
11月18日(木)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡事項等	Lecture5 On the history of farmland conservation measures, agricultural irrigation system in Japan and a new irrigation system 「日本における農地保全および農業水利システムの歴史と新しいかんがいシステムについて」 FUKADA, Mitsuo 深田 三夫 (山口大学農学部教授)		Lecture6 Analysis of microbial community by DNA fingerprinting methods 「DNA マーカーによる微生物群集の解析」 SUGIYAMA, Shuichi 杉山 修一 (弘前大学農学部教授)	Lecture7 Application of microbial functions ~molecular mechanisms of biopolymer synthesis and degradation~ 「微生物機能の応用 ~バイオポリマー生合成と生分解の分子機構~」 UEDA, Shunsaku 上田 俊策 (宇都宮大学農学部教授)		Lecture8 Cell division and DNA replication 「細胞分裂とDNA複製」 TSUTSUMI, Ken-ichi 堤 賢一 (岩手大学農学部教授)			
11月19日(金)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡事項等	Lecture9 Viral Diseases of Passion-fruit in Southern Kyushu 「南九州におけるパッションフルーツのウイルス病について」 IWAI, Hisashi 岩井 久 (鹿児島大学農学部教授)		Lecture10 Research and utilization of biofertilizer for sustainable food production in Asia 「アジアでの持続的な食料生産に資するバイオ肥料の研究と利用」 YOKOYAMA, Tadashi 横山 正 (東京農工大学農学部教授)	Lecture11 Control of adipogenesis and obesity by dietary lipids and nutraceutical factors 「食事脂質と食品機能性因子による脂肪細胞形成と肥満の制御」 YOKOTA, Kazushige 横田 一成 (鳥根大学生物資源科学部教授)		Lecture12 Potential actions of relaxin and its related peptide on male reproductive processes in domestic animals 「雄家畜の生殖過程におけるリラキシンとその関連ペプチドの機能性」 KOHSAKA, Tetsuya 高坂 哲也 (静岡大学農学部教授)			

平成 22 (2010) 年度 科学コミュニケーション (合宿ゼミ) 日程表

期間：平成22 (2010) 年8月23日(月)～25日(水)
会場：山形大学農学部、いちろり火の里「田田 (でんでん)」
宿泊：いちろり火の里「田田 (でんでん)」

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	13:30	14:00	15:00	16:00	16:30	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00				
8月23日(月)	開講式次第【302講義室】 1. 開式 2. 連合農学研究科長挨拶 3. 山形大学農学部長挨拶 4. 日程等の説明 5. 閉式					受 付 山形大学 農学部 玄関ロビー	開 講 式 ・ 日 程 説 明	演習Ⅰ 研究課題別セミナー 1: 動物生産学6人(木村直子) 2: 生物制御学4人+生物機能開発学1人(佐藤 智) 3: 生物資源利用学2人+熟・生命システム学4人(村山哲也) 4: 地域資源経済学5人(小沢 互) 5: 地域環境工学1人+地域環境管理学1人(安中武幸)			宿 泊 先 へ 移 動	休 憩	実習Ⅰ コミュニケーション実習	自由交 流					
	8:40						講 義 第1部 学位取得への道 ・論文がアクセプトされるために(堀口健一)30分 ・論文審査の流れ、審査視点(五十嵐善治)30分 第2部 学位取得後のキャリアパス ・「5年間なんとか科学者を続けなさい」(佐藤智)30分 ・「私のキャリア形成-8年間の歩み-」(渡邊一哉)30分 ・アグロイノベーション高度人材養成センター紹介等60分(東京農工大学・石原清史)	昼 食	実習Ⅱ 新たな講義・セミナーを提案するワークショップ 13:00～趣旨説明 13:10～グループワーク 打合せ・資料作成(グループ別)			休 憩	演習Ⅱ 科学英語への招待 講師: ロベス・ラリー		夕 食 ・ お 風 呂	自由交 流			
8月24日(火)	朝 食						昼 食				休 憩								
8月25日(水)	朝 食	実習Ⅲ 庄内平野フィールドワーク 8:30- バスで出発 9:00- つけもの処 本長 10:15- 加茂水族館					昼 食 及 び 閉 校 式	解 散 (J R 鶴 岡 駅)					テーマ: 博士の未来を拓く Postdoctoral carrier development						
						11:45	12:30												
8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00						

第2部 教員の研究活動

第1章 公表論文等

* 公表論文等の掲載形式は、構成大学の年報の形式に準じる。

なお、弘前大学農学生命科学部所属教員の業績は、平成22年10月～平成23年9月までのものであり、他構成大学所属教員の業績は、平成22年度である。

1 生物生産科学専攻

(1) 植物生産学連合講座

【岩手大学】

黒田 栄喜

〈著書〉

- 1) 黒田栄喜(分担執筆)(2010) 草姿(草型)と受光, 光合成(3) 個葉の光合成. 日本作物学会編, 作物学用語事典. 農文協, 東京. pp.82-83, 154-155.

〈原著論文〉

- 1) 藤村 毅・下野裕之・西 政佳・佐川 了・黒田栄喜(2010) 異なる栽植密度と施肥条件下における米ぬか施用が水稻の生育と収量に及ぼす影響. 日作東北支部報 53: 15-16.
- 2) 黒田栄喜・高田英明・下野裕之・廣津直樹・石丸 健(2010) 岩手県における染色体部分置換系統(コシヒカリ／カサラス)の収量性および稈の物理的性質. 日作東北支部報 53: 23-24.

壽松木 章

〈原著論文〉

- 1) Xiao, J., K. Ureshino, M. Hosoya, H. Okubo and A. Suzuki.(2010) Inheritance of bulb formation in *Allium schoenoprasum* L. Journal of the Japanese society for horticultural science. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 79(3): 282-286.

小森 貞男

〈原著論文〉

- 1) Nakamura, K., Yamagishi, N., Isogai, M., Komori, S., Ito T. and Yoshikawa, N.(2010) Seed and pollen transmission of Apple latent spherical virus in apple. J. Gen. Plant Pathol. 77: 43-47.
- 2) Yamagishi, N., Sasaki, S., Yamagata, K., Komori, S., Nagase, M., Wada, M., Yamamoto T. and N. Yoshikawa(2010) Promotion of flowering and reduction of a generation time in apple seedlings by ectopical expression of the Arabidopsis thaliana FT gene using

theApple latent spherical virus vector. Plant Mol. Biol. 75 : 193-204.

佐川 了

〈原著論文〉

- 1) Hoshino, T., Nakamura, T., Seimiya, Y., Kamada, T., Ishikawa, G., Ogasawara, A., Sagawa, S., Saito, M., Shimizu, H., Nishi, M., Watanabe, M., Takeda, J., and Takahata, Y.(2010) Production of a fully waxy line and analysis of waxy genes in the allohexaploid crop, Japanese barnyard millet. Plant Breeding 129 : 349-355.
- 2) 木内亮輔, 佐川 了, 吉田晴香, 高草木雅人, 星野次汪(2010) 栽培ヒエの農業形質および成分・品質の系統間差異とその相互関係. 育種学研究 12 : 132-139.
- 3) 藤村 毅, 下野裕之, 西 政佳, 佐川 了, 黒田栄喜(2010) 異なる栽植密度と施肥条件下における米ぬか施用が水稻の生育と収量に及ぼす影響. 日作東北支部報 53 : 15-16.
- 4) 熊谷成子, 吉田晴香, 佐川 了, 星野次汪(2010) ヒエ, アワ, キビの食味評価. 日作東北支部報 53 : 35-36.

〈品種登録〉

- 1) 星野次汪, 佐川 了, 渡邊 学, 西 政佳, 吉田晴香, 守岡 貴, 武田純一, 高畑義人(2010) 種類：ヒエ 登録品種の名称：ゆめさきよ 登録番号：24855(平成 22 年 5 月 6 日)

下野 裕之

〈原著論文〉

- 1) Shimono, H., Suzuki, K., Aoki, K., Hasegawa, T. and Okada, M.(2010) Effect of panicle-removal on photosynthetic acclimation under elevated CO₂ in rice. Photosynthetica 48 : 530-536.
- 2) Shimono, H., Ishii, A., Kanda, E., Suto, M. and Nagano, K.(2011) Genotypic variation in rice cold tolerance responses during reproductive growth as a function of water temperature during vegetative growth. Crop Science 51 : 290-297.
- 3) Ishii, A., Kuroda, E. and Shimono, H.(2011) Effect of high water temperature during vegetative growth on rice growth and yield under a cool climate. Field Crops Res. 121 : 88-95.

立澤 文見

〈原著論文〉

- 1) Tatsuzawa, F., Ichihara, K., Shinoda, K., Miyoshi, K.(2010) Flower colors and pigments in *Disa* hybrid(Orchidaceae). South African Journal of Botany 76 (1) : 49-53.
- 2) Tatsuzawa, F., Usuki, R., Toki, K., Saito, N., Shinoda, K., Shigihara, A., Honda, T. (2010) Acylated pelargonidin 3-sambubioside-5-glucosides from the red-purple flowers of *Lobularia maritima*. Journal of the Japanese Society for Horticultural Science 79 (1) : 84-90.
- 3) Tatsuzawa, F., Saito, N., Toki, K., Shinoda, K., Shigihara, A., Honda, T.(2010) Acylated cyanidin 3-sophoroside-5-glucosides from the purple roots of red radish (*Raphanus sativus*

- L.). Journal of the Japanese Society for Horticultural Science 79 (1) : 103-107.
- 4) Tatsuzawa, F., Saito, N., Shigihara, A., Honda, T., Toki, K., Shinoda, K., Yukawa, T., Miyoshi, K.(2010) An acylated cyanidin 3, 7-diglucoside in the bluish flowers of *Bletilla striata* 'Murasaki Shikibu' (Orchidaceae). Journal of the Japanese Society for Horticultural Science 79 (2) : 215-220.
- 5) Tatsuzawa, F., Saito, N., Maeyama, K., Yokoi, M., Shigihara A., Honda, T.(2010) Triacylated anthocyanidin 3-arabinosylglucoside-7, 3'-diglucosides isolated from the bluish flowers of *Tradescantia virginiana* cultivars and their distribution in the Tradescantieae. Heterocycles 81 (10) : 2257-2267.

松島 卯月

〈原著論文〉

- 1) 岩崎泰永, 吉田千恵, 松嶋卯月, 伊吹竜太(2011) イチゴ夏秋どり栽培におけるウォーターカーテンの利用が施設内環境と果実収量に及ぼす影響. 園学研 : 241-247.

渡邊 学

〈著書〉

- 1) 渡邊 学 (分担執筆)(2010) サゴヤシ-21世紀の資源植物- (サゴヤシ学会編), 京都大学学術出版会, 京都, pp. 75-88, 93-98, 103-109, 109-113.

〈原著論文〉

- 1) 佐川 了・阿部 岳・渡邊 学(2011) 低アミロース性のヒエ新品種「ゆめさきよ」の異なる栽培下における生育と収量. 雑穀研究. No. 26 : 7-10.

〈特許〉

- 1) 星野次汪・佐川 了・渡邊 学・西 政佳・高畑義人・武田純一・吉田晴香・守岡 貴 (2010) ゆめさきよ. 品種登録出願の番号 : 第 24855 号. 品種登録出願の年月日 : 平成 22 年 5 月 6 日.

【弘前大学】

荒川 修

〈著書〉

- 1) 荒川 修 : 太陽紫外線とリンゴの着色, からだと光の事典, 太陽紫外線防御研究委員会 (編), 朝倉書店 : 26-29, 2010.

〈原著論文〉

- 1) 葛西 智*・工藤 智*・荒川 修 : NAA 処理によるリンゴ 'ふじ' の裂果抑制. 園学研, 10(1) : 69-74, 2011. (*地方独立行政法人青森県産業技術センター りんご研究所)
- 2) 渡邊 学*・小山田知広*・壽松木 章*・村上政伸*・佐川 了*・小森貞男*・荒川 修 : リンゴ 'はるか' および 'ふじ' 果実における糖蓄積特性の比較. 園芸学研究, 10(4) : 565-571, 2011. (*岩手大学農学部)

川崎 通夫

〈原著論文〉

- 1) Kinoshita, H., Nagasaki, J., Yoshikawa, N., Yamamoto, A., Takito, S., Kawasaki, M., Sugiyama, T., Miyake, H., Weber, A. P. M. and Taniguchi, M. : The chloroplastic 2-oxoglutarate/malate transporter has dual function as the malate valve and in carbon/nitrogen metabolism. *The Plant Journal*, 65 : 15-26, 2011.
- 2) Iijima, M., Yoshida, T., Kato, T., Kawasaki, M., Watanabe, T. and Somasundaram, S. : Visualization of lateral water transport pathways in soybean by a time of flight-secondary ion mass spectrometry cryo-system. *Journal of Experimental Botany*, 62 : 2179-2188, 2011.
- 3) 乗田理恵・西村さつき・千田峰生・川崎通夫：ダイズ種皮における色素蓄積様式に関する組織・細胞学的検討，日本作物学会東北支部会報，53：41-43, 2010.
- 4) Ferdose, J., Kato, T., Kawasaki, M., Taniguchi, M. and Miyake, H. : Vertical distribution of sodium in root of rice plants exposed to salinity as analyzed by cryo time-of-flight secondary ion mass spectrometry. *Plant Production Science* 14 : 215-218, 2011.

伊藤 大雄

〈原著論文〉

- 1) 石田祐宣・伊藤大雄：白神山地フラックスタワーにおける気象概況とその考察（2008年11月～2009年10月）．*白神研究*，7：27－38，2010.
- 2) Daiyu Ito, Sachinobu Ishida and Dai Matsushima : Evaluation and estimation of canopy heat storage fluxes in an apple orchard. *J. Agric. Meteorol.*, 67 : 33－42, 2011.

大河 浩

〈原著論文〉

- 1) Ohkawa, H., Hashimoto, N., Furukawa, S., Kadono, T. and Kawano, T. (2011) Forced symbiosis between *Synechocystis* sp. PCC 6803 and apo-symbiotic *Paramecium bursaria* as an experimental model for evolutionary emergence of primitive photosynthetic eukaryotes. *Plant signaling & behavior* 6 : 773-776.

本多 和茂

〈原著論文〉

- 1) 本多和茂・石川幸男^{*1}：白神山地に自生するシラネアオイの種子繁殖に関わる基礎的研究．*白神研究*第8号．2011.（^{*1} 弘前大白神）
- 2) 本多和茂・石川幸男^{*1}：白神山地に自生するシラネアオイの生活史戦略－開花と個体サイズに関する基礎的研究．*白神研究*第8号．2011.（^{*1} 弘前大白神）

前田 智雄

〈著書〉

- 1) 元木 悟・前田智雄・井上勝弘・山口貴之・渡辺慎一・松永邦則・尾崎行生・浦上敦子・

- 甲村浩之・佐藤達雄・荒木肇・北澤裕明. 世界のアスパラガス生産の現状と展望(1) 1. 世界および日本のアスパラガス生産の動向. 農業および園芸. 86(7) : 775-783. 2011.
- 2) 前田智雄・元木 悟・井上勝弘・園田高広・松永邦則・尾崎行生・佐藤達雄・甲村浩之・荒木 肇・浦上敦子・山口貴之. 世界のアスパラガス生産の現状と展望(2) 2. ホワイトアスパラガス生産の先進国, オランダにおけるアスパラガス生産. 農業および園芸. 86(8) : 874-878. 2011.
- 3) 元木 悟・渡辺慎一・山口貴之・松永邦則・前田智雄・尾崎行生・竹内陽子・荒木 肇・地子 立・井上勝弘・佐藤達雄・浦上敦子. 世界のアスパラガス生産の現状と展望(3) 3. 急速に拡大するペルーのアスパラガス生産. 農業および園芸. 86 (9) : 961-972. 2011.
- 4) 元木 悟・松永邦則・前田智雄. ペルーにおけるアスパラガス生産. 長野園芸研究. 41 : 68-69. 2010.

〈原著論文〉

- 1) Kitazawa, H., S. Motoki, T. Maeda, Y. Ishikawa, Y. Hamauzu, K. Matsushima, H. Sakai, T. Shiina, Y. Kyutoku. Effects of Storage Temperature on the Postharvest Quality of Three Asparagus Cultivars Harvested in Spring. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 80(1) : 161-167. 2011.
- 2) Suzuki, T., T. Maeda, S. Nomura, M. Suzuki, G. Grant, P. Sporns. Rapid Analysis of Fructans And Comparison of Fructan Profiles in Several Different Types of Asparagus Storage Roots Using MALDI-TOF MS. J. Hort. Sci. Biotech. 86(3) : 210-216. 2011.
- 3) 元木 悟・北澤裕明・前田智雄・久徳康史. 密植栽培がムラサキアスパラガス ‘パープルパッション’ の収量および生育に及ぼす影響. 園芸学研究 10(1) : 81-86. 2011.
- 4) 音喜多啓秀・前田智雄・嘉見大助・中野英樹・鈴木 卓・鈴木正彦. ギョウジャニンニク伏せ込み栽培における萌芽期の系統間差. 植物環境工学. 23(1) : 12-17. 2011.

松山 信彦

〈著書〉

- 1) 佐々木長市・松山信彦：白神山地の土壌，白神学入門〈改訂版〉，41-45，白神自然環境研究所編，2011

〈原著論文〉

- 1) Shyamal Kumar Paul, C. Sasaki, N. Matsuyama, K. Noda and B. K. Mitra.: Influence of percolation patterns on growth and yield of rice plants and uptake of cadmium from polluted paddy fields using soil dressing models. Pedologist, 54 : 222-229, 2011
- 2) 佐々木長市・松山信彦・佐瀬 隆・殿内暁夫・Shyamal Kumar Paul・野田香織・山岸洋貴：白神山地の土壌に関する研究(8)，白神研究, 8 : 50-61, 2011

松本 和浩

〈原著論文〉

- 1) 松本和浩・中田 昇・鷹見敏彦・田村文男. シンテッポウユリ (*Lilium × formolongi hort.*) 種子の高温による発芽不揃いの原因. 園芸学研究. 9. 427-431. 2010.
- 2) 松本和浩・平松 渚・田淵俊人. 白神山地に自生するノハナショウブに関する研究 (第1

- 報) 深浦町行合崎に自生するノハナショウブの外部形態と花色の変異に関する研究. 白神研究. 7. 14-19. 2010.
- 3) 松本和浩・平松 渚・田淵俊人. 白神山地に自生するノハナショウブに関する研究 (第2報) 秋田県藤里町素波里湖に自生するノハナショウブの外部形態と花色の変異に関する研究. 白神研究. 7. 20-26. 2010.
- 4) Oanh, V.T.K., K. Matsumoto, Y-S. Hwang and J-P. Chun. Changes of cell wall polysaccharides during berry ripening in grapes (*Vitis spp.*). Hort. Environ. Biotechnol. 51 : 513-519. 2010.
- 5) Sonoki, T., K. Matsumoto, K. Jindo, H. Sudo and Y. Sasaki. Characterization of Biochar-blended composting of the regional waste biomass. Transactions of the MRS-J. 35 : 909-912. 2010.
- 6) 五十嵐 恵・初山慶道・松本和浩・塩崎雄之輔. DNA 鑑定による赤肉系リンゴ新品種 ‘紅の夢’ の親品種の同定. 弘前大学農学生命科学部学術報告. 13 : 7-13. 2010.
- 7) 竹村圭弘・須藤幸子・池田隆政・松本和浩・田村文男. ニホンナシ ‘ゴールド二十世紀’ の芽の自発休眠は低温によって導入される. 園芸学研究. 10 : 87-92. 2011.
- 8) 松本和浩・神藤恵史・須藤弘毅・須藤宏樹・佐々木嘉幸・園木和典. 青森県で排出される有機性廃棄物に木炭, 木酢液を混入して作製した堆肥がハツカダイコンの生育に及ぼす効果. 木質炭化学会誌. 7 : 63-67. 2011.

【山形大学】

安藤 豊

〈著書〉

- 1) 安藤 豊 : 2010 栽培・管理. 「サゴヤシ」, サゴヤシ学会編, 京都大学学術出版会 (157-191 頁), ジョン, 佐々木, 角田共著

〈原著論文〉

- 1) Regmi Basu Dev, Y. Sasaki, K. Kakuda and Ho Ando (2010) : Effect of Shallow Water Management on Growth and Yield of Rice, Tohoku Journal of Crop Science 53. 59-60
- 2) Yin Min Htun, Y. Sasaki, K. Kakuda, K. Mikuni, S. Mori, H. Fujii, and H. Ando (2010) : Effect of Weeding Methods on Nitrogen Mineralization and Rice Growth. Tohoku Journal of Crop Science 53. 61-62

平 智

〈著書〉

- 1) 山田昌彦・平 智 (2010) : 果物と人々との関わり, カキ, 八田洋章・大村三男編著, 果物学-果物のなる樹のウォッチング-, p. 251-263, 東海大学出版会.
- 2) 平 智 (2010) : カキ, 地域食材大百科, 第3巻, 果実・木の実, ハーブ, p. 82-91, 農山漁村文化協会.

西澤 隆

〈原著論文〉

- 1) Matsushima U., W. Graf, N. Kardjilov, A. Hilger, T. Nishizawa, H. Gruneberg and W. B. Herppich. 2010. Water flow in cut rose peduncles-Destructive and non destructive measurement methods. Acta Horticulturae 870 : 257-262.

藤井 弘志

〈原著論文〉

- 1) 森 静香・横山克至・藤井弘志(2010) 山形県の庄内地域における登熟期の葉色診断による玄米タンパク質含有率別仕分け方, 日本作物学会紀事, 79 (2), 113~119
- 2) 松田裕之・柴田康志・森 静香・藤井弘志(2011) 山形県庄内地域における登熟期間の気温がダイズの百粒重に及ぼす影響, 日本作物学会紀事, 80 (1), 43~48

森 静香

〈原著論文〉

- 1) 森 静香・横山克至・藤井弘志 (2010) 山形県の庄内地域における登熟期の葉色診断による玄米タンパク質含有率別仕分け法, 日本作物学会紀事, 79 (2), 113~119
- 2) 松田裕之・柴田康志・森 静香(2011) 山形県庄内地域における登熟期間の気温がダイズの百粒重に及ぼす影響, 日本作物学会紀事, 80(1), 43~48

〈学会賞〉

- 1) 日本土壌肥料学会奨励賞：水稻のケイ酸吸収特性に基づいた効率的なケイ酸施用技術の開発と気象災害に対するケイ酸の有用性に関する研究（平成 22 年 9 月 8 日）

【帯広畜産大学】

花田 正明

〈原著論文〉

- 1) 平田昌弘・米田佑子・有賀秀子・花田正明・河合正人・内田健治・元島英雅(2010)『斉民要術』に基づいた東アジアの古代乳製品の再現と同定. Milk Science 59 (1) : 9-22.

(2) 動物生産学連合講座

【岩手大学】

喜多 一美

〈著書〉

- 1) 喜多一美（分担執筆）(2010) 生物学大辞典（石川 統, 黒岩常祥, 塩見正衛, 松本忠夫, 守 隆夫, 八杉貞雄, 山本正幸 編集）, 東京化学同人, 東京.

〈原著論文〉

- 1) Nagao, K., Hiramatsu, K., Tsukada, A. and Kita, K.(2010) Effects of Insufficient Levels of Dietary Protein on IGF-I and IGFBPs in Young Chickens. J. Poult. Sci. 47 : 236-239.
- 2) Saito, F. and Kita, K.(2011) Maternal intake of astaxanthin improved hatchability of fertilized eggs stored at high temperature. J. Poult. Sci., 48 : 33-39.

佐野 宏明

〈原著論文〉

- 1) Alam, M. K., Y. Ogata, Y. Sako, M. Al-Mamun and H. Sano(2010) Intermediary metabolism of plasma acetic acid, glucose and protein in sheep fed a rice straw-based diet. Asian-Aust. J. Anim. Sci. 23 : 1333-1339.

橋爪 力

〈原著論文〉

- 1) Suzuki, H., Sasaki, Y., Shimizu, M., Matsuzaki, M., Hashizume, T. and Kuwayama, H.(2010) Ghrelin and leptin did not improve meiotic maturation of porcine oocytes cultured in vitro. Reprod. Domest. Anim. 45 : 927-930.
- 2) Fujii, T., Moriyasu, S., Hirayama, H., Hashizume, T. and Sawai K.(2010) Aberrant expression patterns of genes involved in segregation of inner cell mass and trophectoderm lineages in bovine embryo derived from somatic cell nuclear transfer. Cellular Reprogramming 12 : 617-625.
- 3) Ezzat, A., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, T., Jin, J., Sawai, K., Yamashita, T. and Hashizume, T.(2011) Sex steroid hormones do not enhance the direct stimulatory effect of kisspeptin-10 on the secretion of growth hormone from bovine anterior pituitary cells. Anim. Sci. J. 82 : 73-77.
- 4) 澤田 建, 中嶋侑佳, 八重樫朋祥, 斎藤隼人, 後藤由希, 金 金, 澤井 健, Fülöp, F., Nagy, G. M., 橋爪 力 (2011) 雄ヤギにおけるサルソリノールによるプロラクチン放出反応. 東北畜産学会報 60 : 116-122.
- 5) Sawai, K., Takahashi, M., Fujii, T., Moriyasu, S., Hirayama, H., Minamihashi, A., Hashizume, T. and Onoe, S.(2011) DNA methylation status of bovine blastocyst embryos obtained from various procedures. J. Reprod. Dev. 57 : 236-241.
- 6) Devkota, B., Takahashi, K-I., Matsuzaki, S., Matsui, M., Miyamoto, A., Yamagishi, N., Osawa, T., Hashizume, T., Izaike, Y. and Miyake, Y-I.(2011) Basal levels and GnRH-induced responses of peripheral testosterone and estrogens in Holstein bulls with poor sperm quality. J. Reprod. Dev. 57 : 373-378.

松原 和衛

〈原著論文〉

- 1) Nishimura T., Yamauchi, K., Saitoh, Y., Deguchi, Y., Aoi, T., Tsujimoto, T. and Matsubara, K.(2010) Sex determination of the Japanese serow (*Capricornis crispus*) by fecal

- DNA analysis. Jpn. J. Zoo Wildlife Med. 15 : 73-78.
- 2) Watanabe, Y., Fujihara, M., Obara, H., Matsubara, K., Yamauchi, K. and Harasawa, R.(2010) Novel hemoplasma species detected in free-ranging sika deer (*Capricornis crispus*). J. Vet. Med. Sci. 72 : 1527-1530.
- 3) 松原和衛, 瀬川典久, 出口善隆, 大石明広, 山本信次, 東 淳樹, 高橋広和, 漆原育子, 佐藤 光, 青井俊樹, 澤本 潤(2010)

小田 伸一

〈原著論文〉

- 1) 釜石大輔, 石井里恵, 今井由美子, 橋本 渉, 河合成直, 小田伸一, 倉持 好, 岡田幸助 (2010) グラントシマウマ (*Equus burchelli bohmi*) の腸結石の性状とその臨床. 日本野生動物医学会誌 15 巻 37-44.

出口 善隆

〈原著論文〉

- 1) 山本嘉人, 出口善隆, 塚田英晴, 佐藤衆介, 北川美弥, 西田智子, 寺田 裕, 的場和弘, 池田堅太郎, 佐藤 真, 平野 清(2010) 広大な林内放牧地に造成した集畜草地の植生, 乾物生産量と利用率. 日草誌 56 : 137-143.
- 2) Nishimura, T., Yamauchi, K., Saitoh, Y., Deguchi, Y., Aoi, T., Tsujimoto, T. and Matsubara, K.(2010) Sex determination of the Japanese serow (*Capricornis crispus*) by fecal DNA analysis. Jpn. J. Zoo Wildl. Med. 15 : 73-78.
- 3) 東山雅一, 出口善隆, 成田大展, 近藤恒夫, 高橋繁男, 村元隆行(2010) 北東北の採草地を利用した冬季放牧における牛の滞在場所と摂食場所の選択性に影響する要因. 日草誌 56 : 203-210.

村元 隆行

〈原著論文〉

- 1) 東山雅一, 出口善隆, 成田大展, 近藤恒夫, 高橋繁男, 村元隆行(2010) 北東北の採草地を利用した冬季放牧における牛の滞在場所と摂食場所の選択性に影響する要因. 日本草地学会誌 56 : 203-210.

〈特許・設計等〉

- 1) 松本和典, 村元隆行, 柴田昌宏, 相川勝弘, 安藤 貞(2010) 抗酸化能測定による牛肉の肉色保持日数の予測方法 特許第 4543233 号
- 2) 松本和典, 村元隆行, 柴田昌宏, 相川勝弘(2010) 急速な酸化による変色の速さから牛肉の肉色保持日数を予測する方法 特許第 4534035 号

澤井 健

〈原著論文〉

- 1) Ezzat, Ahmed, A., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, T., Goto, Y., Nakajima, Y., Jin, J.,

- Yamashita, T., Sawai, K. and Hashizume, T.(2010) The role of sexual steroid hormones in the direct stimulation by Kisspeptin-10 of the secretion of luteinizing hormone, follicle-stimulating hormone and prolactin from bovine anterior pituitary cells. *Anim. Reprod. Sci.* 121 : 267-272.
- 2) Fujii, T., Moriyasu, S., Hirayama, H., Hashizume, T. and Sawai, K.(2010) Aberrant expression patterns of genes involved in segregation of inner cell mass and trophectoderm lineages in bovine embryos derived from somatic cell nuclear transfer. *Cellular Reprogramming* 12 : 617-625.
- 3) Inoue, K., Kohda T., Sugimoto, M., Sado T., Ogonuki, N., Matoba, S., Shiura, H., Ikeda, R., Mochida, K., Fujii, T., Sawai, K., Otte, A. P, Tian, X.C., Yang, X., Ishino, F., Abe, K. and Ogura, A.(2010) Impeding Xist expression from the active X chromosome improves mouse somatic cell nuclear transfer. *Science* 330 : 496-499.
- 4) Hirayama, H., Sawai, K., Hirayama, M., Hirai, T., Kageyama, S., Onoe, S., Minamihashi, A. and Moriyasu, S. (2011) Prepartum maternal plasma glucose concentration and placental glucose transporter mRNA expression in cows carrying somatic cell clone fetuses. *Jour. Reprod. Devel.* 57 : 57-61.
- 5) 澤田 建, 中嶋侑佳, 八重樫朋祥, 斉藤隼人, 後藤由希, 金 金, 澤井 健, Fulop, F., Nagy, G.M., 橋爪 力. (2011) 雄ヤギにおけるサルソリノールによるプロラクチン放出反応. 東北畜産学会報 60 : 116-122.

【弘前大学】

鈴木 裕之

〈原著論文〉

- 1) 近藤真大・王 鳳鵬・木村 中・小笠原陵・房家 琛・鈴木裕之・松崎正敏：アルコール発酵型リンゴ粕サイレージ採食後のサフォーク種めん羊の血糖値低下について. 日本緬羊研究会誌, 47 : 13-19, 2010.
- 2) Fang, J., Matsuzaki, M., Suzuki, H., Xu, C., Cai, Y., Horiguchi, K., Takahashi, T. : Fermentation quality, digestibility and unhulled rice excretion of forage paddy rice silage prepared by different harvester types. *Grassland Science*, 57 : 23-27, 2011.
- 3) Fang, J., Matsuzaki, M., Suzuki, H., Wusiman, Y., Goto, M., Horiguchi, K., Takahashi, T. : Effects of adding a monosodium glutamate fermented by-product on the fermentation quality of whole crop rice (*Oryza sativa* L.) silage, digestibility and ruminal fermentation in beef cattle. *Grassland Science*, 57 : 107-112, 2011

松崎 正敏

〈原著論文〉

- 1) 近藤真大・王 鳳鵬・木村 中・小笠原 陵・房家 琛・鈴木裕之・松崎正敏：アルコール発酵型リンゴ粕サイレージ採食後のサフォーク種めん羊の血糖値低下について. 日本緬羊

研究会誌, 47 : 13-19, 2010.

- 2) Fang, J., Matsuzaki, M., Suzuki, H., Xu, C., Cai, Y., Horiguchi, K., Takahashi, T. : Fermentation quality, digestibility and unhulled rice excretion of forage paddy rice silage prepared by different harvester types. Grassland Science, 57 : 23-27, 2011.
- 3) Kamiya, M., Matsuzaki, M., Hattori, I., Hayashi, Y., Tsuneishi, E., Kamiya, Y., Suzuki, T., Tanaka, M., Sato, K. : Effects of increased milk replacer feeding during the suckling period on growth and fattening performance of Holstein steers. Journal of Warm Regional Society of Animal Science, Japan, 54 : 107-116, 2011.
- 4) Fang, J., Matsuzaki, M., Suzuki, H., Wusiman, Y., Goto, M., Horiguchi, K., Takahashi, T. : Effects of adding a monosodium glutamate fermented by-product on the fermentation quality of whole crop rice (*Oryza sativa* L.) silage, digestibility and ruminal fermentation in beef cattle. Grassland Science, 57 : 107-112, 2011

【山形大学】

高橋 敏能

〈原著論文〉

- 1) 高橋敏能・松浦弘幸・佐藤裕子・堀口健一・吉田宣夫. (2010) 収穫時期が異なる稲発酵粗飼料への乳酸菌と廃シロップの添加が発酵品質とビタミン類, および肉牛における消化率に及ぼす影響. ルーメン研究会報 21 : 11-17.
- 2) 田川伸一・堀口健一・吉田宣夫・高橋敏能*. (2011) リードカナリーグラス発酵 TMR の発酵品質に及ぼすミカンジュース粕, トウフ粕, トウモロコシジスチラーゼグレインソリュブルおよび酵素の影響. 日本草地学会誌 (印刷中)
- 3) Jiachen Fang, Masatoshi Matuzaki, Hiroyuki Suzuki, Chuncheng Xu, Yimin Cai, Ken-ichi Horiguchi⁵ and Toshiyoshi Takahashi (2011) Fermentation quality, digestibility, and unhulled rice excretion of forage paddy rice 4 silage prepared by different harvester types. Grassland Science (in press)
- 4) Jiachen Fang, Masatoshi Matsuzaki, Hiroyuki Suzuki, Yimiti Wusiman, Goto Masakazu, Ken-ichi Horiguchi and Toshiyoshi Takahashi* (2011) Effects of adding a monosodium glutamate by-product on the fermentation quality of whole crop rice (*Oryza sativa* L.) silage, digestibility and ruminal fermentation in beef cattle. Grassland Science (in press)
- 5) Yang Cao, Yimin Cai, Toshiyoshi Takahashi, Norio Yoshida, M Tohno, Ryuichi Uegaki, Kazuhisa Nonaka and Fuminori Terada (2011) Effect of lactic acid bacteria inoculant and beet pulp addition on fermentation characteristics and in vitro ruminal digestion of vegetable residue silage. Journal of Dairy Science (in press)

吉田 宣夫

〈著書〉

- 1) 吉田宣夫 (2011) : 飼料研究経過と普及の動き, 草地・飼料作物大事典, 農文協, 603-609

- 2) 吉田宣夫 (2011) : 飼料用イネの栽培・利用 (ホールクロップ, 青刈り, 実とり), 草地・飼料作物大事典, 農文協, 643-656
- 3) 吉田宣夫 (2011) : 発酵 TMR への食品残渣の活用とそのシステム, 草地・飼料作物大事典, 農文協, 1029-1036
- 4) 吉田宣夫 (2011) : 飼料用米の生産・給与技術マニュアル 2010 年度版, 独立行政法人 農研機構, 平成 23 年度 3 月刊
- 5) 吉田宣夫 (2011) : メタン発酵消化液の水田利用および堆肥の燃焼利用マニュアル, 財団法人 畜産環境整備機構, 平成 23 年度 3 月刊
- 6) 吉田宣夫・加藤 浩・浦川修司 (2011) : 飼料イネ及び飼料用米の生産・利用技術, 畜産技術発達史, 社団法人 畜産技術協会, 275-280

〈原著論文〉

- 1) M. R. Islam, M. Ishida, S. Ando, T. Nishida, N. Yoshida (2011) Whole crop rice silage : Predictions of yield and content of metabolizable energy, metabolizable protein and other nutrients for dairy cows from crop maturity and botanical fractions at harvest. *Animal Feed Science and Technology* 163 : 222-230
- 2) Norio Yoshida (2011) Recent advances in research and development in fermented rice roughage and feed grain rice. *Solution for steep rise of feed price, JAICAF News letter.*
- 3) Yang Cao, Toshiyoshi Takahashi, Ken-ich Horiguchi, Norio Yoshida, Yimin Cai (2010) : Methane emissions from sheep fed fermented or non-fermented total mixed ration containing whole-crop rice and rice bran. *Animal Feed Science and Technology*, 157 : 72-78.
- 4) 吉田宣夫 (2010) : 飼料用米の研究と普及の状況について, 日本畜産学会報, 81(4), 489-493
- 5) 高橋敏能・松浦弘幸・佐藤裕子・堀口健一・吉田宣夫 (2010) : 収穫時期が異なる稲発酵粗飼料への乳酸菌と廃シロップの添加が発酵品質とビタミン類, および肉牛における消化率に及ぼす影響. *ルーメン研究会報*, 21 : 11-17.
- 6) 吉田宣夫 (2010) : 飼料用稲・米にとりくむ地域の課題 畜産の視点から, 農業と経済, 2010(12), 23-28

〈学会賞〉

- 1) 畜産技術協会賞 : 水田活用・資源循環を基本とした飼料米の生産と豚への給与技術 (平成 22 年 6 月 22 日), グループ受賞

木村 直子

〈著書〉

- 1) Kimura N and Fujii J. 2010(平成 22 年) 【査読なし】 Active oxygen species as a signal of embryonic developmental arrest and death. In *Male and Female Infertility: Genetic Causes, Hormonal Treatments and Health Effects* (Eds. By Glantz B and Edquist). Nova Science Publishers, Inc, Hauppauge, p55-75, 2010 NY. ISBN-10 : 1608766543.

〈原著論文〉

- 1) Kimura N, Satoshi T, Iuchi Y, Abe H, Totsukawa K, Fujii J. 2010(平成 22 年) 【査読あり】

Intrinsic oxidative stress causes either two-cell arrest or cell death depending on developmental stage of the embryos from SOD1-deficient mice. *Molecular Human Reproduction*, 2010, Vol. 16 : 441-451.

- 2) Yokoo M, Kimura N, Sato E. 2010 (平成 22 年) 【査読なし】 Induction of oocyte maturation by hyaluronan-CD44 interaction in pigs. *The Journal of Reproduction and Development*, Vol. 56 : 15-19.

堀口 健一

〈原著論文〉

- 1) Yang Cao, Toshiyoshi Takahashi, Ken-ich Horiguchi, Norio Yoshida, Yimin Cai (2010) : Methane emissions from sheep fed fermented or non-fermented total mixed ration containing whole-crop rice and rice bran. *Animal Feed Science and Technology*, 157 : 72-78.
- 2) 高橋敏能・松浦弘幸・佐藤裕子・堀口健一・吉田宣夫 (2010) : 収穫時期が異なる稲発酵粗飼料への乳酸菌と廃シロップの添加が発酵品質とビタミン類, および肉牛における消化率に及ぼす影響. *ルーメン研究会報*, 21 : 11-17.
- 3) 齋藤明日香・松田朗海・片平光彦・堀口健一・夏賀元康 (2010) : 近赤外分光法によるエダマメ茎葉残渣サイレージの発酵品質の測定. *農業機械学会東北支部報*, 57 : 33-36.

【帯広畜産大学】

柏村 文郎

〈著書〉

- 1) 西田武弘. 2010. 徹底・後継牛づくり. 柏村文郎, 鈴木三義 監修. *DAIRYM 臨時増刊号*. p.96-101, 北海道協同組合通信社 (デーリイマン社). 札幌.

鈴木 三義

〈著書〉

- 1) 西田武弘. 2010. 徹底・後継牛づくり. 柏村文郎, 鈴木三義 監修. *DAIRYMAN 臨時増刊号*. p.96-101, 北海道協同組合通信社 (デーリイマン社). 札幌.

福井 豊

〈原著論文〉

- 1) Watanabe, H. Suzuki, H. and Fukui Y. 2010. Fertilizability, developmental competence, and chromosomal integrity of oocytes microinjected with pre-treated spermatozoa in mice. *Reproduction* 139 : 513-521
- 2) Watanabe, H. Suzuki, H. Tateno, H. And Fukui, Y. 2010. A novel method for detection of chromosomal integrity in cryopreserved livestock spermatozoa using artificially fused mouse oocytes. *Journal of Assisted Reproduction and Genetics* 27 (9-10) : 581-588

手塚 雅文

〈原著論文〉

- 1) Tetsuka M, Nishimoto H, Miyamoto A, Okuda K, Hamano S. 2010. Gene expression of 11-HSD and glucocorticoid receptor in the bovine (*bos taurus*) follicle during follicular maturation and atresia: the role of follicular stimulating hormone. *Journal of Reproduction and Development*. 56(6) : 616-622.

門平 睦代

〈原著論文〉

- 1) Lee K, Shimizu J, Kishimoto M, Kadohira M, Iwasaki T, Miyake Y, Yamada K. 2011. Computed tomography of the prostate gland in apparently healthy entire dogs. *The Journal of Small Animal Practice* 52 : 146-151
- 2) Padungtod, P., Tharavichitkul, P., Junya, S., Chaisowong, W., Kadohira, M., Makino, S., and Sthitmatee, N. 2010. Incidence and virulence factors of *Streptococcus suis* infection in Chiang Mai slaughtered pigs. *Southeast Asian Journal of Tropical Medical Public Health* 41(6) : 1-8
- 3) Kadohira, M., and Tajima, M. 2010. A Case Control Study of Bovine Viral Diarrhea Virus (BVDV) Persistent Infection (PI) in Betsukai, Hokkaido. *Journal of Veterinary Medical Science* 72(5) : 635-638

河合 正人

〈原著論文〉

- 1) 平田昌弘・米田佑子・有賀秀子・花田正明・河合正人・内田健治・元島英雅. 2010. 『斉民要術』に基づいた東アジアの古代乳製品の再現と同定. *Milk Science* 59(1) : 9-22.

木田 克弥

〈著書〉

- 1) Kawashima C, Nagashima S, Sawada K, Schweigert FJ, Miyamoto A, Kida K. 2010. Effect of β -carotene supply during close-up dry period on the onset of first postpartum luteal activity in dairy cows. *Reproduction in Domestic Animals* 45(6) : e282-e287
- 2) T, Nishida, S, Hayasaki, K, Kida, T, Matsumoto, and J, Takahashi. 2010. Effect of lactose ureide on methane emission and ruminal fermentation in vitro. E.J. Mc Geough and S.M. McGinn (Eds), *Proceedings of the 4th International Conference on Greenhouse Gases and Animal Agriculture*, Banff, Canada, October 3-8. 143

(3) 生物制御学連合講座

【岩手大学】

河合 成直

〈原著論文〉

- 1) 釜谷大輔, 石井里恵, 今井由美子, 橋本 渉, 河合成直, 小田伸一, 倉持 好, 岡田幸助 (2010) グラントシマウマ (*Equus burchelli bohmi*) の腸結石の性状とその臨床 Jpn J. Zoo. Wildl. Med. 15(1), 37-44.
- 2) Kashem, Md. A., Singh B. R., Kubota, H., Sugawara R., Kitajima, N., Kondo, T., and Kawai, S.(2010) Zinc tolerance and uptake by *Arabidopsis halleri* ssp. *gemma* grown in nutrient solution. Environ Sci Pollut Res., 17 : 1174-1176, DOI 10.1007/s11356-009-0193-6.
- 3) Islam, T., Fukuda, E., Shiyomi, M., Shaibur, M., R., Kawai, S., and Tsuiki, M.(2010). Effects of feces on spatial distribution patterns of grazed grassland communities. Agricultural Sciences in China, 9(1) : 21-129.
- 4) Shaibur, M., R., Shamim, A., H., M., Imamul Huq, S., M., and Kawai, S.(2010). Comparison of digesting capacity of nitric acid and nitric acid-perchloric acid mixture and the effect of lanthanum chloride on potassium measurement. Nature and Science, 8(5) : 157-162.
- 5) Shaibur, M., R., and Kawai, S.(2010). Effect of Arsenic on nutritional composition of Japanese Mustard Spinach: An ill effect of arsenic on nutritional quality of a green leafy vegetable. Nature and Science, 8(5) : 186-194.

磯貝 雅道

〈原著論文〉

- 1) Nakamura K., Yamagishi N., Isogai M., Komori S., Ito T., Yoshikawa N.(2010) (査読有) Seed and pollen transmission of Apple latent spherical virus. Journal of General Plant Pathology, 77, 48-53

立石 貴浩

〈原著論文〉

- 1) 立石貴浩, 滝沢崇幸, 颯田尚哉, 前田武己, 登尾浩助(2010) 担子菌 *Coprinopsis* sp. のアンモニア利用特性の評価と窒素負荷軽減のための微生物資材への応用. 環境工学研究論文集 47 : 289-296.

【弘前大学】

青山 正和

〈著書〉

- 1) 青山正和・坂本 清：りんご剪定枝の堆肥利用，泉谷眞実編著，未利用バイオマスとしてのりんご剪定枝の活用戦略 [増補改訂版]，p. 67-77，弘前大学出版会，2011.

〈原著論文〉

- 1) 青山正和：一体型 ATP 測定試薬キットと小型ルミノメーターを用いた農耕地土壌の微生物バイオマスの推定．日本土壤肥科学雑誌，82：305-308，2011.

佐野 輝男

〈原著論文〉

- 1) He, Y-H., Isono, S., Kawaguchi-Ito, Y., Taneda, A., Kondo, K., Iijima, A., Tanaka, K. and Sano, T. : Characterization of a new Apple dimple fruit viroid variant that causes yellow dimple fruit formation in 'Fuji' apple trees. J. Gen. Pl. Pathol. 76 ; 324-330. 2010.
- 2) Nekoduka, K., Tanaka, K., Sano, T. : Pathogenicity of *Mycosphaella gentianae*, causal fungus of gentian brown leaf spot, as affected by host species, and leaf position. J. Gen. Pl. Pathol. 76 ; 370-376. 2010.
- 3) Wang, Y., Shibuya, M., Taneda, A., Kurauchi, T., Senda, M., Owens, RA., Sano, T. : Accumulation of Potato spindle tuber viroid-specific small RNAs is accompanied by specific changes in gene expression in two tomato cultivars. Virology 413 ; 72-83. 2011.
- 4) Ramachandral, S., C.R. Adkar-Purushothama, CR., Maheshwara, PK., Sano, T., Janardhana, GR. A sensitive and reliable RT-nested PCR for the detection of Citrus tristeza virus from naturally infected Citrus plants. Current Microbiology (in Press)
- 5) Jiang, D., Wu, Z., Xie, L., Sano, T., Li, S-F. : Sap-direct RT-PCR for the rapid detection of *coleus blumei* viroids of the genus *Coleviroid* from natural host plants. J. Virol. Method. In Press, Corrected Proof, Available online 25 March. 2011
- 6) Tsushima, T., Murakami, S., Ito, H., He, Y-H., Adkar-Purushothama CR., Sano, T. : Molecular characterization of Potato spindle tuber viroid in *Dahlia*. J. Gen. Pl. Pathol. 77 ; 253-256, 2011.

比留間 潔

〈著書〉

- 1) 金兎雄・比留間潔 (2011) 発育時期特異的な昆虫幼若ホルモン生合成の制御機構．比較内分泌学，印刷中．(招待論文)
- 2) 比留間潔 (2011) 新刊紹介：脱皮と変態の生物学－昆虫と甲殻類のホルモン作用の謎を追う．園部治之・長澤寛通 編著．東海大学出版．日本応用動物昆虫学会誌，印刷中．(招待)

〈原著論文〉

- 1) Kaneko, Y., Shinoda, T., and Hiruma, K.(2011). Remodeling of the corpora cardiaca and the corpora allata during adult metamorphosis in *Bombyx mori* : identification of invisible corpora cardiaca by the expression of adipokinetic hormone. *Appl. Entomol. Zool.*, 46, 87-93.
- 2) Kaneko, Y., Kinjoh, T., Kiuchi, M., and Hiruma, K.(2011). Stage-specific regulation of

juvenile hormone biosynthesis by ecdysteroid in *Bombyx mori*. *Mol. Cell. Endocrinol.* 335, 204-210.

- 3) Kaneko, Y., Furuta, K., Kuwano, E., and Hiruma, K. (2011). An anti-juvenile hormone agent, ethyl 4-(2-benzylhexyloxy) benzoate, inhibits juvenile hormone synthesis through the suppression of the transcription of juvenile hormone biosynthetic enzymes in the corpora allata in *Bombyx mori*. *Insect Biochem. Mol. Biol.* 41, 788-794.

田中 和明

〈原著論文〉

- 1) He Y. H., S. Isono, Y. Kawaguchi-Ito, A. Taneda, K. Kondo, A. Iijima, K. Tanaka, T. Sano : Characterization of a new Apple dimple fruit viroid variant that causes yellow dimple fruit formation in 'Fuji' apple trees. *Journal of General Plant Pathology* 76 : 324-330, 2010.
- 2) Nekoduka, S., K. Tanaka K, T. Sano : Pathogenicity of *Mycochaetophora gentianae*, causal fungus of gentian brown leaf spot, as affected by host species, inoculum density, temperature, leaf wetness duration, and leaf position. *Journal of General Plant Pathology* 76:370-376, 2010.
- 3) Tanaka, K., V. A. Mel'nik, M. Kamiyama, K. Hirayama, T. Shirouzu : Molecular phylogeny of two coelomycetous fungal genera with stellate conidia, *Prosthemia* and *Asterosporium*, on Fagales trees. *Botany* 88 : 1057-1071, 2010.
- 4) Tanaka, K., K. Hirayama, S. H. Iqbal : *Massariosphaeria websteri* sp. nov. and several members of the Pleosporales noteworthy to Pakistan. *Mycologia Balcanica* 7 : 77-85, 2010.
- 5) Tayone, W. C., M. Honma, S. Kanamaru, S. Noguchi, K. Tanaka, T. Nehira, M. Hashimoto : Stereochemical Investigations of Isochromenones and Isobenzofuranones Isolated from *Leptosphaeria* sp. KTC 727. *Journal of Natural Products* 74 : 425-429, 2011.
- 6) Hosoya, T., J.G. Han, G. H. Sung, Y. Hirayama, K. Tanaka, K. Hosaka, I. Tanaka, H. D. Shin : Molecular phylogenetic assessment of the genus *Hyphodiscus* with description of *Hyphodiscus hyaloscyphoides* sp. nov. *Mycological Progress* 10 : 239-248, 2011.
- 7) Tanaka, K., M. Endo, K. Hirayama, I. Okane, T. Hosoya, T. Sato : Phylogeny of *Discosia* and *Seimatosporium*, and introduction of *Adisciso* and *Immersidiscosia* genera nova. *Persoonia* 26 : 85-98, 2011.
- 8) Crous, P. W., K. Tanaka, B.A. Summerell, J. Z. Groenewald : Additions to the *Mycosphaerella* complex. *IMA Fungus* 2 : 49-64, 2011.

【山形大学】

生井 恒雄

〈学会賞〉

- 1) 日本植物病理学会学会賞：イネいもち病菌レースの分化および環境保全型防除に関する研

究

安田 弘法

〈原著論文〉

- 1) Evans E. W., Soares A. O., H. Yasuda(2011) Invasions by ladybugs, ladybirds, and other predatory beetles. Bio Control (in press)

俵谷 圭太郎

〈著書〉

- 1) 間藤徹編 (2010) 菌根菌 植物栄養学第2版 文永堂 110-114

〈原著論文〉

- 1) Deguchi S, Uozumi S, Touno E, Tawaraya K(2010) Potassium nutrient status of corn declined in white clover living mulch. Soil Science and Plant Nutrition 56 : 848-852

長谷 修

〈原著論文〉

- 1) Takahashi, H., Sekiguchi, H., Ito, T., Sasahara, M., Hatanaka, N., Ohba A., Hase, S., Ando S., Hasegawa, H. and Takenaka S.(2011) Microbial community profiles in intercellular fluid of rice. Journal of General Plant Pathology 77 : 121-131

程 為国

〈原著論文〉

- 1) Cheng, W., Sakai, H., Nishimura, S., Yagi, K. and Hasegawa, T.(2010) The lowland paddy weed *Monochoria vaginalis* emits N_2O but not CH_4 . Agriculture, Ecosystems & Environment, 137. 219-221.
- 2) Cheng, W., Sakai, H., Yagi, K. and Hasegawa, T.(2010) Combined effects of elevated $[CO_2]$ and high night temperature on carbon assimilation, nitrogen absorption and their allocations of rice *Oryza sativa* L. Agricultural and Forest Meteorology, 150. 1174-1181.
- 3) Cheng, W., Sakai, H., Matsushima, M., Yagi, K. and Hasegawa, T.(2010) Response of *Azolla filiculoides*, a floating aquatic fern, to elevated CO_2 , temperature, and phosphorus levels. Hydrobiologia, 656. 5-14.
- 4) Tokida, T., Fumoto, T., Cheng, W., Matsunami, T., Adachi, M., Katayanagi, N., Matsushima, M., Okawara, Y., Nakamura, H., Okada, M., Sameshima, R., Hasegawa, T.(2010) Effects of free-air CO_2 enrichment(FACE) and soil warming on CH_4 emission from a rice paddy field : impact assessment and stoichiometric evaluation. Biogeosciences, 7. 2639-2653.
- 5) Inubushi, K., Cheng, W., Mizuno, T., Lou, Y., Hasegawa, T., Sakai, H., Kobayashi, K.(2011) Microbial biomass carbon and methane oxidation influenced by rice cultivars and elevated CO_2 in a Japanese paddy soil. European Journal of Soil Science, 62. 69-73.

小池 正徳

〈著書〉

- 1) Tani M, Kunimoto A, Kato T, Koike M. 2010. Effect of organic ligands on phosphate adsorption and availability in Andisols of eastern Hokkaido, Japan. Gilkes RJ and Prakongkep N (eds), Proceedings of the 19th World Congress of Soil Science : Soil Solutions for a Changing World, Symposium 3.2 Nutrient best management practices, pp. 52-55, Brisbane, IUSS.

〈原著論文〉

- 1) 谷 昌幸, 溝田千尋, 八木哲生, 加藤 拓, 小池正徳. 2010. 十勝地域の未耕地土壌および農耕地土壌におけるリン酸の垂直分布と蓄積量. 日本土壌肥科学雑誌 81(4) : 350-359
- 2) 八木哲生, 谷 昌幸, 笹木伸彦, 田村 元, 加藤 拓, 小池正徳. 2010. 牛ふんバーク堆肥を 25 年間連用した淡色黒ボク土畑土壌のリン酸吸着能. 日本土壌肥科学雑誌 81(6) : 594-597

谷 昌幸

〈著書〉

- 1) 谷 昌幸. 2010. 北海道の自然と土地利用. 日本土壌肥科学会北海道支部編, 北海道農業と土壌肥料 2010, pp.1-13, 北農会, 札幌
- 2) Tani M, Kunimoto A, Kato T, Koike M. 2010. Effect of organic ligands on phosphate adsorption and availability in Andisols of eastern Hokkaido, Japan. Gilkes RJ and Prakongkep N(eds), Proceedings of the 19th World Congress of Soil Science ; Soil Solutions for a Changing World, Symposium 3.2 Nutrient best management practices, pp. 52-55, Brisbane, IUSS.
- 3) Kato T, Tani M. 2010. Computational method for appropriate nitrogen level by soil diagnostics in Andosols of Japan. Gilkes RJ and Prakongkep N (eds), Proceedings of the 19th World Congress of Soil Science : Soil Solutions for a Changing World, Symposium 3.2 Nutrient best management practices, pp. 24-27, Brisbane, IUSS.

〈原著論文〉

- 1) 谷 昌幸, 溝田千尋, 八木哲生, 加藤 拓, 小池正徳. 2010. 十勝地域の未耕地土壌および農耕地土壌におけるリン酸の垂直分布と蓄積量. 日本土壌肥科学雑誌 81(4) : 350-359
- 2) 八木哲生, 谷 昌幸, 笹木伸彦, 田村 元, 加藤 拓, 小池正徳. 2010. 牛ふんバーク堆肥を 25 年間連用した淡色黒ボク土畑土壌のリン酸吸着能. 日本土壌肥科学雑誌 81(6) : 594-597

2 生物資源科学専攻

(1) 生物機能開発学連合講座

【岩手大学】

磯部 公安

〈原著論文〉

- 1) Isobe, K., Fukuda, N., Nagasawa, S. and Saitou, K. (2010) Enzymes responsible for conversion of *N*α -benzyloxycarbonyl-D-lysine to *N*α - benzyloxycarbonyl-D-aminoadipic acid by *Rhodococcus* sp. AIU Z-35-1. Chemistry & Biodiversity, 7, 1549-1554.
- 2) Sasaki, Y., Kataoka, M., Urano, N., Ogawa, J., Iwasaki, A., Hasegawa, J., Isobe, K. and Shimizu, S.(2010) Cloning, sequencing and expression analysis of a gene encoding alcohol oxidase in *Paenibacillus* sp. AIU 311. J. Biosci. Bioeng. 110, 147-151.
- 3) Isobe, K., Tamauchi, H., Fuhshuku, K., Nagasawa, S. and Asano, Y.(2010) A simple enzymatic method for production of a wide variety of D-amino acids using L-amino acid oxidase from *Rhodococcus* sp. AIU Z-35-1 Enzyme Research, 2010, ID 567210, 1-6.
- 4) Isobe, K.(2010) Enzymes responsible for metabolism of *N* · -benzyloxycarbonyl-L-lysine in microorganisms. New Biotechnol. 27, 751-754.

〈特許〉

- 1) 浅野泰久, 福田泰久, 磯部公安 (2011) 新規 L-アミノ酸オキシダーゼ, L-リジンの測定方法, キット及び酵素センサー : 特願 2011-68577.

矢野 明

〈原著論文〉

- 1) Yano, A., Kikuchi, S., Yamashita, Y., Sakamoto, Y., Nakagawa, Y. et al.(2010) The inhibitory effects of mushroom extracts on sucrose-dependent oral biofilm formation. Applied Microbiology and Biotechnology 86 : 615-623.
- 2) Nakagawa, Y., Sakamoto, Y., Kikuchi, S., Sato, T., Yano, A*. (2010) A chimeric laccase with hybrid properties of the parental *Lentinula edodes* laccases. Microbiological Research 165 : 392-401.
- 3) Nakagawa, Y., Kikuchi, S., Sakamoto, Y., Yano, A.(2010) Identification and characterization of CcCTR1, a copper uptake transporter-like gene, in *Coprinopsis cinerea*. Microbiological Research 165 : 276-287.
- 4) Sasaki-Imamura, T., Yano, A., Yoshida, Y.(2010) Production of indole from L-tryptophan and their effects on biofilm formation by *Fusobacterium nucleatum* ATCC 25586. Applied and Environmental Microbiology 76 : 4260-4268.
- 5) Nakade, Y., Nakagawa, Y., Yano, A., Sato, T., Sakamoto, Y.(2010) Characterization of an extracellular laccase, PbLac1, purified from *Polyporus brumalis*. Fungal Biology 114 : 609-

山下 哲郎

〈原著論文〉

- 1) Ezzat, A., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, T. Goto, Y., Nakajima, J., Jin, J., Yamashita, T., Sawai, K., Hashizume, T. (2010) The role of sexual steroid hormones in the direct stimulation by Kisspeptin-10 of the secretion of luteinizing hormone, follicle-stimulating hormone and prolactin from bovine anterior pituitary cells. *Anim. Reprod. Sci.* 121 : 267-272.
- 2) Wang, K.J., Li, X.H., Takahata, Y. and Yamashita, T. (2010) Allelic diversity and geographical pattern at soybean Kunitz trypsin inhibitor single locus in Chinese wild soybean (*Glycine soja* Sieb. & Zucc.). *Plant Breeding* 129 : 264-270.
- 3) Hashizume, H., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, Y., Ezzat, A., Sawai, K., Yamashita, T. (2010) Characteristics of stimulation of gonadotropin secretion by kisspeptin-10 in female goats. *Anim. Reprod. Sci.* 118 : 37-41.
- 4) Jepson, R. E., Syme, H. M., Markwell, P., Miyazaki, M., Yamashita, T., and Elliott, J. (2010) Measurement of urinary cauxin in geriatric cats with variable plasma creatinine concentrations and proteinuria and evaluation of urine cauxin-to-creatinine concentration ratio as a predictor of developing azotemia. *Am. J. Vet. Res.* 71, 982-987
- 5) Holmes, R., Wright, M., Laulederkind, S., Cox, L., Hosokawa, M., Imai, T., Ishibashi, S., Lehner, R., Miyazaki, M., Perkins, E., Potter, P., Redinbo, M., Robert, J., Satoh, T., Yamashita, T., Yan, B., Yokoi, T., Zechner, R., and Maltais, L. J. (2010) Recommended nomenclature for five mammalian carboxylesterase gene families: human, mouse, and rat genes and proteins. *Mamm. Genome.* 21, 427-441.
- 6) Miyazaki, M., Segawa, H., Yamashita, T., Zhu, Y., Takizawa, K., Hasegawa, M., and Taira, H. (2010) Construction and characterization of a fluorescent sendai virus carrying the gene for envelope fusion protein fused with enhanced green fluorescent protein. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 74 , 2293-2298.

【弘前大学】

石黒 誠一

〈原著論文〉

- 1) Ozaki, T., Yamashita, T., Ishiguro, S. : Ca^{2+} -induced release of mitochondrial m-calpain from outer membrane with binding of calpain small subunit and Grp75. *Archives of Biochemistry and Biophysics* 507 : 254-261, 2011.

大町 鉄雄

〈原著論文〉

- 1) Tanaka, T., Shima Y., Ogawa, N., Nagayama, K., Yoshida, T. Ohmachi T : Expression,

identification and purification of Dictyostelium acetoacetyl-CoA thiolase expressed in Escherichia coli. Int. J. Biol. Sci. 7 : 9-17, 2011

- 2) Ochiai, H., Takeda, K., Fukuzawa, M., Kato, A., Takiya, S., Ohmachi T : Protein kinase B homologue pkbR1 performs one of its roles at first finger stage of Dictyostelium. Eukaryotic Cell 10 : 512-520, 2011

片方 陽太郎

〈原著論文〉

- 1) Matsui Y., Sugiyama K., Kamei M., Takahashi T., Suzuki T., Katagata Y. And Ito T. : Extract of Passion Fruit (*Passiflora edulis*) Seed Containing High Amounts of Piceatannol Inhibits Melanogenesis and Promotes Collagen Synthesis. J. Agri. Food Chem., 58, 1112-1118(2010)
- 2) Goto M., Ito S., Kato Y., Yamazaki S., Yamamoto K., Katagata Y. : Anti-aging effects in hairless mouse of extracts prepared from salmon nasal cartilage. Molecul Medicine Report, 4, 779-784(2011)
- 3) Yamazaki S., Uchiumi A. and Katagata Y. : Hsp40 regulates the amount of keratin proteins via ubiquitin-proteasome pathway in cultured human cells. Int. J. Mol. Med., (2011) in press.
- 4) Maeda H., Yamazaki M. and Katagata Y. : Kuromoji (*Lindera umbellata*) essential oil-induced apoptosis and differentiation in human leukemia HL-60 cells. Exp. Therapeu. Med.,(2011) in press.
- 5) Uchiumi A., Yamashita M., Katagata Y. : Downregulation of Keratins 8, 18, and 19 influences invasiveness of human cultured squamous cell carcinoma and adenocarcinoma cells. Exp. Therapeu. Med.,(2011) in press.
- 6) Ito M., Mikami M., Nakamura K., Terada K. and Katagata Y. : Confirmation of useful elements aside from polyphenols in apple seed. Food Function,(2011) in press.
- 7) 片方陽太郎：りんご剪定枝の靈芝培地としての利用，「未利用バイオマスとしてのりんご剪定枝の活用戦略」増補改訂版，泉谷眞美編著，pp. 55-65, (2011)
- 8) 前多隼人，片方陽太郎：クロモジの生理作用，Aroma Research, 12(3), 244-5 (2011)

黒尾（片倉）正樹

〈原著論文〉

- 1) Zheng, Y., R. Peng, M. Kuro-o, X. Zeng : Exploring patterns and extent of bias in estimating divergence time from mitochondrial DNA sequence data in a particular lineage : a case study of salamanders (Order Caudata). Mol. Biol. Evol., 28 : 2521-2535, 2011.
- 2) Eda, M., H. Koike, M. Kuro-o, S. Mihara, H. Hasegawa, H. Higuchi : Inferring the ancient population structure of the vulnerable albatross *Phoebastria albatrus*, combining ancient DNA, stable isotope, and morphometric analyses of archaeological samples. Conserv. Genet., DOI : 10.1007/s10592-011-0270-5, 2011.

鮫島 正純

〈著書〉

- 1) 鮫島正純：蒸着法および凍結技法の各章（共著）．電顕入門ガイドブック改訂版．[社] 日本顕微鏡学会電子顕微鏡技術認定委員会編．2011.4.25.

橋本 勝

〈原著論文〉

- 1) S. Noguchi, S. Takemoto, S. Kidokoro, K. Yamamoto, M. Hashimoto. "Syntheses of celotriose and cellotetraose analogues as transition state mimics for mechanistic studies of cellulases", *Bioorg. Med. Chem*, 19, 3812-3830(2011).
- 2) N. Akiyama, S. Noguchi, M. Hashimoto, "Stereochemical differentiation in the Simmons-Smith reaction for cyclopropanated glucopyranose derivatives as molecular probes for glycosidases", *Biosci. Biotech. Biochem*, 75, 1380-1382(2011).
- 3) Zaharenko, A.; Picolo, G.; Ferreira, W.; Murakami, T.; Kazuma, K.; Hashimoto, M.; Cury, Y.; de Freitas, J.; Konno, K, "Bunodosine 391 : a new analgesic acylamino acid from the venom of the sea anemone *Bunodosoma cangicum*", *J. Nat. Products*, 74, 378-382 (2011).
- 4) Wilanfranco T. C.; Honma, M.; Kanamaru S.; Noguchi, S.; Tanaka, K.; Nehira, T.; Hashimoto, M., "Stereochemical investigations of isochromenone and isobenzofuranone isolated from *Leptosphaeria* sp. KTC 727", *J. Nat. Products*, 74, 425-429(2011).

宮入 一夫

〈原著論文〉

- 1) Shibata, T., M. Kudou, Y. Hoshi, A. Kudo, N. Nanashima, and K. Miyairi : Isolation and characterization of a novel two-component hemolysin, erylsin A and B, from an edible mushroom, *Pleurotus eryngi*. *Toxicon*, 56 : 1436-1442, 2010.

石田 幸子

〈原著論文〉

- 1) 石田幸子・西谷信一郎・吉田 渉・K. D. Kuznedelov・佐藤雅彦：利尻島における *Phagocata* 属プラナリア2種の初記載－種の同定・核型分析・18S rDNA の部分配列の比較－．*利尻研究* (30) : 75-82, 2011.

殿内 暁夫

〈原著論文〉

- 1) Kitamura, K., Fujita, T., Akada, S., Tonouchi, A. : *Methanobacterium kanagiense* sp. nov., a hydrogenotrophic methanogen, isolated from rice-field soil. *Int J Syst Evol Microbiol.*, 61 : 1246-1252, 2011.

吉田 孝

〈著書〉

- 1) 吉田 孝・多田羅洋太・Yuri D. Lobsanov・Lynne P. Howell : 「GH47 α -マンノシダーゼの触媒構造について」, 応用糖質科学, 1 巻 2 号, 168-173 頁, 2011.

〈原著論文〉

- 1) Tanaka T., Y. Shima, N. Ogawa, K. Nagayama, T. Yoshida, T. Ohmachi : Expression, identification and purification of Dictyostelium acetoacetyl-CoA thiolase expressed in Escherichia coli. Int. J. Biol. Sci., 7, 9-17 (2011).

【山形大学】

上木 厚子

〈著書〉

- 1) 上木厚子(2010) : 硫酸還元細菌, IFO 微生物学概論, 大嶋泰治ら編, 培風館. pp. 230-232.

〈原著論文〉

- 1) A. Ueki, Y. Kodama, N. Kaku, T. Shiromura, A. Satoh, K. Watanabe and K. Ueki(2010) : Rhizomicrobium palustre gen. nov., sp. nov., a facultatively-anaerobic, fermentative stalked bacterium in the class Alphaproteobacteria isolated from rice plants roots. Journal of General and Applied Microbiology, 56 : 193-203.
- 2) 加来伸夫, 打田内敏和, 長谷川史乃, 上木厚子, 上木勝司(2010). 合成廃水を用いたメタン発酵プロセスにおけるプロピオン酸酸化の安定化要因の探索. 水環境学会誌, 33, 147-150.
- 3) A. Ueki, K. Abe, Y. Ohtaki, N. Kaku, K. Watanabe and K. Ueki(2011) : Bacteroides paurosaccharolyticus sp. nov., isolated from a methanogenic reactor treating waste from cattle farms. International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology, 61, 448-453.

小関 卓也

〈原著論文〉

- 1) FAZARY, A.E., HAMAD, H.A., LEE, J.C., KOSEKI, T., LEE, C.K. and JU, Y.H.(2010) : Expression of feruloyl esterase from Aspergillus awamori in Escherichia coli : Characterization and crystal studies of the recombinant enzyme, International Journal of Biological Macromolecule, 46, 440-444.
- 2) ARDIANSYAH, SHIRAKAWA, H., SUGITA, Y., KOSEKI, T. and KOMAI, M.(2010) : Anti-metabolic syndrome effects of adenosine ingestion in stroke-prone spontaneously hypertensive rats fed a high fat diet, British Journal of Nutrition, 104, 48-55.
- 3) SHIONO, Y., YOKOI, M., KOSEKI, T., MURAYAMA, T., ABURAI, N. and KIMURA, K.(2010) : AllantopyronA, a new α -pyron metabolite with potent cytotoxicity from an

- endophytic fungus *Allantophomopsis lycopodina* KS-97, *The Journal of Antibiotics*, 63, 251-253.
- 4) SHIONO, Y., OGATA, K., KOSEKI, T., MURAYAMA, T. and FANAKOSHI, T.(2010) : A cleistanthane diterpene from a marine-derived *Fusarium* species under submerged fermentation, *Zeitschrift fuer Naturforschung*, 65b, 753-756.
- 5) HATAKEYAMA, T., KOSEKI, T., MURAYAMA, T. and SHIONO, Y.(2010) : Eremophilane sesquiterpenes from the endophyte *Microdiplodia* sp. KS 75-1 and revision of the stereochemistries of phomadecalins C and D, *Phytochemistry Letters*, 3, 148-151.
- 6) KOSEKI, T., MIHARA, K., MURAYAMA, T. and SHIONO, Y.(2010) : A novel *Aspergillus oryzae* esterase that hydrolyzes 4-hydroxybenzoic acid esters, *FEBS Letters*, 584, 4032-4036.

加来 伸夫

〈原著論文〉

- 1) A. Ueki, Y. Kodama, N. Kaku, T. Shiromura, A. Satoh, K. Watanabe and K. Ueki(2010) : *Rhizomicrobium palustre* gen. nov., sp. nov., a facultatively anaerobic, fermentative stalked bacterium in the class Alphaproteobacteria isolated from rice plant roots. *Journal of General and Applied Microbiology*, 56(3), 193-203.
- 2) A. Ueki, K. Abe, N. Kaku, K. Watanabe and K. Ueki(2011) : *Bacteroides paurosaccharolyticus* sp. nov., isolated from a methanogenic reactor treating waste from cattle farms. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 61(2), 448-453.
- 3) 加来伸夫・打田内敏和・長谷川史乃・上木厚子・上木勝司(2010) : 合成廃水を用いたメタン発酵プロセスにおけるプロピオン酸酸化の安定化要因の探索. *水環境学会誌*, 33(9), 147-150.

【帯広畜産大学】

後藤 健

〈原著論文〉

- 1) K. Goto, T. Urashima, S. Asakuma, M. Komoda, T. Nakamura, K. Fukuda, O. Wellnitz, R. Bruckmaier. 2010. Hexose, sialic acid and sialyllactose concentrations in the milk of dairy and non-dairy breed cows. *Milchwissenschaft* 65 (4) : 352-356
- 2) K Goto, K. Fukuda, A. Senda, T. Saito, K. Kimura, K. E. Galnder, K. Hinde, W. Dittus, L. A. Milligan, M. L. Power, O. T. Oftedal, T. Urashima. 2010. Chemical characterization of oligosaccharides in the milk of six species of New and Old world monkeys. *Glycoconjugate Journal*. 27 (7-9) : 703-715. DOI 10.1007/s10719-010-9315-0.

大和田 琢二

〈原著論文〉

- 1) Wei M, Takeshima K, Yokoyama T, Minamisawa K, Mitsui H, Itakura M, Kaneko T, Tabata S, Saeki K, Omori H, Tajima S, Uchiumi T, Abe M, Ishii S, Ohwada T. 2010. Temperature-dependent expression of type III secretion system genes and its regulation in *Bradyrhizobium japonicum*. *Molecular Plant-Microbe Interactions* 23 (5) : 628-637.
- 2) Orikasa Y, Nodasaka Y, Ohyama T, Okuyama H, Ichise N, Yumoto I, Morita N, Wei M, Ohwada T. 2010. Enhancement of the nitrogen fixation efficiency of genetically-engineered *Rhizobium* with high catalase activity. *Journal of Bioscience and Bioengineering* 110 (4) : 397-402.

得字 圭彦

〈著書〉

- 1) 得字圭彦・木下幹朗・大西正男. 2010. 食品分野への応用：農作物の健康機能性評価. 金子周一・堀池靖浩 監修. バイオチップー実用化ハンドブックー, pp. 312-317. (株) NTS. 東京

(2) ゲノム工学連合講座

【岩手大学】

高畑 義人

〈原著論文〉

- 1) Wang, K. J., X. H. Li, Y. Takahata and T. Yamashita(2010) Allelic diversity and geographical pattern at soybean Kunitz trypsin inhibitor single locus in Chinese wild soybean (*Glycine soja* Sieb. & Zucc.) *Plant Breed.* 129 : 264-270.
- 2) Tsuwamoto, R., S. Yokoi and Y. Takahata(2010) *Arabidopsis* *EMBRYOMAKER* encoding an AP2 domain transcription factor plays a key role in developmental change from vegetative to embryonic phase. *Plant Mol. Biol.* 73 : 481-492.
- 3) Doi, H., R. Takahashi, T. Hikage and Y. Takahata(2010) Embryogenesis and doubled haploid production from anther culture in gentian (*Gentiana triflora*) . *Plant Cell Tiss. Organ Cult.* 102 : 27-33.
- 4) Zaki, H. E. M., S. Yokoi and Y. Takahata(2010) Identification of genes related to root shape in radish (*Raphanus sativus*) using suppression subtractive hybridization. *Breed. Sci.* 60 : 130-138
- 5) Hoshino, T., T. Nakamura, Y. Seimiya, T. Kamada, G. Ishikawa, A. Ogasawara, S. Sagawa, M. Saito, H. Shimizu, M. Nishi, M. Watanabe, J. Takeda and Y. Takahata(2010) Production of a fully waxy line and analysis of waxy genes in the allohexaploid crop, Japanese barnyard millet. *Plant Breed.* 129 : 349-355.
- 6) Hikage, T., K. Kogusuri, C. Tanaka-Saito, S. Watanabe, S. Chiba, K. Kume, H. Doi, Y. Saitoh, Y. Takahata and K. Tsutsumi(2011) W14/15 esterase gene haplotype can be a

genetic landmark of cultivars and species of the genus *Gentiana* L. *Mol. Genet. Genomics* 285 : 47-56.

- 7) Takahashi, Y., S. Yokoi and Y. Takahata(2011) Improvement of microspore culture method for multiple samples in Brassica. *Breed. Sci.* 61 : 96-98.

堤 賢一

〈原著論文〉

- 1) Hikage, T., Kogusuri, K., Tanaka-Saito, C. Watanabe, S., Chiba, S., Kume, K., Doi, H., Saitoh, Y., Takahata, Y. and Tsutsumi, K.(2011) W14/15 esterase gene haplotype can be a genetic landmark of cultivars and species of the genus *Gentiana* L. *Mol. Genet. Genomics* 285(1), 47-56.
- 2) Kume, K., Tsutsumi, K. and Saitoh, Y.(2010) TAS1 trans-acting siRNA targets are differentially regulated at low temperature, and TAS1 transacting siRNA mediates temperature-controlled At1 g51670 expression. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 74(7), 1435-1440.
- 3) Mizutani, N., Naganuma, T., Tsutsumi, K. and Saitoh, Y.(2010) The syncytium specific expression of the Orysa ; KRP3 CDK inhibitor : Implication in its involvement in the cell cycle control in the rice (*Oryza sativa* L.) syncytial endosperm. *J. Exp. Bot.* 61(3), 791-798.

横井 修司

〈原著論文〉

- 1) Zaki, H. E. M., Yokoi, S., and Takahata, Y.(2010) Identification of genes related to root shape in radish (*Raphanus sativus*) using suppression subtractive hybridization. *Breed. Sci.* 60 : 130-138
- 2) Tsuwamoto, R., Yokoi, S., and Takahata, Y.(2010) Arabidopsis *EMBRYOMAKER* encoding an AP2 domain transcription factor plays a key role in developmental change from vegetative to embryonic phase. *Plant Mol. Biol.* 73 : 481-492
- 3) Lee, J., Sugawara, E., Yokoi, S., and Takahata, Y.(2010) Genotypic variation of volatile compounds from flowers of gentians. *Breed. Sci.* 60 : 9-17

【弘前大学】

菊池 英明

〈原著論文〉

- 1) Ebina M., Shibazaki M., Kudo K., Kasai S., and Kikuchi H. : Correlation of Dysfunction of Nonmuscle Myosin IIA with Increased Induction of Cyp1 a1 in Hepa-1 cells. *Biochim. Biophys. Acta*, 1809 : 176-183, 2011.
- 2) Kawauchiya T., Takumi R., Y., Takamori A., Sasagawa T., Takahashi K. and Kikuchi H. : Correlation between the destruction of tight junction by patulin treatment and increase

of phosphorylation of ZO-1 in Caco-2 human colon cancer cells. *Toxicology Letters* 205 : 196-202, 2011.

- 3) K. Kudo, T. Takeuchi, Y. Murakami, M. Ebina and H. Kikuchi, Analysis of the region of the aryl hydrocarbon receptor required for ligand dependency of transactivation. *Cytochrome P450, Biochemistry, Biophysics and Drug Metabolism* (in press)

原田 竹雄

〈原著論文〉

- 1) Wang A., Li T., Harada T. The regulatory role of 1-aminocyclopropan-1-carboxylate synthase genes in apple fruit shelf life. *Europ. J. Horticult. Sci.* 76 ; S.77-83, ISSN 1611-4426. 2011.
- 2) Bai S., Kasai A., Yamada K., Li T., Harada T. Mobile signal transported over a long distance induces systemic transcriptional gene silencing in a grafted partner. *J. Exp. Bot.* ; doi : 10.1093/jxb/err163. 2011.
- 3) Tsuwamoto R. and Harada T. The Arabidopsis COR13 promoter contains two cis-acting regulatory regions required for transcriptional activity in companion cells. *Plant Cell Reports* 30 : 1723-1733. 2011.
- 4) Kasai A., Bai S., Li T., Harada T. Graft-transmitted siRNA signal from root induces visual manifestation of endogenous post transcriptional gene silencing in the scion PLoS ONE 6 : e16895. 2011.

姫野 俵太

〈著書〉

- 1) 渡辺公綱, 姫野俵太 : 生命化学 II 第2版 - 遺伝子の働きとその応用 -, 丸善, 2011.
- 2) Himeno, H., Kurita, D., Muto, A. : Trans-translation by tmRNA and SmpB : a bacterial quality control system of translation. In Kevin V. Urbano Ed., *Advances in Genetics Research - Vol. 6, Chapter 3*, Nova Science Publishers Inc, 2011.

〈原著論文〉

- 1) Himeno, H. : Novel factor rescues ribosomes trapped on non-stop mRNAs. *Mol. Microbiol.* 78, 789-791, 2010.
- 2) Goto, S., Kato, S., Kimura, T., Muto, A., Himeno, H. : RsgA releases RbfA from 30S ribosomal subunit during a late stage of ribosome biosynthesis. *EMBO J.* 30, 104-114, 2011.
- 3) Kurita, D., Muto, A., Himeno, H. : tRNA/mRNA mimicry by tmRNA and SmpB in trans-translation. *J. Nucleic Acids*, 2011, Article ID 130581, 2011.

牛田 千里

〈著書〉

- 1) 牛田千里, 藤原俊伸 : 「Small subunit processome」, 生体の科学, 第62巻5号, 418-419 ページ.

- 2) 牛田千里, 藤原俊伸:「核小体タンパク質フィブリリン」, 生体の科学, 第62巻5号, 420-421 ページ.

千田 峰生

〈原著論文〉

- 1) Kashiwagi, A. & Yomo, T.: Ongoing Phenotypic and Genomic Changes in Experimental Coevolution of RNA Bacteriophage Q β and *Escherichia coli*, PLoS Genetics, 7(8), e1002188, 2011. 1. 乗田理恵・西村さつき・千田峰生・川崎通夫: ダイズ種皮における色素蓄積様式に関する組織・細胞学的検討. 日本作物学会東北支部会報 53: 41-43, 2010.
- 2) Ohnishi, S., H. Funatsuki, A. Kasai, T. Kurauchi, N. Yamaguchi, T. Takeuchi, H. Yamazaki, H. Kurosaki, S. Shirai, T. Miyoshi, H. Horita and M. Senda: Variation of GmIRCHS (Glycine max inverted-repeat CHS pseudogene) is related to tolerance of low temperature-induced seed coat discoloration in yellow soybean. Theoretical and Applied Genetics 122: 633-642, 2011.
- 3) Kurauchi, T., A. Kasai, M. Tougo and M. Senda: Endogenous RNA interference of chalcone synthase genes in soybean: Formation of double-stranded RNA of GmIRCHS transcripts and structure of the 5' and 3' ends of short interfering RNAs. Journal of Plant Physiology 168: 1264-1270, 2011.
- 4) Wang, Y., M. Shibuya, A. Taneda, T. Kurauchi, M. Senda, R. A. Owens and T. Sano: Accumulation of Potato spindle tuber viroid-specific small RNAs is accompanied by specific changes in gene expression in two tomato cultivars. Virology 413: 72-83, 2011.

福澤 雅志

〈原著論文〉

- 1) Kashiwagi, A. & Yomo, T.: Ongoing Phenotypic and Genomic Changes in Experimental Coevolution of RNA Bacteriophage Q β and *Escherichia coli*, PLoS Genetics, 7(8), e1002188, 2011. Fukuzawa, M.: Control of prestalk-cell differentiation by transcription factors. Dev Growth Differ, 53, 538-547, 2011.

柏木 明子

〈原著論文〉

- 1) Kashiwagi, A. & Yomo, T.: Ongoing Phenotypic and Genomic Changes in Experimental Coevolution of RNA Bacteriophage Q β and *Escherichia coli*, PLoS Genetics, 7(8), e1002188, 2011.
- 2) Tsuru, S., Yasuda, N., Murakami, Y., Ushioda, J., Mori, K., Kashiwagi, A., Suzuki, S., Ying, B.W., & Yomo, T.: Adaptation by stochastic switching of a monostable genetic circuit in *Escherichia coli*, Molecular Systems Biology, 7, Article number 493, 2011.
- 3) Hosoda, K., Suzuki, S., Yamauchi, Y., Shioguchi, Y., Kashiwagi, A., Ono, N., Mori, K., & Yomo, T.: Cooperative adaptation to establishment of a synthetic bacterial mutualism,

PLoS One, 6(2), e17105, 2011.

- 4) Mori, K., Kashiwagi, A. & Yomo, T. : Single-cell Isolation and Cloning of *Tetrahymena thermophila* Cells with a Fluorescence-activated Cell Sorter, *The Journal of Eukaryotic Microbiology*, 58(1), pp. 37-42, 2011.
- 5) Kihara, K., Mori, K., Suzuki, S., Hosoda, K., Yamada, A., Matsuyama, S., Kashiwagi, A., & Yomo, T. : Probabilistic transition from unstable predator-prey interaction to stable coexistence of *Dictyostelium discoideum* and *Escherichia coli*, *BioSystems*, 13, 342-347, 2011.

【山形大学】

阿部 利徳

〈原著論文〉

- 1) 阿部利徳(2011) : エダマメにおけるダダチャマメ系品種の生育および成分特性, *育種学研究*, 13, 1-10
- 2) 阿部利徳(2011) : 米の外観品質食味研究最前線 {4} 米の食味に関わる可溶性低分子物質, *農業および園芸*, 86 : 60-64.

佐藤 英世

〈著書〉

- 1) Conrad, M. and Sato, H.(2011) The oxidative stress-inducible cystine/glutamate antiporter, System xc- : cystine supplier and beyond. *Amino Acids*, in press

〈原著論文〉

- 1) Mandal, P. K., Seiler A., Perisic T., Kölle, P., Canak, A. B., Förster, H., Weiss, N., Kremer, E., Lieberman, M. W., Bannai, S., et al.(2010) System xC- and thioredoxin reductase 1 cooperatively rescue glutathione deficiency. *The Journal of Biological Chemistry* 285 : 22244-22253.
- 2) Massie, A., Schallier, A., Kim, S-W., Fernando, R., Kobayashi, S., Beck, H., De Bundel, D., Vermoesen, K., Bannai, S., Conrad, M., et al.(2011) Dopaminergic neurons of system xc- deficient mice are highly protected against 6-OHDA induced toxicity. *The FASEB Journal*. 25 : 1359-1369.
- 3) De Bundel, D., Schallier, A., Loyens, E., Fernando, R., Miyashita, H., Van Liefferinge, J., Vermoesen, K., Bannai, S., Sato, H., Michotte, Y., et al.(2011) Loss of system xc- does not induce oxidative stress but decrease extracellular glutamate in hippocampus and influences spatial working memory and limbic seizure susceptibility. *Journal of Neuroscience* 31 : 5792-5803.

笹沼 恒男

〈著書〉

- 1) 笹沼恒男(2010)：自生地保全の試み．麦の自然史〈人と自然が育んだムギ農耕〉第15章，339-361，佐藤洋一郎・加藤鎌司編，北海道大学出版会

〈原著論文〉

- 1) J. S.Kamara, S.Konishi, T. Sasanuma and T. Abe(2010)：Variation in free amino acid profile among some rice (*Oryza sativa* L.) cultivars. *Breeding Science*, 60, 46-54
- 2) S. Konishi, T. Sasakuma and T. Sasanuma* (2010)：Identification of novel Mlo family members in wheat and their genetic characterization. *Genes and Genetic Systems*, 85, 167-175
- 3) Y. Terasawa, K. Takata, H. Hirano, K. Kato, T. Kawahara, T. Sasakuma and T. Sasanuma* (2011)：Genetic variation of high-molecular-weight glutenin subunit composition in Asian wheat. *Genetic Resources and Crop Evolution*, 58, 283-289

豊増 知伸

〈原著論文〉

- 1) Ono, Y., Minami, A., Noike, A., Higuchi, Y., Toyomasu, T., Sassa, T., Kato, N., and Dairi, T. (2011) Dioxygenases, key enzymes to determine the aglycon structures of fusicochin and brassicicene, diterpene compounds produced by fungi. *J. Am. Chem. Soc.*, 133 : 2548-2555.

(3) 生物資源利用学連合講座

【岩手大学】

長澤 孝志

〈著書〉

- 1) 長澤孝志（分担執筆）(2010) わかりやすい食品機能栄養学（吉田勉監修，佐藤隆一郎，長澤孝志編著），三共出版，東京，pp53-78.
- 2) 長澤孝志，貴戸武利（分担執筆）(2010) ルチン，糖化による疾患と抗糖化食品・素材（米井嘉一監修），シーエムシー出版，東京，pp158-165.

〈原著論文〉

- 1) Mori, M, Ito, Y. and Nagasawa, T.(2010) Contents of free D-Ala and D-Glu in traditional Asian fermented seasonings. *J. Nutr. Sci. Vitaminol.* 56 : 428-436.

木村 賢一

〈原著論文〉

- 1) Aburai, N., Yoshida, M., Ohnishi, M. and Kimura, K.(2010) Pisiferdiol and Pisiferic acid isolated from *Chamaecyparis pisifera* activate protein phosphatase 2C *in vitro* and induce caspase-3/7-dependent apoptosis via dephosphorylation of Bad in HL60 cells. *Phytomedicine*, 17, 782-788.
- 2) Shiono, Y., Yokoi, M., Koseki, T., Murayama, T., Aburai, N. and Kimura, K.(2010) Al-

lantopyrone A, a new α -pyrone metabolite with potent cytotoxicity from an endophytic fungus, *Allantophomopsis lycopodina* KS-97. J. Antibiot., 63, 251-253.

- 3) Yoshida, J., Nomura, S., Nishizawa, N., Ito, Y. and Kimura, K.(2011) Glycogen synthase kinase-3 β inhibition of 6-(methylsulfinyl) hexyl isothiocyanate derived from wasabi (*Wasabia Japonica* Matsum). Biosci. Biochem. Biotechnol., 75, 136-139.

小藤田 久義

〈原著論文〉

- 1) 小藤田久義, 中村早希, 小出章二, 木村壮次郎(2010) 木質バイオマスの炭化およびタールの改質における水蒸気導入の効果. 木質炭化学会誌 6 : 53-58.
- 2) 小藤田久義(2010) 過熱水蒸気処理による木炭の製造およびタールの改質. 生物資源 4 : 8-13.

塚本 知玄

〈原著論文〉

- 1) 塚本知玄, 龍崎菜々, 田山一平, 笹間博子, 高田吉丈, 加藤 信, 菊池彰夫, 石本政男, 喜多村啓介(2010) 大豆と野生ツルマメで見い出された種子サポニン成分組成自然変異体を活用して食品用非遺伝子組換え高機能性大豆を作出するための基礎研究. 大豆たん白質研究, 13 : 43-50.

三浦 靖

〈著書〉

- 1) 三浦 靖 (分担執筆) (2011) 食品の界面制御技術と応用－開発現場と研究最前線を繋ぐ－. シーエムシー出版, 東京, pp. 48-69.

〈原著論文〉

- 1) Miwa, S., Nakamura, M., Okuno, M., Miyazaki, H., Watanabe, J., Ishikawa-Takano, T., Miura, M., Takase, N., Hayamawa, S., and Kobayashi, S.(2011) Production of starch with antioxidant activity by baking starch with organic acids. Biosci. Biotechnol. Biochem. 75 : 1649-1653.

伊藤 芳明

〈原著論文〉

- 1) Mori, M., Ito, Y., and Nagasawa, T. (2010) Content of free d-ala and d-glu in traditional asian fermented seasonings. J. Nutr. Sci. Vitaminol. 56 : 428-435.
- 2) Yoshida, J., Nomura, S., Nishizawa, N., Ito, Y. and Kimura, K.(2011) Glycogen synthase kinase-3 β inhibition of 6-(methylsulfinyl) hexyl isothiocyanate derived from wasabi (*Wasabia japonica* Matsum). Biosci. Biotechnol. Biochem. 75 : 136-139.

小出 章二

〈原著論文〉

- 1) Shitanda, D., Koide, S. and Kilaka, E.(2010) Effect of glass covers and air-passes on the heat transfer coefficient of a see-saw type solar collector. The Kenya J. of Mechanical Engineering, 6(1), 1-13.
- 2) Koide, S., Shitanda, D., Note, M. and Cao, W.(2011) Effects of mildly heated, slightly acidic electrolyzed water on the disinfection and physicochemical properties of sliced carrot. Food Control, 22, 452-456.

前田 武己

〈原著論文〉

- 1) 立石貴浩, 滝沢崇幸, 颯田尚哉, 前田武己, 登尾浩助(2010) 担子菌 *Coprinopsis* sp. のアノモニア利用特性の評価と窒素負荷軽減のための微生物資材への応用の可能性, 環境工学研究論文集, Vol. 47 : 289-296.

【弘前大学】

園木 和典

〈原著論文〉

- 1) Sonoki T, Kajita S, Uesugi M, Katayama Y, Iimura Y. Effective removal of bisphenol A from contaminated areas by recombinant plant producing lignin peroxidase. Journal of Petroleum and Environmental Biotechnology. 2(1) : 105-107, 2011.
- 2) Sonoki T, Matsumoto K, Jindo K, Sudo H, Sasaki Y. Characterization of biochar-blended composting of regional waste biomass. Transactions of the Materials Research Society of Japan. 35(4) : 909-912, 2010.
- 3) Matsumoto K, Jindo K, Suto K, Sudo H, Sasaki Y, Sonoki T. Effects of biochar- and pyrolygneous acid-blended compost made by regional waste biomass of Aomori on the growth of radish (*Raphanus sativus* var. *sativus*). Wood carbonization Research (in Japanese). 7(2) : 63-67, 2010.

戸羽 隆宏

〈著書〉

- 1) 戸羽隆宏, 本 裕司, 向井孝夫, 遠野雅徳: 乳酸菌・ビフィズス菌の構造と菌体成分, 日本乳酸菌学会編「乳酸菌とビフィズス菌のサイエンス」, 京都大学学術出版会, pp. 95-129 (2010)
- 2) 戸羽隆宏: 抗菌性物質の産生, 上野川修一・山本憲二監修「世紀を超えるビフィズス菌の研究－その基礎と臨床応用から製品開発へ－」, 日本ビフィズス菌センター, pp. 20-24(2011)

前多 隼人

〈著書〉

- 1) 前多隼人, 片方陽太郎: クロモジ精油の生理機能 *Aroma Research*, 47(12): 244-245, 2011.

〈原著論文〉

- 1) Miyashita K., Maeda H., Okada T., Abe M., Hosokawa M: Anti-obesity and anti-diabetic effects of allenic carotenoid, fucoxanthin. *agro Food industry hi-tech*, 21 (6) 2010.

【山形大学】

五十嵐 喜治

〈著書〉

- 1) 五十嵐喜治 (2010): コーヒー成分の科学. p2-16, 「コーヒーの医学」野田 光彦 編著, 日本評論社.
- 2) 五十嵐喜治 (2010): 機能性非栄養素. P120-152, 「わかりやすい 食品機能栄養学」吉田 勉 監修, 佐藤隆一郎・長澤孝志 編著, 五十嵐喜治・上原万里子・長田恭一・駒井三千夫・八村敏志・福島道広 共著, 三共出版

〈原著論文〉

- 1) O. Yoshinari and K. Igarashi(2010): Anti-Diabetic Effect of Trigonelline and Nicotinic Acid, on KK-Ay Mice. *Current Medicinal Chemistry*, 17, 2196-2202
- 2) K. Kumi, K. Yoshihito, O. Takahiro, T. Satoshi, K. Igarashi, Y. Cho, N. Shibata, F. Hakuno, S-I. Takahashi, and A. Takenaka(2010): Effect of paraquat-induced oxidative stress on insulin regulation of insulin-like growth factor-binding protein-1 gene expression. *Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition*, 46, 157-167.
- 3) K. Igarashi, C. Kawai, and S. Kurakane(2010): 3-Hydroxy-6-Methylpyridine with Preventive Activity on Carbon Tetrachloride-Induced Liver Injury Is Produced During Roasting of Coffee Beans. *Food Science and Technology Research*, 17, 39-44
- 4) S. Kurakane, N. Yamada, H. Sato, and K. Igarashi(2010): Anti-diabetic effects of *Actinidia arguta* polyphenols on rats and KK-Ay mice. *Food Science and Technology Research*, 17, 93-102.

〈学会賞〉

- 1) 日本栄養・食糧学会 学会賞: 非栄養素ポリフェノールの探索研究と生理機能解析 (平成22年5月21日)

高橋 孝悦

〈原著論文〉

- 1) Kuroda Ken-ichi,, Ashitani Tatsuya, Fujita Koki(2010): Tetramethylammonium hydroxide (TMAH) thermochemolysis of lignin: Formation of(E)-5-formyl-2, 3, 3', 4'-tetramethoxystilbene and its origins, *JOURNAL OF ANALYTICAL AND APPLIED*

PYROLYSIS, 89(2), 233-238

- 2) 伊藤 傑, 芦谷竜矢, 楠本倫久, 関根伸浩, 高橋孝悦 (2010) : ヤマブドウの貴腐化に関する基礎的研究－ヤマブドウ果皮抽出物の *Botrytis cinerea* に対する活性－, 日本ブドウ・ワイン学会誌, 21(3), 105-111
- 3) Kusumoto Norihisa, Ashitani Tatsuya, Murayama Tetsuya, Ogiyama Koichi, Takahashi Koetsu (2010) : Antifungal Abietane-Type Diterpenes from the Cones of *Taxodium distichum* Rich, JOURNAL OF CHEMICAL ECOLOGY, 36(12), 1381-1386

村山 哲也

〈原著論文〉

- 1) Yoshihito Shiono, Miwa Yokoi, Takuya Koseki, Tetsuya Murayama, Nobuhiro Aburai, Ken-ichi Kimura. (2010) : Allantopyrone A, a New α -Pyrone metabolite with potent cytotoxicity from an Endophytic Fungus, *Allantophomopsis lycopodina* KS-97. The Journal of Antibiotics, 63, 251-253.
- 2) Yoshihito Shiono, Kota Ogata, Takuya Koseki, Tetsuya Murayama, and Takayuki Funakoshi (2010) : A Cleistanthane Diterpene from a Marine-derived *Fusarium* species under submerged fermentation. Zeitschrift fuer Naturforschung, 65b, 753-756.
- 3) Taiji Hatakeyama, Takuya Koseki, Tetsuya Murayama, Yoshihito Shiono* (2010) : Eremophilane sesquiterpenes from the endophyte *Microdiplodia* sp. KS 75-1 and revision of the stereochemistries of phomadecalins C and D. Phytochemistry Letters, 3, 148-151.
- 4) KOSEKI, T., MIHARA, K., MURAYAMA, T. and SHIONO, Y. (2010) : A novel *Aspergillus oryzae* esterase that hydrolyzes 4-hydroxybenzoic acid esters, FEBS Letters, 584, 4032-4036.
- 5) Norihisa Kusumoto & Tatsuya Ashitani & Tetsuya Murayama & Koichi Ogiyama & Koetsu Takahashi. (2010) : Antifungal Abietane-Type Diterpenes from the Cones of *Taxodium distichum* Rich, J Chem Ecol, 36 : 1381-1386

夏賀 元康

〈著書〉

- 1) 近藤 直・小川雄一・清水 浩・西津貴久・林 孝洋・後藤清和 編 :, 2010, 農産物性科学②－音・電気・光特性と生化学特性－, コロナ社, 103-105, 115-118, 121-124

〈原著論文〉

- 1) 江頭宏昌・夏賀元康*・須江芳恵・池田剛士・千田智哉・堀之内名那子・赤澤経也, 2010, 近赤外分光法によるエダマメの品質測定(第2報)－莢付きエダマメの食味関連成分の測定－, 農業機械学会誌, 73(1), 51-56
- 2) 夏賀元康・松野 航・氷田紗里絵 : 微弱発光分光法による玄米の品質測定, 2010, 国際食品工業展 FOOMA2010 アカデミックプラザ研究発表要旨集, 17, 157-160
- 3) 齋藤明日香・松田朗海・片平光彦・堀口健一・夏賀元康, 2010, 近赤外分光法によるエダマメ茎葉残渣サイレージの発酵品質の測定, 農業機械学会東北支部報, 57, 33-36

芦谷 竜矢

〈原著論文〉

- 1) Kuroda Ken-ichi, Ashitani Tatsuya, Fujita Koki(2010) : Tetramethylammonium hydroxide (TMAH) thermochemolysis of lignin : Formation of (E)-5-formyl-2, 3, 3', 4'-tetramethoxystilbene and its origins, JOURNAL OF ANALYTICAL AND APPLIED PYROLYSIS, 89(2), 233-238
- 2) 伊藤 傑, 芦谷竜矢, 楠本倫久, 関根伸浩, 高橋孝悦(2010) : ヤマブドウの貴腐化に関する基礎的研究－ヤマブドウ果皮抽出物の *Botrytis cinerea* に対する活性－, 日本ブドウ・ワイン学会誌, 21(3), 105-111
- 3) Kusumoto Norihisa, Ashitani Tatsuya, Murayama Tetsuya, Ogiyama Koichi, Takahashi Koetsu(2010) : Antifungal Abietane-Type Diterpenes from the Cones of *Taxodium distichum* Rich, JOURNAL OF CHEMICAL ECOLOGY, 36(12), 1381-1386

塩野 義人

〈原著論文〉

- 1) Taiji Hatakeyama, Takuya Koseki, Tetsuya Murayama, Yoshihito Shiono* (2010) : Eremophilane sesquiterpenes from the endophyte *Microdiplodia* sp. KS 75-1 and revision of the stereochemistries of phomadecalins C and D. *Phytochemistry Letters*, 3, 148-151.
- 2) Yoshihito Shiono, Kota Ogata, Takuya Koseki, Tetsuya Murayama, and Takayuki Funakoshi (2010) : A Cleistanthane Diterpene from a Marine-derived *Fusarium* species under submerged fermentation. *Zeitschrift fuer Naturforschung*, 65b, 753-756.
- 3) Yoshihito Shiono, Miwa Yokoi, Takuya Koseki, Tetsuya Murayama, Nobuhiro Aburai, Ken-ichi Kimura. (2010) : Allantopyrone A, a New α -Pyrone metabolite with potent cytotoxicity from an Endophytic Fungus, *Allantophomopsis lycopodina* KS-97. *The Journal of Antibiotics*, 63, 251-253.
- 4) KOSEKI, T., MIHARA, K., MURAYAMA, T. and SHIONO, Y., A novel *Aspergillus oryzae* esterase that hydrolyzes 4-hydroxybenzoic acid esters, *FEBS Lett.*, 584, 4032-4036 (2010)
- 5) KOSEKI, T., MOCHIZUKI, K. KISARA, A., MIYANAGA, A., FUSHINOBU, S., MURAYAMA, T. and SHIONO, Y.,(2010) : Characterization of a chimeric enzyme comprising feruloyl esterase and family 42 carbohydrate-binding module, *Appl. Microbiol. Biotechnol.*, 86, 155-161.
- 6) T. Koseki, K. Mochizuki, H. Kisara, A. Miyanaga, S. Fushinobu, T. Murayama, Y. Shiono (2010) : Characterization of a chimeric enzyme comprising feruloyl esterase and family 42 carbohydrate-binding module. *Applied Microbiology and Biotechnology*, 86, 155-161.
- 7) Justin Kamga, Louis P. Sandjo, Hervé M. Poumale, Bathélémy Ngameni, Yoshihito Shiono, Mehdi Yemloul, Vincent Rincheval, Bonaventure T. Ngadjui and Gilbert Kirsch (2010) : Politamide, a new constituent from the stem bark of *Ficus polita* Vahl(Moraceae) *ARKIVOC*, 323-329.

- 8) V. Kuete, H. M. Poumale Poumale, A.N. Guedem, Y. Shiono, R. Randrianasolo, B. T. Ngadjui(2010) : Antimycobacterial, antibacterial and antifungal activities of the methanol extract and compounds from *Thecacoris annobonae* (Euphorbiaceae), South African Journal of Botany, 76, 536-542

【帯広畜産大学】

大西 正男

〈著書〉

- 1) 得字圭彦・木下幹朗・大西正男. 2010. 食品分野への応用：農作物の健康機能性評価. 金子周一・堀池靖浩 監修. バイオチップー実用化ハンドブックー. pp. 312-317. (株)NTS. 東京

〈原著論文〉

- 1) Nozaki H, Itonori S, Sugita M, Nakamura K, Ohba K, Ohnishi M, Imai K, Igarashi Y, Suzuki A, Kushi Y. 2010. Invariant V α 14 natural killer T cell activation by edible mushroom acidic glycosphingolipids. Biological and Pharmaceutical Bulletin 33(4) : 580-584
- 2) Yunoki K, Renaguli M, Kinoshita M, Matsuyama H, Mawatari S, Fujino T, Kodama Y, Sugiyama M, Ohnishi M. 2010. Dietary sphingolipids ameliorate disorders of lipid metabolism in Zucker fatty rats. Journal of Agricultural and Food Chemistry 58 : 7030-7035
- 3) Sato M, Yunoki K, Ohkubo T, Seki K, Tanaka Y, Ohnishi M. 2010. Content and fatty acid composition of sulfoquinovosyldiacylglycerol in conifer leaves grown in Hokkaido, Japan. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 74(6) : 1283-1285
- 4) Ono J, Kinoshita M, Aida K, Tamura M, Ohnishi M. 2010. Effects of dietary glucosylceramide on dermatitis in atopic dermatitis model mice. European Journal of Lipid Science and Technology 112(7) : 708-711

小田 有二

〈原著論文〉

- 1) Oda Y, Mikumo D, Leo F, Urashima T. 2010. Discrimination of *Saccharomyces cerevisiae* and *Saccharomyces paradoxus* strains by the SUC2 gene sequences. Journal of General and Applied Microbiology 56(4) : 355-358.
- 2) Oda Y, Nakamura K, Shinomiya N, Ohba K. 2010. Ethanol fermentation of sugar beet thick juice diluted with crude cheese whey by the flex yeast *Kluyveromyces marxianus* KD-15. Biomass and Bioenergy 34(8) : 1263-1266.

福島 道広

〈原著論文〉

- 1) Yang CY, Mandal PK, Han KH, Fukushima M, Choi K, Kim CJ, Lee CH. 2010. Capsaicin and tocopherol in red pepper seed oil enhances the thermal oxidative stability during

- frying. *Journal of Food Science and Technology* 47(2) : 162-165
- 2) Mineo H, Morikawa N, Ohmi S, Ishida K, Machida A, Kanazawa T, Chiji H, Fukushima M, Noda T. 2010. Ingestion of potato starch containing esterified phosphorus increases alkaline phosphatase activity in the small intestine in rats. *Nutrition Research* 30(5) : 341-347
 - 3) Hashimoto N, Noda T, Kim SJ, Yamauchi H, Takigawa S, Matsuura-Endo C, Suzuki T, Han KH, Fukushima M. 2010. Colored potato extracts induce superoxide dismutase-2 mRNA via ERK1/2 pathway in HepG2 cells. *Plant Foods for Human Nutrition* 65(3) : 266-270
 - 4) 岡田朋子, 山影はるか, 川上秋桜, 中村有美, 韓圭鎬, 島田謙一郎, 関川三男, 紙谷年昭, 戸田登志也, 柴山進一, 福島道広. 2010. ラットの脂質代謝および腸内細菌叢に及ぼすポテトペプチドおよび金時豆同時摂取の影響. *日本食物繊維学会誌* 14(1) : 45-54
 - 5) 福島道広, 中村有美, 李スルギ, 土平洋彰, 小林由佳, 川上秋桜, 岡田朋子, 島田謙一郎, 韓圭鎬. 2011. 機能性糖質の研究の動向について－とくに機能性糖質のプレバイオティクス効果について－. *日本消化吸収学会誌* 33 : 202-215

木下 幹朗

〈著書〉

- 1) 得字圭彦・木下幹朗・大西正男. 2010. 食品分野への応用：農作物の健康機能性評価. 金子周一・堀池靖浩 監修. バイオチップー実用化ハンドブッカー. pp. 312-317. (株)NTS. 東京

〈原著論文〉

- 1) Yunoki K, Renaguli M, Kinoshita M, Matsuyama H, Mawatari S, Fujino T, Kodama Y, Sugiyama M, Ohnishi M. 2010. Dietary sphingolipids ameliorate disorders of lipid metabolism in Zucker fatty rats. *Journal of Agricultural and Food Chemistry* 58 : 7030-7035
- 2) Ono J, Kinoshita M, Aida K, Tamura M, Ohnishi M. 2010. Effects of dietary glucosylceramide on dermatitis in atopic dermatitis model mice. *European Journal of Lipid Science and Technology* 112(7) : 708-711

島田 謙一郎

〈原著論文〉

- 1) 岡田朋子, 山影はるか, 川上秋桜, 中村有美, 韓圭鎬, 島田謙一郎, 関川三男, 紙谷年昭, 戸田登志也, 柴山進一, 福島道広. 2010. ラットの脂質代謝および腸内細菌叢に及ぼすポテトペプチドおよび金時豆同時摂取の影響. *日本食物繊維学会誌* 14(1) : 45-54
- 2) 福島道広, 中村有美, 李スルギ, 土平洋彰, 小林由佳, 川上秋桜, 岡田朋子, 島田謙一郎, 韓圭鎬. 2011. 機能性糖質の研究の動向について－とくに機能性糖質のプレバイオティクス効果について－. *日本消化吸収学会誌* 33 : 202-215

中村 正

〈原著論文〉

- 1) K. Goto, T. Urashima, S. Asakuma, M. Komoda, T. Nakamura, K. Fukuda, O. Wellnitz, R. Bruckmaier. 2010. Hexose, sialic acid and sialyllactose concentrations in the milk of dairy and non-dairy breed cows. *Milchwissenschaft* 65(4) : 352-356
- 2) Sasaki Asakuma, Tomoko Yokoyama, Kazumasa Kimura, Yoko Watanabe, Tadashi Nakamura, Kenji Fukuda, and Tadasu Urashima, 2010, Effect of human milk oligosaccharides on messenger ribonucleic acid expression of Toll-like receptor 2 and 4, and of MD2 in the intestinal cell line HT-29. *Journal of Applied Glycoscience*. 57(3) : 177-183.

岡田 朋子

〈原著論文〉

- 1) 岡田朋子, 山影はるか, 川上秋桜, 中村有美, 韓圭鎬, 島田謙一郎, 関川三男, 紙谷年昭, 戸田登志也, 柴山進一, 福島道広. 2010. ラットの脂質代謝および腸内細菌叢に及ぼすポテトペプチドおよび金時豆同時摂取の影響. *日本食物繊維学会誌* 14(1) : 45-54
- 2) 福島道広, 中村有美, 李スルギ, 土平洋彰, 小林由佳, 川上秋桜, 岡田朋子, 島田謙一郎, 韓圭鎬. 2011. 機能性糖質の研究の動向について－とくに機能性糖質のプレバイオティクス効果について－. *日本消化吸収学会誌* 33 : 202-215

韓 圭鎬

〈原著論文〉

- 1) Yang CY, Mandal PK, Han KH, Fukushima M, Choi K, Kim CJ, Lee CH. 2010. Capsaicin and tocopherol in red pepper seed oil enhances the thermal oxidative stability during frying. *Journal of Food Science and Technology* 47(2) : 162-165
- 2) Hashimoto N, Noda T, Kim SJ, Yamauchi H, Takigawa S, Matsuura-Endo C, Suzuki T, Han KH, Fukushima M. 2010. Colored potato extracts induce superoxide dismutase-2 mRNA via ERK1/2 pathway in HepG2 cells. *Plant Foods for Human Nutrition* 65(3) : 266-270
- 3) 岡田朋子, 山影はるか, 川上秋桜, 中村有美, 韓圭鎬, 島田謙一郎, 関川三男, 紙谷年昭, 戸田登志也, 柴山進一, 福島道広. 2010. ラットの脂質代謝および腸内細菌叢に及ぼすポテトペプチドおよび金時豆同時摂取の影響. *日本食物繊維学会誌* 14(1) : 45-54
- 4) 福島道広, 中村有美, 李スルギ, 土平洋彰, 小林由佳, 川上秋桜, 岡田朋子, 島田謙一郎, 韓圭鎬. 2011. 機能性糖質の研究の動向について－とくに機能性糖質のプレバイオティクス効果について－. *日本消化吸収学会誌* 33 : 202-215

3 熱・生命システム学専攻

(1) 熱・生命システム学連合講座

【岩手大学】

伊藤 菊一

〈原著論文〉

- 1) Ito, K., Ogata, T., Kakizaki, Y., Elliott, C., Albury, M.S. and Moore, A.L.(2011) Identification of a gene for pyruvate-insensitive mitochondrial alternative oxidase expressed in the thermogenic appendices in *Arum maculatum*. *Plant Physiology* 157 : 1721-1732.
- 2) Ogata, M., Matsukawa, K., Kogusuri, K., Yamashita, T., Hikage, T., Ito, K., Saitoh, Y. and Tsutsumi, K.(2011) Gentian extract induces caspase-independent and mitochondria-modulated cell death. *Advances in Biological Chemistry*, in press.
- 3) 広間達夫, 伊藤菊一, 原 道宏, 鳥巢 諒 (2011) 発熱植物ハスの体温調節に関する制御光学的解析. *植物環境工学*, 23 : 52-58.

〈特許〉

- 1) 長田 洋, 伊藤菊一, 伊藤孝徳, 石橋政三 (2011) パルス変換装置, 御システム, 及び制御方法. 特願 2011-078277, 日本
- 2) 伊藤菊一, 伊藤孝徳, 長田 洋, 千葉茂樹 (2011) 温度制御方法, 及び温度制御装置. 特許登録 11/721066, 米国

上村 松生

〈原著論文〉

- 1) Takata, N., Saito, S., Tanaka-Saito, C. and Uemura, M.(2010) Phylogenetic footprint of the plant clock system in angiosperms : evolutionary processes of *Pseudo-Response Regulators*. *BMC Evolutionary Biology* 10 : 126.
- 2) Yamazaki, T., Takata, N., Uemura, M. and Kawamura, Y.(2010) *Arabidopsis* synaptotagmin SYT1, a type I signal-anchor protein, requires tandem C2 domains for delivery to the plasma membrane. *Journal of Biological Chemistry* 285 : 23165-23176.
- 3) Minami, A., Furuto, A. and Uemura, M.(2010) Dynamic compositional changes of detergent-resistant plasma membrane microdomains during plant cold acclimation. *Plant Signaling & Behavior* 5 : 1115-1118.
- 4) Kudo, H., Kudo, K., Ambo, H., Uemura, M. and Kawai, S. (2011) Cadmium sorption to plasma membrane isolated from barley roots is hampered by copper association onto membranes. *Plant Science* 180 : 300-305.
- 5) 金子智志, 山崎誠和, 上村松生, 河村幸男. (2010) 植物におけるカルシウム依存的凍結耐性の普遍性. *低温生物学会誌* 56 : 71-76.
- 6) 高橋大輔, 古戸あかり, 南杏鶴, 加茂政晴, 山下哲郎, 上村松生. (2011) カラスムギと

ライムギ細胞膜マイクロドメインの組成と凍結耐性との関連性. 低温生物工学会誌 57 : 95-99.

岡田 益己

〈原著論文〉

- 1) Oikawa, S., Miyagi, K-M., Hikosaka, K., Okada, M., Matsunami, T., Kokubun, M., Kinugasa, T. and Hirose, T. (2010) Interactions between elevated CO₂ and N₂-fixation determine soybean yield-a test using a non-nodulated mutant. *Plant and Soil*, 330 : 163-172.
- 2) Tokida, T., Fumoto, T., Cheng, W., Matsunami, T., Adachi, M., Katayanagi, N., Matsushima M., Okawara, Y., Nakamura, H., Okada, M., Sameshima, R. and Hasegawa, T. (2010) Effects of free-air CO₂ enrichment (FACE) and soil warming on CH₄ emission from a rice paddy field : impact assessment and stoichiometric evaluation. *Biogeosciences*, 7 : 2639-2653.
- 3) Shimono, H., Suzuki, K., Aoki, K., Hasegawa, T. and Okada, M. (2010) Effect of panicle removal on photosynthetic acclimation under elevated CO₂ in rice. *Photosynthetica*, 48 : 530-536.
- 4) 宮沢佳恵・岡田益己 (2010) 二酸化炭素濃度と温度がコマツナの食味へ与える影響. *農業気象*, 66 : 299-304.
- 5) Eusufzaia, M.K., Tokida, T., Okada, M., Sugiyamae, S., Liu, G-C., Nakajima, M. and Sameshima, R. (2010) Methane emission from rice fields as affected by land use change. *Agriculture, Ecosystems and Environment*, 139 : 742-748.
- 6) Fukayama, H., Sugino, M., Fukuda, T., Masumoto, C., Taniguchi, Y., Okada, M., Sameshima, R., Hatanaka, T., Misoo, S., Hasegawa, T. and Miyao, M. (2011) Gene expression profiling of rice grown in free air CO₂ enrichment (FACE) and elevated soil temperature. *Field Crops Research* 121 : 195-199.

鈴木 幸一

〈著書〉

- 1) 鈴木幸一 (分担執筆) (2010) 昆虫の低温耐性－その仕組みと調べ方 (積木久明・田中一裕・後藤三千代 編) 岡山大学出版会, 岡山, pp207-216, pp 266-267.

〈原著論文〉

- 1) Sillapankong, P., Yang, P., Sato, Y., Ishiguro, S., Yamamoto, K., Noda, S., Kondo, H., Totani, K., Konishi, T., Yamashita, T., Kofujita, H. and Suzuki, K. (2010) Mulberry stem bark extract stimulates *in vitro* immunomodulatory response in mouse splen lymphocytes. *J. Insect Biotech. Sericol.* 80 : 1-7.
- 2) Kang, K.-D., Kamita, S.-G., Suzuki, K. and Seong, S.-I. (2010) Comparative analysis of α -glucosidase activity in *Bombyx mori* and *Antheraea yamamai*. *J. Indust. Entomol.* 21 : 163-167.
- 3) Kang, K.-D., Park, J.-S., Cho, Y.-S., Park, Y.-S., Lee, J.-Y., Hwang, K.-Y., Yuk, W.-J.,

- Kamita, S.-G., Suzuki, K. and Seong, S.I. Effect of 1-deoxynojirimycin on the replication of baculoviruses, *Bombyx mori* nucleopolyhedrovirus and *Autographa californica* multiple nucleopolyhedrovirus. J. Indust. Entomol. 23 : 123-128.
- 4) Kang, K.-D., Kamita, S.-G., Suzuki, K. and Seong, S.-I. (2011) Effect of starvation upon baculovirus in larval *Bombyx mori* and *Heliothis virescens*. J. Invertebr. Pathol. 106 : 205-210.

吉川 信幸

〈原著論文〉

- 1) Yamagishi, N. and Yoshikawa, N.(2011). Expression of *FLOWERING LOCUS T* from *Arabidopsis thaliana* induces precocious flowering in soybean irrespective of maturity group and stem growth habit. *Planta* 233 : 561-568.
- 2) Yamagishi, N., Sasaki, S., Yamagata, K., Komori, S., Nagase, M., Wada, M., Yamamoto, T., and Yoshikawa, N.(2011). Promotion of flowering and reduction of a generation time in apple seedlings by ectopical expression of the *Arabidopsis thaliana* FT gene using the *Apple latent spherical virus* vector. *Plant Mol. Biol.* 75 : 193-204.
- 3) Nakamura, K., Yamagishi, N., Isogai, M., Komori, S., Ito, T., and Yoshikawa, N. (2011). Seed and pollen transmission of *Apple latent spherical virus* in apple. *J. Gen. Plant Pathol.* 77 : 48-53.
- 4) Yamagishi, N., Sasaki, S., and Yoshikawa, N. (2010). Highly efficient method for inoculation of apple viruses to apple seedlings. *Julius-Kuhn-Archiv* 427 : 226-229.
- 5) Yaegashi, H. and Yoshikawa, N. (2010). Transient expression of the coat protein of *Apple chlorotic leaf spot virus* inhibits the viral RNA accumulation in *Nicotiana occidentalis*. *Julius-Kühn-Archiv* 427 : 220-225.

〈特許〉

- 1) 吉川信幸 (2010)「植物への病原ウイルス感染を防除する組換え ALSV」(特願 2010-068877)
- 2) 吉川信幸・山岸紀子・佐々木慎太郎・小森貞男・和田雅人・田中紀充 (2009).「リンゴ小球形潜在ウイルスベクターを用いたバラ科果樹の開花促進方法」(特願 2009-031642).
- 3) 吉川信幸・山岸紀子・佐々木慎太郎 (2009).「リンゴ小球形潜在ウイルスベクターの効率的接種法とバラ科果樹内在性遺伝子の発現抑制法」(特願 2009-031647).
- 4) 吉川信幸 (2009).「リンゴ小球形潜在ウイルスベクターを用いたウリ科植物の内在性遺伝子発現抑制法」(特願 2009-013535).

一ノ瀬 充行

〈原著論文〉

- 1) Tetsuya Matsuura, Takayuki Oda, Genta Hayashi, Daisuke Sugisaki and Mitsuyuki Ichinose. Enhancement of Chemotactic Response to Sodium Acetate in the Nematode *Caenorhabditis elegans* *Zoological Science* 27 : 629-637 (2010)

佐藤 拓己

〈原著論文〉

- 1) Wang T, Takikawa Y, Satoh T, Yoshioka Y, Kosaka K, Tatemichi Y, Suzuki K Carnosic acid prevents obesity and hepatic steatosis in ob/ob mice. *Hepatol Res.* 2011 Jan ; 41(1) : 87-92

西山 賢一

〈原著論文〉

- 1) Ken-ichi Nishiyama and Hajime Tokuda (2010) Preparation of a highly translocation-competent proOmpA/SecB complex. *Protein Science* 19 : 2402-2408.
- 2) Ken-ichi Nishiyama, Masahide Maeda, Masato Abe, Takashi Kanamori, Keiko Shimamoto, Shoichi Kusumoto, Takuya Ueda, Hajime Tokuda (2010) A novel complete reconstitution system for membrane integration of the simplest membrane protein. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 394 : 733-736.

〈特許〉

- 1) 発明の名称 「大腸菌膜タンパク質挿入因子」出願番号 特願 2010-048520

河村 幸男

〈原著論文〉

- 1) Yamazaki T, Takata N, Uemura M and Kawamura Y. (2010) *Arabidopsis* synaptotagmin SYT1, a type I signal-anchor protein, requires tandem C2 domains for delivery to the plasma membrane. *J Biol Chem.* 285 : 23165-23176
- 2) 金子智志, 山崎誠和, 上村松生, 河村幸男 (2010) 植物におけるカルシウム依存的凍結耐性の普遍性. *低温生物工学会誌* 56 : 71-76.
- 3) 畑山 仁, 小出章二, 高橋克幸, 河村幸男, 高木浩一 (2011) ナノ秒パルス高電界が農産物に与える効果－高電界印加後のブドウ表皮の細胞形態と漏出ポリフェノール総量－. *農業機械学会誌* 73 : 135-141.

斎藤 靖史

〈原著論文〉

- 1) Kume, K., Tsutsumi, K., and Saitoh, Y. (2010) TAS1 trans-acting siRNA targets are differentially regulated at low temperature, and TAS1 trans-acting siRNA mediates temperature-controlled At1 g51670 expression. *Biosci. Biotech., and Biochem.* 74 : 1435-1440.
- 2) Nishimura, T., Yamauchi, K., Saitoh, Y., Deguchi, Y., Aoi, T., Tsujimoto, T., and Matsubara, K. (2010) Sex determination of the Japanese serow (*Capricornis crispus*) by fecal DNA analysis. *Jpn. J. of Zoo and Wildlife Med.* 15 : 73-78.
- 3) Hikage, T., Kogusuri, K., Tanaka-Saito, C., Watanabe, S., Chiba, S., Kume, K., Doi, H., Saitoh, Y., Takahata, Y., and Tsutsumi, K. (2011) W14/W15 esterase gene haplotype can

be a genetic landmark of cultivars and species of the genus *Gentiana* L. Mol. Genet. and Genomics. 285 : 47-56.

松浦 哲也

〈原著論文〉

- 1) Tetsuya Matsuura, Takayuki Oda, Genta Hayashi, Daisuke Sugisaki and Mitsuyuki Ichinose. Enhancement of Chemotactic Response to Sodium Acetate in the Nematode *Caenorhabditis elegans*. Zoological Science, 27, 629-637, 2010
- 2) Hiroyuki Takuwa, Tetsuya Matsuura, Rumiana Bakalova, Takayuki Obata, Iwao Kanno. Contribution of nitric oxide to cerebral blood flow regulation under hypoxia in rats. Journal of Physiological Science, 60, 399-406, 2010
- 3) Hiroyuki Takuwa, Joonas Autio, Haruka Nakayama, Tetsuya Matsuura, Takayuki Obata, Eiji Okada, Kazuto Masamoto and Iwao Kanno. Reproducibility and variance of stimulation-induced hemodynamic response in barrel cortex of awake behaving mice. Brain Research, 1369, 103-111, 2011

安 嬰

〈原著論文〉

- 1) Sato, Y., Yang, P., An, Y., Matsukawa, K., Ito, K., Imanishi, S., Matsuda, H., Uchiyama, Y., Imai, K., Ito, S., Ishida, Y. and Suzuki, K. (2010) A palmitoyl conjugate of insect pentapeptide Yamamarin arrests cell proliferation and respiration. Peptides 31 : 827-833.

【弘前大学】

石川 隆二

〈原著論文〉

- 1) Ashikawa, I., J. Wu, T. Matsumoto, and R. Ishikawa : Haplotype diversity and molecular evolution at the rice Pikm locus for blast Resistance Journ. Gen. Plant Path. 76 : 137-42, 2010.
- 2) Tanaka, K., R. Ishikawa : Rice archaeological remain and possibility of DNA archaeology. Arch. Anth. Sci. 2 : 69-78, 2010.

杉山 修一

〈著書〉

- 1) 杉山修一：周縁効果他 5 項目 生物学事典 東京化学同人 2011

〈原著論文〉

- 1) Eusufzai MK, Tokida T, Okada M, Sugiyama S, Liu, GC Miyuki Nakajima, M and Ryoji Sameshima R : Methane emission from rice fields as affected by land use change. Agriculture, Ecosystems and Environment 139 : 742-748. 2010

- 2) Hossain M. Z. and Sugiyama S. : Influences of plant litter diversity on decomposition, nutrient mineralization and soil microbial community structure. *Grassland Science* 57 : 72-80. 2011
- 3) Wagdi S, Fujimori M., Tase, K and Sugiyama S. : Oxidative stress and physiological damage under prolonged heat stress in C3 grass *Lolium perenne*. *Grassland Science* 57 : 101-106. 2011
- 4) Hossain M. Z. and Sugiyama S. : Geographical pattern of soil bacterial and fungal community in northern Japan : influences of distance, vegetation and soil properties. *European J. Soil Biology*. 47 : 88-94. 2011
- 5) Eusufzai MK, T. Tokida, S. Sugiyama, M. Nakajima and R. Sameshima : Effect of rice straw application on CH₄ emission in continuous and recently converted paddy fields. *J. Agric. Meteorol.* 67 : 185-192. 2011

赤田 辰治

〈原著論文〉

- 1) Matsuda, S., N. Wakamatsu, H. Jouyu, H. Makita, S. Akada : An extensive analysis of R2R3-MYB regulatory genes from *Fagus crenata*. *Tree Genetics & Genomes*, 7 : 307-321, 2011.
- 2) Kitamura, K., T. Fujita, S. Akada and A. Tonouchi : *Methanobacterium kanagiense* sp. nov., a hydrogenotrophic methanogen, isolated from rice-field soil. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 61 : 1246-1252, 2011.

【帯広畜産大学】

山本 紳朗

〈原著論文〉

- 1) Yamamoto S, Lüscher M, Hochstrasse U, Boller T, Wiemken A. 2010. Mode of synthesis of longchain fructan in timothy haplocorm. *Grassland Science* 56(4) : 194-197
- 2) 連峰・小林創平・山本紳朗. 2010. 羊草 (*Aneurolepidium chinense* (Trin.) Kitag.) の耐塩性機構の解明 2. 植物体内における Na 濃度・動態. *日本草地学会誌* 56(3) : 194-198

4 生物環境科学専攻

(1) 地域資源経済学連合講座

【岩手大学】

木下 幸雄

〈原著論文〉

- 1) SHOBAYASHI, M., KINOSHITA, Y. and TAKEDA, M.(2010) Issues and Options Relating to Sustainable Management of Irrigation Water in Japan: A Conceptual Discussion. J. Water Res. Development, 26-3 : 351-364.
- 2) 木下幸雄, 木村伸男, 金岡正樹, 李 哉沄, 内山智裕 (2010) 農業法人の経営成長の影響要因. 日本農業経済学会論文集 2010 年度 : 46-53.

【弘前大学】

神田 健策

〈著書〉

- 1) 長谷川啓哉・神田健策：いわて中央農協による産地形成. 中嶋信編著：自治体農政の新展開. 自治体研究社, 85-108, 2011 年 7 月

〈原著論文〉

- 1) 宋 曉凱・神田健策：中国における農民專業合作社の現状と課題－山東省の農民專業合作社の実態に基づく－. 2010 年度日本農業経済学会報告論文集. 日本農業経済学会 : 472-478, 2010 年 12 月
- 2) 神田健策・大橋治：日本型農協における総合経営と共販型総合農協の意義－小さなりんご村の総合農協・JA 相馬村の実践－. 2010 年（北京）東亜農民專業合作經濟組織發展模式的困境与出路国際論壇. 163-168, 2011 年 3 月

渋谷 長生

〈原著論文〉

- 1) 渋谷長生・葛西由佳：ナマコ輸出拡大に伴うナマコ産地・加工業者の対応と課題～青森県陸奥湾を中心として～. 弘前大学農学生命科学部学術報告第 13 号 : 39-59, 2011. 2
- 2) 渋谷長生：生協産直提携における共同と競争の関係. 「農村経済研究」第 29 巻第 1 号 : 63-70, 東北農業経済学会, 2011. 8

泉谷 眞実

〈著書〉

- 1) 泉谷眞実編著：『未利用バイオマスとしてのりんご剪定枝の活用戦略 [増補改訂版]』. 弘前大学出版会, 2011 年 7 月.

〈原著論文〉

- 1) 泉谷眞実：農業資材市場と静脈産業. 『農業市場研究』第19巻第3号：26-36. 2010年12月
- 2) 泉谷眞実：廃食油の発生構造とバイオディーゼル燃料事業化の課題－青森県における事業所アンケート結果の分析－. 『弘前大学農学生命科学部学術報告』第13号：1-5. 2010年12月

石塚 哉史

〈著書〉

- 1) 西尾 漠*・小島あずさ**・並河信太郎***・石塚哉史・脇坂弘明****・竹本 伸****
*・積田綾子*****・北城睦美*****：環境・公害と食教育. 『日本の教育―第60集―』
アドバンテージサーバー：231-242, 2011年7月. (*原子力資料情報室, 国事務局, ***相
愛大学, ****石川県教職員組合, *****広島県高等学校教職員組合, *****神奈川県教職
員組合, *****沖縄県教職員組合)

〈原著論文〉

- 1) 磯野貴志*・数納 朗**・石崎和之***・小泉隆文****・石塚哉史：讃岐うどんチェーン
店における店舗立地の今日的展開に関する一考察. 『日本うどん学会誌』日本うどん学会(7)：
42-52, 2010年12月. (*神奈川県立平塚農業高等学校, **アグリ・ビズ・コミュニケーション,
流通システム研究センター, *東京福祉大学)
- 2) 石塚哉史：日系食品企業における中国国内向け販売戦略の今日的展開. 『農業市場研究』
日本農業市場学会(78)：41-46, 2011年9月.

【山形大学】

岩鼻 通明

〈著書〉

- 1) 岩鼻通明(2011)：「中世の伝統を伝える羽黒山四季の峰」. 宮家準編『山岳修験への招待
霊山と修行体験』新人物往来社, p. 83-92.

〈原著論文〉

- 1) 岩鼻通明(2010)：「映像に描き出された韓国のムーダン」村山民俗24, p. 34-36.
- 2) 岩鼻通明(2010)：「羽黒山五重塔小考」山形民俗24, p. 25-28.
- 3) 岩鼻通明(2011)：「宗教と境界―飯豊山・鳥海山・蔵王山を事例として」地図情報116, p.
16-18.

小沢 互

〈著書〉

- 1) 小沢 互(2011)「飼料用米生産の全国動向と庄内地域取り組みの拡大」独立行政法人農
業・食品産業技術総合研究機構『飼料用米の生産・給与技術マニュアル(2010年度版)』,
158-161

〈原著論文〉

- 1) 金子 舞・小沢 互 (2010)「米粉の定着可能性－山形県庄内地域を事例として－」東北農業経済研究, 第28巻第2号, 62-67
- 2) 小沢 互 (2010)「飼料用稲・米に取り組む地域の課題・水田側の視点から」農業と経済, 第76巻第13号, 16-22

菊間 満

〈著書〉

- 1) ベルント・シュトレルケ編, 菊間 満訳 (2011) 世界の林業労働者が自らを語る－われわれはいかに働き暮らすのか－, 日本林業調査会, 184

角田 毅

〈原著論文〉

- 1) 角田 毅 (2010)：主業地域における集落営農組織の法人化, 集落営農の発展と法人化, 農林水産政策研究所, 47-51
- 2) 角田 毅 (2010)：山形県における集落営農の特徴と今後の課題, 水田・畑作経営所得安定対策下における集落営農組織等の動向と今後の課題, 農林水産政策研究所, 45-53

早尻 正宏

〈原著論文〉

- 1) 早尻正宏 (2011) 森林組合の広域合併と再編計画の現段階——山陰・山陽地方の森林組合対策に注目して, TORC レポート, 34, 96-106
- 2) 早尻正宏 (2011)『智頭町百人委員会アンケート調査結果報告書』(概要版), TORC レポート, 34, 200-221

【帯広畜産大学】

姜 興起

〈著書〉

- 1) 姜 興起. 2010. ベイズ統計データ解析. 共立出版. 東京

〈原著論文〉

- 1) Noda H, Kyo K. 2010. Statistical analysis of the dynamic structure of China's economic sectors based on Bayesian modeling. Information 13 : 923-939
- 2) Noda H, Kyo K. 2010. Bayesian analysis of the technical change in Japan. Journal of Economic Policy Studies 7 : 2-5
- 3) 姜 興起, 野田英雄. 2011. AR 成分付き季節調整モデルの推定に関する新しい試み. Information14 : 29-49

(2) 地域環境工学連合講座

【岩手大学】

倉島 栄一

〈原著論文〉

- 1) 倉島栄一, 江上博司, 亀山博之, 遠藤 泰, 北川和彦 (2010) レタス畑の高温障害防止に向けた散水試験下の熱収支, 農業農村工学会誌, 78(12), 1007-1010.
- 2) 倉島栄一, 江上博司, 亀山博之, 遠藤 泰, 北川和彦 (2010) 散水によるレタス畑の高温障害防止, 畑地農業, 625, 9-15.

古賀 潔

〈原著論文〉

- 1) Tokumoto, I., Noborio, K. and Koga, K. (2010) Coupled water and heat flow in a grass field with aggregated Andisol during soil-freezing periods, Cold Regions Science and Technology, 62 : 98-106.

颯田 尚哉

〈原著論文〉

- 1) T. TATEISHI, Satta, N.(2010) Effect of periodic application of cattle slurry on soil microbial biomass in an andisol grassland., Journal of integrated field Science, Vol. 7, p. 123
- 2) 高橋克幸, 高木浩一, 颯田尚哉, 秋山雅裕 (2010) 水中気泡内放電による有機染料の脱色におけるエネルギー効率の改善, 電気学会研究会資料, pp. 57-62.
- 3) Takahashi, K. Sasaki, Y. Mukaigawa, S. Takaki, K. Fujiwara, T. Satta, N. (2010) Purification of High-Conductivity Water Using Gas-Liquid Phase Discharge Reactor, Plasma Science, IEEE Transactions on Plasma Science, Vol. 38, pp. 2694-2700
- 4) 高橋克幸, 高木浩一, 颯田尚哉 (2010) 水中気泡内放電による 1, 4 ジオキサンの処理特性, 静電気電気学会講演論文集 2010, pp. 51-54
- 5) 高橋克幸, 高木浩一, 颯田尚哉, 秋山雅裕 (2010) 水中気泡内放電を用いた 1, 4- ジオキサンの分解, 環境工学研究論文集, Vol. 47, pp. 507-514
- 6) 立石貴浩, 滝沢崇幸, 颯田尚哉, 前田武己, 登尾浩助 (2010) 担子菌 *Coprinopsis* sp. のアンモニア利用特性の評価と窒素負荷軽減のための微生物資材への応用の可能性, 環境工学研究論文集, Vol. 47, pp. 289-295
- 7) Nao KAMEI-ISHIKAWA, Shigeo UCHIDA, Keiko TAGAMI and Naoya SATTA (2011) Soil Solution Ni Concentrations over which K_d is Constant in Japanese Agricultural Soils, Journal of NUCLEAR SCIENCE and TECHNOLOGY, Vol. 48, No. 3, p. 337-343
- 8) 米澤彩子, 高橋克幸, 颯田尚哉, 高木浩一 (2011) 水中プラズマを用いたジクロロメタンの分解特性, 静電気学会誌, 35 巻, pp. 31-37

武田 純一

〈原著論文〉

- 1) T. HOSHINO, T. NAKAMURA, Y. SEIMIYA, T. KAMADA, G. ISHIKAWA, A. OGASAWARA, S. SAGAWA, M. SAITO, H. SHIMIZU, M. NISHI, M. WATANABE, J. TAKEDA and Y. TAKAHATA (2010) Production of a fully waxy line and analysis of waxy genes in the allohexaploid crop, Japanese barnyard millet, Plant Breeding, 129, 349-355.
- 2) 武田純一・寫田 優・菊池 豊・中野 丹・岡田俊輔・広間達夫・鳥巢 諒 (2010) トラクタの突起物乗越し時の動特性 (第1報) -突起物乗越しモデルの改良とばね定数の測定-, 農業機械学会誌, 72(5), 457-463.
- 3) 武田純一・寫田 優・菊池 豊・中野 丹・岡田俊輔・広間達夫・鳥巢 諒 (2010) トラクタの突起物乗越し時の動特性 (第2報) -突起物乗越しモデルの妥当性の検討-, 農業機械学会誌, 72(5), 464-470.
- 4) Muhammad Ali ASHRAF, Jun-ichi TAKEDA, Ryo TORISU (2010) Neural Network Based Steering Controller for Vehicle Navigation on Sloping Land, EAEF (Engineering in Agriculture, Environment and Food), 3(3), 100-104.

三輪 弼

〈原著論文〉

- 1) 高井和彦, 三輪 弼 (2010) 砂礫堆形成河道における堰下流河床洗掘の実験的研究, 農業農村工学会論文集 No.269 : 47-53.
- 2) 三輪 弼 (2010) 昭和堰頭首工 (寒河江川) における引き込み式魚道の被災可能性に関する実験的検討, 平成 22 年度農業農村工学会応用水理研究部会講演集 : 7-12.
- 3) 三輪 弼, 高井和彦 (2011) 堰下流護床工による河床洗掘軽減効果に関する実験的研究, 農業農村工学会論文集 No.271 : 17-23.
- 4) 三輪 弼 (2011) 一部可動堰タイプの堰における周辺河床の堆砂と洗掘に関する実験的研究, 東北地域災害科学研究 47 : 183-188.

三宅 諭

〈原著論文〉

- 1) 細川絵未, 三宅 諭 (2010) 景観まちづくりへ向けた町家等改修助成制度の運用状況と課題, 日本建築学会東北支部研究報告集計画系 73 : 187-190
- 2) 下黒沢朝光, 広田純一, 三宅 諭 (2010) 来場者と出店者にとっての青空市の意義—しずくいし軽トラック市を事例として, 農村計画学会誌 29, 209-214

山本 清仁

〈原著論文〉

- 1) KOBAYASHI Akira, HAYASHI Takuma, YAMAMOTO Kiyohito and KIYAMA Shoi-chi (2010) Mechanism of failure and damage probability of irrigation tank at mid niigata

- prefecture earthquake, Trans. of JSIDRE, 266, 11-18.
- 2) KOBAYASHI Akira, HAYASHI Takuma, YAMAMOTO Kiyohito and KIYAMA Shoichi (2010) Seismic risk management of irrigation system in an earthquake, Trans. of JSIDRE, 296, 13-23.
- 3) Kiyohito Yamamoto and Akira Kobayashi (2011) Evaluation for expansive strain of degraded mortar with damage mechanics model, Key Engineering Materials, 452-453, 193-196.

【弘前大学】

泉 完

〈原著論文〉

- 1) 泉 完, 神山公平*, 藤原正幸** : 全面越流型階段式魚道プール内の流況と魚の遊泳行動－岩木川取水堰の全面越流型階段式魚道を事例にして－, 農業農村工学会論文集, No. 269 : 127-13, 2010. 10 月. (* (株)建設技術研究所東京本社, **愛媛大学農学部)
- 2) 泉 完, 加藤 幸 : 河川水を用いたヤマメ稚魚の臨界遊泳速度に関する実験, 農業農村工学会論文集, 273 : 1-6, 2011. 6 月.

工藤 明

〈原著論文〉

- 1) 庄司 諭*・倉島栄一**・工藤 明 : 分布型流出モデルのパラメータからみたブナ原生林流域の洪水流出の特徴, 農業農村工学会論文集 No. 275 : 51-58, 2011. (*岩手大学大学院連合農学研究科, **岩手大学農学部)

佐々木 長市

〈著書〉

- 1) 佐々木長市 : 白神山地で活躍する人々－産業編－, 弘前大学白神自然環境研究所編, 弘前大学白神自然環境研究所 : 1, 2011. 3.
- 2) 佐々木長市 : 白神自然観察園の植物－(2)きのこ－, 弘前大学白神自然環境研究所編, 弘前大学白神自然環境研究所, 1, 2011. 3.
- 3) 佐々木長市 : 白神自然観察園の動物－(2)フィールドサイン－, 弘前大学白神自然環境研究所編, 弘前大学白神環境研究所, 1, 2011. 3.

〈原著論文〉

- 1) S. K. PAUL, C. SASAKI, N. MATUYAMA, K. NODA* and B. K. MITRA**, Influence of percolation patterns on growth and yield of rice plants and uptake of cadmium from polluted paddy fields using soil dressing models, Pedologist, Vol. 54(3) : 222-229, 2011. 3. (*弘前大学理工学部, 大成建設研究所**)
- 2) 佐々木長市・松山信彦・佐瀬 隆*・殿内暁夫・Shymal Kumarr Paul・野田香織*・山岸洋貴** : 白神山地の土壌に関する研究(8), 白神研究第8号, 50-51, 2011.9 (*北方ファイ

トリス研究所, **弘前大学理工学部, ***弘前大学白神自然環境研究所)

高橋 照夫

〈原著論文〉

- 1) G.Maharjan, T.Takahashi, S.H.Zhang : Classification Methods Based on Pattern Discrimination Models for Web-based Diagnosis of Rice Diseases. Journal of Agricultural Science and Technology A, Vol. 1(1) : 48-56, 2011. 5 (ISSN : 2161-6256, Earlier title : Journal of Agricultural Science and Technology, ISSN : 1939-1250)

張 樹槐

〈原著論文〉

- 1) 片平光彦^{*1}・張 樹槐・大泉隆弘^{*2}・後藤恒義^{*2}・鶴沼秀樹^{*3}・田村 晃^{*3}・後藤克典^{*4}
：画像処理によるエダマメの選別方法に関する研究（第2報）－試作エダマメ選別機の性能評価－, 農業機械学会誌, 73(2), 127～134, 2011 (*¹ 山形大学, *² 株式会社山本製作所, *³ 秋田県農林水産技術センター, *⁴ 山形県農業総合研究センター)
- 2) G. Maharjan, T. Takahashi, S. H. Zhang : Classification Methods Based on Pattern Discrimination Models for Web-Based Diagnosis of Rice Diseases, Journal of Agricultural Science and Technology A1, 48～56, 2011

藤崎 浩幸

〈原著論文〉

- 1) 藤崎浩幸：山村留学後の留学生と里親の交流実態－秋田県旧A町M学園における事例調査－, 農村計画学会誌, vol. 29 論文特集号, 167-172, 2010. 11
- 2) 齋藤朱未・藤崎浩幸：個人経営の農家レストラン開業状況と経営者性別による相違－東北地方を対象として－, 農村計画学会誌, vol. 29 論文特集号, 197-202, 2010. 11

加藤 幸

〈原著論文〉

- 1) 泉 完・加藤 幸：河川水を用いたヤマメ稚魚の臨界遊泳速度に関する実験, 農業農村工学会論文集, Vol. 79. 3, 1-6, 2011. 06
- 2) 佐々木長市・松山信彦・佐瀬 隆*・殿内暁夫・Shyamal Kumar Paul・松岡嗣彦**・加藤 幸・野田香織***：白神山地の土壌に関する研究(7), 白神研究, Vol. 7, 39-48, 2011. 6 (* 北方ファイトリス研究室, ** 白神山地自然ガイド, *** 弘前大学大学院理工学研究科)

【山形大学】

安中 武幸

〈原著論文〉

- 1) T. Annaka and S. Hanayama : Effects of contact angle on fingered flow during non-

ponding infiltration into dry sand layers, Soil Science and Plant Nutrition. 56, 366-370

大久保 博

〈原著論文〉

- 1) 前川勝朗・大久保 博：衣川 4 号ダムにおける斜樋の水理形状について, 山形大学紀要(農学), 第 16 巻第 2 号, 95-99

奥山 武彦

〈原著論文〉

- 1) 中里裕臣, 奥山武彦 (2010) : 大規模破碎帯地すべりにおける GPS 移動量観測システム, 地盤工学会誌, 58-11, 34-35

片平 光彦

〈原著論文〉

- 1) S. TSUSHIMA, H. MURAKAMI, T. AKIMOTO, M. KATAHIRA, Y. KUROYANAGI and Y. SHISHIDO (2010) : A Practical Estimating Method of the Dose-Response Curve between Inoculum Density of *Plasmodiophora brassicae* and the Disease Severity for Long-term IPM Strategies., Japan Agricultural Research Quarterly 44(4), 383-390.
- 2) 片平光彦*・張 樹槐・大泉隆弘・後藤恒義・鶴沼秀樹・田村 晃・後藤克典 (2011) : 画像処理によるエダマメの選別方法に関する研究 (第 2 報), 農業機械学会誌 73(2), 127-134.
- 3) 片平光彦*・進藤勇人・上田賢悦・鈴木 基・小林由喜也 (2010) : 種芋移植機を用いたツクネイモの施肥同時定植技術 (第 1 報), 農機東北支報 57, 25-28.
- 4) 進藤勇人・片平光彦・上田賢悦・鈴木 基 (2010) : 種芋移植機を用いたツクネイモの施肥同時定植技術 (第 2 報), 農機東北支報 57, 29-32.
- 5) 齋藤明日香・松田朗海・片平光彦・夏賀元康 (2010) : 近赤外分光法によるエダマメ茎葉残渣サイレージの発酵品質の測定, 農機東北支報 57, 33-36.

【帯広畜産大学】

辻 修

〈著書〉

- 1) 近藤哲也・宮内泰介・愛甲哲也・浜田誠一・服部 薫・梶 光一・柿澤宏昭・亀山 哲・金子正美・紺野康夫・間野 勉・松島 肇・森本淳子・大崎 満・棧敷孝浩・瀬川拓郎・庄子 康・小路 敦・高柳志朗・辻 修・柳川 久・吉田祐介. 2010. 里山・里海 : 日本の社会生態学的生産ランドスケープ 北海道の経験と教訓. pp. 12-90. 国際連合大学高等研究所. 横浜

(3) 地域環境管理学連合講座

【岩手大学】

澤口 勇雄

〈原著論文〉

- 1) 立川史郎・麻生臣太郎・澤口勇雄 (2011) 元口移動によるかかり木処理方法の検討. 森林利用学会誌 26(1) : 15~20.

関野 登

〈原著論文〉

- 1) 関野 登, 小藤田久義, 阿部一成, 東野 正 (2011) 元素組成と化学成分から見た針葉樹樹皮チップの発熱量の特徴およびボイラー燃料としての発熱量の変動範囲, 木材学会誌, 57 (2), 101-109.
- 2) 山口晃輔, 関野 登, 栗本康司, 小藤田久義 (2011) 木片炭化マットのホルムアルデヒドおよびアンモニア吸着能 – 表面化学特性および細孔特性からの検討 –, 木質炭化学会誌 7 (2), 76-82.

橋本 良二

〈原著論文〉

- 1) 森澤 猛, 杉田久志, 橋本良二 (2010) 木曽ヒノキの天然更新について (V) 伐採 39 年後の林分の評価の試み. 中部森林研究 58 : 59-60.

井良沢 道也

〈著書〉

- 1) 井良沢道也 (分担執筆) (2011) 平成 23 年版 技術士第二次試験選択科目 専門技術問題の解答例 (建設部門). 近代図書, 東京, 882p.
- 2) 井良沢道也 (分担執筆) (2011) 平成 23 年版 技術士第二次試験の解答例 (建設部門). 近代図書, 東京, 88p.
- 3) 井良沢道也 (分担執筆) (2011) 融雪に起因した土砂災害の減災を目指して, 東北の雪と生活 雪氷研究の回顧と展望 雪氷学会東北支部 25 周年記念誌. (社) 日本雪氷学会東北支部, pp. 96-103.

立川 史郎

〈原著論文〉

- 1) 立川史郎, 麻生臣太郎, 澤口勇雄 (2011) 元口移動によるかかり木処理方法の検討. 森林利用学会誌 26(1) : 15-20.

國崎 貴嗣

〈原著論文〉

- 1) Sakamaki, H., Enari, H., Aoi, T. and Kunisaki, T. (2011) Winter food abundance for Japanese monkeys in differently aged Japanese cedar plantations in snowy regions. *Mammal Study* 36 : 1-10.

東 淳樹

〈著書〉

- 1) 東 淳樹（分担執筆）(2010) 域固有の二次的自然の消滅. 林直樹, 齋藤晋編, 「撤退の農村計画－過疎地域からはじまる戦略的再編」学芸出版社学芸出版会, 東京, pp. 45-52.

〈原著論文〉

- 1) 中島 拓, 東 淳樹, 一柳英隆, 武浪秀子, 小城伸晃, 中村 夢, 江崎保男 (2011) 寒河江ダム月山湖の水位変動帯湿性草原における小型哺乳類の餌. *寒河江川流域自然史研究* 第5号 : 30-35.

原科 幸爾

〈原著論文〉

- 1) Harashina, K. and Ichinose, T. (2010) A hierarchical zoning method for land resource management based on watershed and population : a case study in Iwate Prefecture. *Journal of Landscape Architecture in Asia* 5 : 1-6.
- 2) Okubo, S., Parikesit, Muhamad, D., Harashina, K., Takeuchi, K., Umezaki, M. (2010) Land use/cover classification of a complex agricultural landscape using single-dated very high spatial resolution satellite-sensed imagery. *Canadian Journal of Remote Sensing* 36 : 722-736.
- 3) 針生 岬, 原科幸爾 (2010) 東北地方における里地里山の環境の類型化. *水土の知* 78 : 1001-1005.
- 4) Okubo, S., Parikesit, Harashina, K., Muhamad D., Abdoellah O. S., and Takeuchi, K. (2010) Traditional perennial crop-based agroforestry in West Java : the tradeoff between on-farm biodiversity and income. *Agroforestry Systems* 80 : 17-31.

松木 佐和子

〈原著論文〉

- 1) 菊池伸哉, 松木佐和子 (2010) クスサン幼虫の樹種選好特性－北海道と岩手県のクスサン個体群における事例－. *東北森林科学会誌* 15 (2) : 64-67.
- 2) 張山 樹, 松木佐和子 (2010) ウダイカンバ幼樹におけるハンノキカミキリの生態と被害. *樹木医学研究* 14 (3) : 113.

【弘前大学】

檜垣 大助

〈原著論文〉

- 1) 小森次郎・小池 徹・檜垣大助・Phuntsho Tshering：2009 年のブータンの自然災害－地象・水象・気候災害－，自然災害科学 29(2)：233-243, 2010.
- 2) 檜垣大助・阿部真郎：地形・地質情報を活用した地すべり災害箇所調査，日本地すべり学会誌 48(2)，19-25, 2011.
- 3) 檜垣大助・東日本大震災東北合同学術調査委員会(社)日本地すべり学会東北支部調査チーム：東北地方太平洋沖地震における東北地方の斜面災害発生状況，日本地すべり学会誌 48(3)，52-54, 2011.

石田 清

〈著書〉

- 1) 鈴木節子・戸丸信弘・石田 清：希少樹種の現状と保全：保全のための課題と対策．森林総合研究所第 2 期中期計画成果 23 (ISBN:978-4-902606-79-9)：20-21. 2011.

東 信行

〈著書〉

- 1) 東 信行：弘前市史（分担執筆），698pp.

〈原著論文〉

- 1) 工藤誠也・渡邊 泉・東 信行：発生地および分散パターンの特性を目的としたスカシバガ類 2 種の体内元素濃度分析，Lepidoptera Science, Vol.62, 135-141.

【山形大学】

野堀 嘉裕

〈著書〉

- 1) 野堀嘉裕(2011)炭素吸収源としての山形の森林，環境への「愛」森を増やしてCO₂を減らす．山形学－山形の魅力再発見－，山形大学都市・地域学研究所編，283-297pp, 山形大学出版会

〈原著論文〉

- 1) 野堀嘉裕・瀧誠志郎（2010）環境情報 GIS を利用した山形県内市町村別の炭素貯留量と吸収量の試算．独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター「環境共生型地域経済連携の設計・計画手法の開発」プロジェクト，東北公益文科大学ディスカッションペーパー：1-9.
- 2) 野堀嘉裕・瀧誠志郎・本田 愛・斉藤正一（2010）ミズナラ二次林樹幹部の重量成長について．東北森林科学会誌 15(1)：58-63.
- 3) Sasaki Tatsuya, Nobori Yoshihiro* and Lopez C.M. Larry, (2011) Relationship between

climate and radial growth of *Pinus parviflora* var. *pentaphylla* growing on mountain ridges under thick snow depth in Tohoku, Japan. *Journal of Forest Planning* 16 : 1-5.

- 4) Lopez C. M. Larry, Mizota Chitoshi, Yamanaka Toshiro, Nobori Yoshihiro (2011) Temporal changes in tree-ring nitrogen of *Pinus thunbergii* trees exposed to Black-tailed Gull (*Larus crassirostris*) breeding colonies. *Applied Geochemistry*, 25 : 1699-1702.
- 5) C. Mizota, M. L. Lopez C., T. Yamanaka, Y. Nobori (2011) Differential response of two *Pinus* spp. to avian nitrogen input as revealed by nitrogen isotope analysis for tree rings. *Isotopes in Environmental and Health Studies* 47 (1) : 62-70.

小山 浩正

〈原著論文〉

- 1) 長坂晶子・小山浩正・阿部友幸・長坂 有・今 博計・八坂通泰・寺澤和彦・小野寺賢介 (2010) 冷凍貯蔵したブナ種子の発芽率と含水率の10年間の変化. *日本森林学会誌* 92 : 50-53.

〈学会賞〉

- 1) 森林・林業技術交流会研究発表 森林技術部門 優秀賞 (2011年2月4日)

菊池 俊一

〈原著論文〉

- 1) 布川雅典・菊池俊一 (2011) 透過型砂防および治山堰堤内の物理環境, 専修大学短期大学地域総合科学研究センター報告, 5, 63-66

【帯広畜産大学】

岩佐 光啓

〈原著論文〉

- 1) Iwasa M. and Ishiguro N. 2010. Genetic and morphological differences of *Haematobia irritans* and *H. exigua*, and molecular phylogeny of Japanese *Stomoxys* flies (Diptera, Muscidae). *Medical Entomology and Zoology* 61(4) : 335-344.
- 2) Iwasa M. 2011. New species and records of the genera *Milichia* Meigen and *Milichiella* Giglio-Tos (Diptera, Milichiidae) from the Oriental region and Seram Island. *Entomological Science* 14(2) : 192-197.

柳川 久

〈著書〉

- 1) 近藤哲也・宮内泰介・愛甲哲也・浜田誠一・服部 薫・梶 光一・柿澤宏昭・亀山 哲・金子正美・紺野康夫・間野 勉・松島 肇・森本淳子・大崎 満・浅敷孝浩・瀬川拓郎・庄子 康・小路 敦・高柳志朗・辻 修・柳川 久・吉田祐介. 2010. 里山・里海：日本の社会生態学的生産ランドスケープ 北海道の経験と教訓. pp. 12-90. 国際連合大学高等研

究所. 横浜

押田 龍夫

〈原著論文〉

- 1) Masuda R, Lin L-K, Pei K J-C, Chen Y-J, Chang S-W, Kaneko Y, Yamazaki K, Anezaki T, Yachimori S, Oshida T. 2010. Origins and founder effects on the Japanese masked palm civet *Paguma larvata* (Viverridae, Carnivora), revealed from a comparison with molecular phylogeography in Taiwan. *Zoological Science* 27 (6) : 499-505
- 2) Oshida T, Dang CN, Nguyen ST, Nguyen NX, Endo H, Kimura J, Sasaki M, Hayashida A, Takano A, Hayashi Y. 2010. Phylogenetic relationship between *Callosciurus caniceps* and *C. inornatus* (Rodentia, Sciuridae) : implication for zoogeographical isolation by the Mekong River. *Italian Journal of Zoology* : DOI : 10.1080/11250003.2010.490566
- 3) Kadoya N, Iguchi K, Matsui M, Okahira T, Kato A, Oshida T, Hayashi Y. 2010. Nest cavity use by Siberian flying squirrel, *Pteromys volans orii* in forests of Hokkaido Island, Japan. *Russian Journal of Theriology* 9 (1) : 27-32.
- 4) Marugame M, Izumi I, Matsui M, Okahira T, Oshida T, Hayashi Y. 2010. Cavity resources for Siberian flying squirrel, *Pteromys volans orii*, in two different habitats in Hokkaido, Japan. *Russian Journal of Theriology* 9 (1) : 39-43.
- 5) Oshida T, Lin L-K, Chang S-W, Chen Y-J, Lin J-K. 2011. Phylogeography of two sympatric giant flying squirrel species, *Petaurista alborufus lena* and *P. philippensis grandis* (Rodentia, Sciuridae) in Taiwan. *Biological Journal of the Linnean Society* 102 (2) : 404-419.
- 6) Ikeda H, Yasuda M, Sakanashi M, Oshida T. 2011. Origin of *Callosciurus erythraeus* introduced into the Uto Peninsula, Kumamoto, Japan, inferred from mitochondrial DNA analysis. *Mammal Study* 36(1) : 61-65.

仲島 義貴

〈原著論文〉

- 1) Matsumoto A, Isomoto H, Nakayama M, Hisatsune J, Nishi Y, Nakashima Y, Matsushima K, Kurazono H, Nakao K, Hirayama T, and Kohno S. 2011. *Helicobacter pylori* VacA reduces cellular expression of STAT3 and pro-survival Bcl-2 family proteins, Bcl-2 and Bcl-X_L, leading to apoptosis in gastric epithelial cells. *Digestive Diseases and Sciences* 56 (4) : 999-1006.

平田 昌弘

〈著書〉

- 1) 平田昌弘. 2011. 栄養摂取からみた移牧民の高地適応戦略. 奥宮清人編著. 生老病死のエコロジー—チベット・ヒマラヤに生きる. 146-151. 昭和堂

〈原著論文〉

- 1) S, Kaneko. A, Hirata. M, Araki. T, Yamashiro. H, Miyake. Y, Tamaru. and J, Takahashi. 2010. Two-step Saccharification of rice straw with ammonia-stripping ammonia from the digested slurry of dairy manure in the biogas plant and *Clostridium cellulovorans*. E.J. McGeough and S. M. McGinn (Eds), Proceedings of the 4th International Conference on Greenhouse Gases and Animal Agriculture, Banff, Canada, October 3-8. 61
- 2) 平田昌弘・ヨトヴァ マリア・内田健治・元島英雅. 2010. ブルガリア南西部の乳加工体系. *Milk Science* 59(3) : 237-253.
- 3) 平田昌弘・清田麻衣. 2010. フランス国中南部丘陵地帯の乳加工体系－オーヴェルニュ地域圏の酪農家の事例から－. *Milk Science* 59(2) : 103-114.
- 4) 平田昌弘. 2010. インド北部ラダック高地山岳地帯の移牧民の生業構造～ドムカル村における食料摂取の視座から～. *ヒマラヤ学誌* 11 : 61-77.
- 5) 平田昌弘・米田佑子・有賀秀子・花田正明・河合正人・内田健治・元島英雅. 2010. 『斉民要術』に基づいた東アジアの古代乳製品の再現と同定. *Milk Science* 59(1) : 9-22.
- 6) 平田昌弘. 2010. 「牧畜」に関する研究の歩み. *砂漠研究* 20 (特別号) : 22-23.

紺野 康夫

〈著書〉

- 1) 近藤哲也・宮内泰介・愛甲哲也・浜田誠一・服部 薫・梶 光一・柿澤宏昭・亀山 哲・金子正美・紺野康夫・間野 勉・松島 肇・森本淳子・大崎 満・棧敷孝浩・瀬川拓郎・庄子 康・小路 敦・高柳志朗・辻 修・柳川 久・吉田祐介. 2010. 里山・里海：日本の社会生態学的生産ランドスケープ 北海道の経験と教訓. pp. 12-90. 国際連合大学高等研究所. 横浜

〈原著論文〉

- 1) Tomimatsu H, Yamagishi H, Tanaka I, Sato H, Kondo R, Konno Y. 2011. Consequence of forest fragmentation in an understory plant community : extensive range expansion of native dwarf bamboo. *Plant Species Biology* Vol. 26(1) : 3-12

高田 まゆら

〈原著論文〉

- 1) 高田まゆら・鈴木 牧・落合啓二・浅田正彦・宮下 直. 2010. 景観構造を考慮したニホンジカによる水稻被害発生機構の解明とリスクマップの作成. *保全生態学研究* 15 : 203-210

第2章 科学研究費補助金

(1) 平成22年度科学研究費補助金採択状況一覧

【岩手大学】

研究種目	研究代表者名	研 究 課 題 名
特定領域研究	澤井 健	クローン胚に特異的な DNA 脱メチル化と核リプログラミングの機構解明
新学術領域 研究領域提案型	上村 松生	植物の低温耐性獲得および喪失における温度刺激・応答機構の高時空間分解解析
若手研究 (B)	木下 幸雄	国際競争時代における社会的な農業経営者教育システムの再構築
若手研究 (B)	原科 幸爾	地域循環型生物資源利用システムにおける物質フローからみた持続可能性評価手法の開発
若手研究 (B)	山本 清仁	弾性波による構造物の劣化度検査法の研究
若手研究 (B)	松嶋 卯月	野菜接木苗における水の動態と形成層発達過程の解明およびその最適養生条件の検討
若手研究 (B)	三宅 論	歴史文化景観の保全・形成に向けた景観マネジメントに関する研究
若手研究 (B)	横井 修司	植物の開花・ストレス応答経路のクロストークの解明と育種への応用
若手研究 (B)	渡邊 学	ブルーベリー果実の発育における植物生長調節物質の役割に関する研究
若手研究 (B)	RAHMAN ABIDUR	システム生物学的アプローチによるオーキシン様除草剤の細胞毒性解明
若手研究 (B)	松木 佐和子	食業性昆虫被害のリスクが高い広葉樹林の適切な施業管理方法の創出
若手研究 (B)	河村 幸男	植物に高凍結ストレス耐性をもたらす細胞膜修復の分子メカニズムの解明
基盤研究 (B)	吉川 信幸	潜在性ウイルスを利用した新規 RNA サイレンシング誘導ベクターの開発とその応用
基盤研究 (B)	颯田 尚哉	産業廃棄物の不法投棄に起因する農業生産への影響低減化手法の開発
基盤研究 (B)	青井 俊樹	新たな手法による野生動物の生息地利用及び被害防除システムの構築に関する研究
基盤研究 (B)	岡田 益己	イネの穂分化における感光・感温プロセスの解明とモデル化
基盤研究 (B)	橋爪 力	サルソリノールによる反芻家畜の新しいプロラクチン分泌機構と生理機構の解明
基盤研究 (B)	伊藤 菊一	細胞質に存在する無益回路に着目したザゼンソウ温度センサーに関する研究
基盤研究 (B) 海外	伊藤 菊一	海外に自生する発熱植物の体温時系列データの収集と決定論的非線形予測
基盤研究 (C)	三輪 式	堆砂・洗掘問題の分析に基づいた頭首工計画・設計論の構築
基盤研究 (C)	小出 章二	温度周期性に応答するカビ成長パターンの幾何学的解析とポストハーベストへの応用

研究種目	研究代表者名	研 究 課 題 名
基盤研究 (C)	庄野 浩資	切り花リンドウ花卉の紫外線反射率上昇現象の機構解明とその収穫期・鮮度判定への応用
基盤研究 (C)	西山 賢一	大腸菌におけるジアシルグリセロールの生理的意義の解明
基盤研究 (C)	磯貝 雅道	ブルーベリーに発生するウイルスの病害防除に対する統合的研究
基盤研究 (C)	河合 成直	高塩類アルカリ条件下におけるイネ科植物の環境耐性
基盤研究 (C)	木村 賢一	カルシウムシグナルの遺伝子変異酵母に作用する新規生物活性物質の分子標的の研究
基盤研究 (C)	長澤 孝志	骨格筋萎縮における抗ストレスアミノ酸の検索とその作用機構
基盤研究 (C)	関野 登	弾性を有する木質炭化マットの成形と断熱材への適用に関する基礎研究
基盤研究 (C)	武田 純一	高速走行時における農用トラクタ-作業機系の振動および安定性解析
基盤研究 (C)	大澤 健司	ウシ潜在性子宮内膜炎の新規診断基準の確立と分娩後早期繁殖機能促進プログラムの構築
基盤研究 (C)	山下 哲郎	精巢上体特異的カルボキシルエステラーゼ (CES4) の生理機能と発現調節機構
基盤研究 (C)	伊藤 芳明	食品イソチオシアネート類による抗糖尿病効果の作用機序の解析
基盤研究 (C)	立澤 文見	アブラナ科花卉作物における新花色品種育成に関する研究
基盤研究 (C)	小藤田 久義	縮合型タンニンの生分解に関する研究
挑戦的萌芽研究	颯田 尚哉	水中放電を利用した養液再生利用手法の検討
挑戦的萌芽研究	伊藤 菊一	発熱植物において見出された脱共役活性に基づくヒトUCPの機能改変に関する研究

【弘前大学】

研究種目	研究代表者名	研 究 課 題 名
若手研究 (B)	川崎 通夫	サトイモを中心とした作物の酸性土壌耐性に関わる機能形態および生理機構の発掘と解明
基盤研究 (C)	鈴木 裕之	哺乳動物卵における細胞骨格再配置の意義とこれに関わるシグナル伝達経路の解明
基盤研究 (B)	佐野 輝男	ウイロイド特異的 RNA サイレンシングとウイロイドの病原性及び分子進化に関する研究
基盤研究 (B)	比留間 潔	蛹変態の分子機構の解明
若手研究 (B)	田中 和明	全生活環に基づいた小房子のう菌類分類体系再構築の試みとアナモルフ仮説の検証
基盤研究 (B)	橋本 勝	Lambertella 属によるマイコパラサイト現象の生物有機化学的機構解明
基盤研究 (C)	菊池 英明	ダイオキシン受容体の標的遺伝子サイレンシング解除に CREM が関与する機構の研究
基盤研究 (B)	原田 竹雄	エピジェネティック変異発動システムによるリング枝変わり品種の作出
特定領域研究	姫野 俵太	細菌における蛋白質合成異常回避システム
基盤研究 (B)	姫野 俵太	トランス・トランスレーションの分子メカニズム
基盤研究 (B)	千田 峰生	ダイズにおける低温着色抵抗性識別マーカーの開発

研究種目	研究代表者名	研 究 課 題 名
基盤研究 (C)	福澤 雅志	細胞性粘菌のオーガナイザー領域形成メカニズムの解明
若手研究 (B)	柏木 明子	大腸菌と RNA バクテリオファージ Q β を用いた実験室内共進化系の確立
基盤研究 (B)	戸羽 隆宏	乳酸菌およびビフィズス菌の日和見感染機構の解明と安全性向上
若手研究 (B)	前多 隼人	脂肪細胞の脂質代謝及び糖代謝を調節するキサントフィルの探索
基盤研究 (B)	石川 隆二	オセアニア地区におけるイネ科ならびに根裁類遺伝資源評価
基盤研究 (B)	杉山 修一	寒地型牧草の温暖化耐性メカニズムの解明と量的遺伝子座の特定
基盤研究 (C)	神田 健策	会員制（クラブシステム）による農産物の生産販売に関する基礎的研究
基盤研究 (C)	泉 完	流れ場環境の違いが河川生息魚の突進遊泳能力に与える影響
基盤研究 (C)	佐々木 長市	カドミウム汚染水田の浸透型と物質の動態
基盤研究 (C)	高橋 照夫	画像特徴解析を基盤とした病害虫防除管理支援 Web システムに関する研究
基盤研究 (C)	張 樹槐	分光反射計測による生食用果実の打撲傷の検出に関する応用研究
基盤研究 (B)	檜垣 大助	白神山地における地すべりが作り出す森林生態系の多様性
基盤研究 (B)	石田 清	湿地林を構成する希少木本種の繁殖と更新に及ぼす異系交配弱勢の影響の解明
挑戦的萌芽研究	東 信行	農業系水域ネットワークに生息する生物の移動履歴に関する生体情報分析法の開発

【山形大学】

研究種目	研究代表者名	研 究 課 題 名
基盤研究 (C)	西澤 隆	古代植物由来の植物性ミネラルを用いた野菜栽培に関する研究
基盤研究 (B)	村山 秀樹	セイヨウナシ果実の樹上完熟を阻害する tree ファクターの解析
基盤研究 (B)	村山 秀樹	ナシ属初の自殖 F2 集団を用いた果実有用形質のマッピングと高機能新品種開発への応用
基盤研究 (C)	木村 直子	SOD1 遺伝子欠損マウスを用いた酸化ストレスによる卵の細胞分裂障害の分子機序解明
基盤研究 (C)	安田 弘法	温暖化がもたらす時間的隠れ家の増大によるカイガラムシのエスケープの検証
基盤研究 (B)	安田 弘法	人為的に導入された日本在来の海外侵入生物の管理システムに関する応用生態学的研究
基盤研究 (B)	佐藤 智	人為的に導入された日本在来の海外侵入生物の管理システムに関する応用生態学的研究
基盤研究 (C)	小関 卓也	麹菌由来キシラン分解エステラーゼの構造・機能の解明
基盤研究 (C)	加来 伸夫	堆積相微生物燃料電池による水田での発電とそれが土壌環境とメタン放出に与える影響
基盤研究 (B)	佐藤 英世	食品由来成分によるシスチン・グルタミン酸トランスポーターの発現制御と生理機能

研究種目	研究代表者名	研 究 課 題 名
基盤研究 (C)	笹沼 恒男	ベニバナの系統解析と地域観光資源としての遺伝育種
基盤研究 (B)	豊増 知伸	菌類特有の新奇キメラジテルペン合成酵素の特徴を活かした有用物質生産研究の基盤構築
挑戦的萌芽研究	貫名 学	エルゴチオネインのビタミン機能の解明
特別研究員奨励費	塩野 義人	中央アフリカカメルーンにおける未利用生物資源からの有用生理活性物質の探索研究
基盤研究 (C)	塩野 義人	カルシウムシグナルの遺伝子変異酵母に作用する新規生物活性物質の分子標的の研究
基盤研究 (C)	小沢 互	ナラティブアプローチによるパス依存型ネットワーク経営の世代間継続要件に関する研究
基盤研究 (B)	金 成学	農水産物における垂直的マーケティング・システム形成の態様に関する実証的研究
基盤研究 (C)	角田 毅	農業労働力激減期における地域農業の人材創出に関する研究
若手研究 (B)	早尻 正宏	森林ガバナンスの構築に向けた時系列財務データ解析による森林組合の経営評価
基盤研究 (B)	石川 雅也	大規模灌漑事業の持続性および農村地域社会の開発効果に関する実証的研究
基盤研究 (B)	野堀 嘉裕	モンゴル北部永久凍土地帯における森林動態に与える火災の影響
基盤研究 (C)	小山 浩正	生物多様性の喪失をもたらす外来樹種ニセアカシアの種子繁殖メカニズムの解明

【帯広畜産大学】

研究種目	研究代表者名	研 究 課 題 名
基盤研究 C (一般)	手塚 雅文	排卵時卵胞における糖質コルチコイドの生理的役割の解明
基盤研究 C (一般)	橋本 靖	森林再生の初期段階における外生菌根菌感染源の移入経路の解明
基盤研究 C (一般)	加藤 清明	植物における腋芽伸長の制御メカニズムの分子的解明
基盤研究 C (一般)	大西 一光	寒冷地帯におけるイネ低温順化反応性に関する育種学的研究
基盤研究 C (一般)	福島 道広	馬鈴薯澱粉粕および有色馬鈴薯含有色素成分の健康機能性
基盤研究 C (一般)	木下 幹朗	植物由来スフィンゴ脂質の消化管への機能性に関する研究
基盤研究 C (一般)	姜 興起	ベイズ型統計モデルに基づく経済成長の要因分析法の開発とその応用
基盤研究 C (一般)	澤田 学	食の安全に対する信頼の測定と食品選択行動分析への応用
基盤研究 B (一般)	仙北谷 康	抗生物質を含む飼料に頼らない畜産フードシステムの成立条件
基盤研究 B (海外)	武田 一夫	モンゴル北部永久凍土地帯における森林動態に与える火災の影響
基盤研究 C (一般)	本江 昭夫	牧草の曲げ強度が放牧家畜の選択採食におよぼす影響
基盤研究 C (一般)	柳川 久	森林性鳥類が局所及び景観スケールでの人為的環境変化から受ける影響
基盤研究 B (一般)	押田 龍夫	広域分布性森林性動物が分布域辺縁で隔離された特有の森林に適応する機構と過程の解明
基盤研究 B (海外)	平田 昌弘	アジア大陸における乳文化圏の解明とアーカイブ構築

第3部 組織・運営

第1章 主指導教員となり得る教員の専門分野・研究分野一覧

平成22年4月1日現在

生物生産科学専攻 Specialty : Science of Bioproduction

植物生産学連合講座 Division : Plant Production

学位	主指導教員氏名（大学）	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
農博	堀 川 洋（帯広） Dr.Agr. HORIKAWA, Yoh(O)	植物工学・草地学 Plant Biotechnology, Grassland Science	遺伝子組換え植物の作出，マメ科牧草と根粒菌の研究 Production of transgenic plants by biotechnology, and study on legume and root nodule bacteria
農博	荒 川 修（弘前） Dr.Agr. ARAKAWA, Osamu(H)	果樹園芸学 Pomology	果樹の栽培と利用 Physiology of tree growth and fruit quality
理博	葛 西 身 延（弘前） Dr.Sc. KASAI, Minobu(H)	植物生理学 Plant Physiology	光合成代謝と同化物質輸送分配の制御に関する生理学的研究 Physiological studies on the regulation of photosynthetic metabolism and assimilate partitioning
農博	川 崎 通 夫（弘前） Dr.Agr. KAWASAKI, Michio(H)	作物学 Crop science	作物の収量および品質の成立に関わるメカニズムの解析 Analysis of mechanism on the formation of the yield and quality in food crops
農博	黒 田 榮 喜（岩手） Dr.Agr. KURODA, Eiki(I)	作物学 Crop Science	多収性水稻の収量形成過程と乾物生産過程の解析 Analysis of the dry matter production process and yield formation in the high-yielding rice plants
農博	壽松木 章（岩手） Dr.Agr. SUZUKI, Akira(I)	果樹園芸学 Pomology	落葉果樹における果実の肥大・成熟に関する生理学的研究 Physiology on fruit development and maturation of deciduous fruit tree
農博	星 野 次 汪（岩手） Dr.Agr. HOSHINO, Tsuguhiro(I)	作物生産管理学・作物育種学 Crop Production Management, Up- land Crop Breeding	作物の生産管理学および畑作物の育種 Management of crop production based on sustainable method and breeding of high yielding upland crop cultivar with high quality
農博	安 藤 豊（山形） Dr.Agr. ANDO, Ho(Y)	作物栽培学 Crop Science (Agronomy)	作物生育の環境要因 Relationship between crop growth and environmental factors
農博	平 智（山形） Dr.Agr. TAIRA, Satoshi(Y)	果樹園芸学・園芸利用学 Fruit Science	果実の発育および成熟の生理ならびに利用に関する研究 Physiology of fruit development, maturation, and utilization
農博	西 澤 隆（山形） Dr.Agr. NISHIZAWA, Takashi(Y)	園芸学 Horticulture	果菜類の生理障害および環境ストレス生理に関する研究 Physiological disorder and environmental physiology of vegetables
博(農)	藤 井 弘 志（山形） Dr.Agr. FUJII, Hiroshi(Y)	作物生産学 Crop production Science	水稻の環境保全型農業に関する研究 Studies on environmentally conscious agriculture of rice plant
博(農)	村 山 秀 樹（山形） Dr.Agr. MURAYAMA, Hideki(Y)	農産物保蔵学 Preservation Science	農産物の品質保持ならびに収穫後生理に関する研究 Studies on preservation and postharvest physiology of agricultural crops

動物生産学連合講座 Division : Animal Production

学位	主指導教員氏名（大学）	教育研究分野名	Research Field
Name of Proffesor (affiliation)		名称 Department	内 容 Descriptions
農博	柏 村 文 郎（帯広）	家畜管理学・馬学	牛と馬の行動と管理に関する研究
Dr.Agr.	KASHIWAMURA, Fumiro(O)	Animal Husbandry, Equine Science	Management and behavioral study on cattle and horses
ドクター・オブ・ ライオンズ	門 平 睦 代（帯広）	家畜衛生学	獣医疫学、熱帯獣医学、リスク分析、家畜管理
Ph.D.	KADOHIRA, Mutsuyo(O)	Animal Health	Veterinary epidemiology, Tropical veterinary medicine, Risk analysis, Livestock management
理博	桑 山 秀 人（帯広）	家畜生理化学	家畜におけるペプチドホルモンの制御機構
Dr.Sc.	KUWAYAMA, Hideto(O)	Animal Physiochemistry	Regulatory mechanism of peptide hormone in domestic animals
農博	鈴 木 三 義（帯広）	家畜育種学	乳牛の遺伝的改良
Dr.Agr.	SUZUKI, Mitsuyoshi(O)	Animal Breeding	Genetic improvement of dairy cattle
ドクター・オブ・ ライオンズ	手 塚 雅 文（帯広）	生殖生理学	家畜の卵巢生理学： Ovarian physiology of livestock 1) 卵巢におけるエネルギーの取り込みと代謝 1)Energy uptake and utilization in the ovary 2) 糖質コルチコイド（ストレスホルモン）と卵巢機能 2)Glucocorticoid (stress hormone) and ovarian function
Ph.D.	TETSUKA, Masafumi(O)	Reproductive Physiology	

ドクター・オブ・ フィロソフィー	福井 豊 (帯広)	家畜繁殖学	哺乳動物卵子の体外成熟, 受精, 発生に関する理論と応用
	Ph.D. FUKUI, Yutaka(O)	Animal Reproduction	Theoretical and applied studies on in vitro maturation, fertilization and development of mammalian ova
農博	鈴木 裕之 (弘前)	家畜繁殖学	1)卵母細胞の成熟と活性化に関する研究
	Dr.Agr. SUZUKI, Hiroyuki(H)	Animal Reproduction and Biotechnology	1)Maturation and activation of mammalian oocytes 2)哺乳動物卵の極性化に関する研究 2)Polarization of mammalian eggs
博(農)	松崎 正敏 (弘前)	家畜飼養学	1)初期成長期の栄養制御による家畜の生産能力の向上
	Dr.Agr. MATSUZAKI, Masatoshi(H)	Animal Feeding	1)Improvement of animal performance by nutritional manipulation in early life 2)未利用バイオマスの飼料利用 2)Better utilization of unused biomass materials in animal feeding
農博	喜多 一美 (岩手)	動物栄養学	栄養素による蛋白質代謝回転及び成長促進因子の制御
	Dr.Agr. KITA, Kazumi(I)	Animal Nutrition	Nutritional regulation of protein turnover and growth factor
農博	佐野 宏明 (岩手)	家畜栄養生理学	反芻家畜における栄養素代謝とその調節
	Dr.Agr. SANO, Hiroaki(I)	Animal Nutrition and Physiology	Nutrient metabolism and its control in ruminants
農博	高橋 壽太郎 (岩手)	発生工学	キメラ動物の動物生産および生物医学的研究への応用
	Dr.Agr. TAKAHASHI, Jutaro(I)	Animal Embryo Engineering	Practical application of chimeric animals for animal production and biomedical research
農博	橋爪 力 (岩手)	家畜繁殖学	家畜の生殖生理と内分泌機構
	Dr.Agr. HASHIZUME, Tsutomu(I)	Animal Reproduction	Reproductive physiology and endocrinology in domestic animal
博(農)	松原 和衛 (岩手)	動物育種繁殖学・生殖免疫学	超早期妊娠因子 (Super-EPF) に関する研究・動物遺伝資源の利用に関する研究
	Dr.Agr. MATSUBARA, Kazuei(I)	Animal breeding and reproduction, Reproductive Immunology	Study of super-early pregnancy factor and utilization of animal heredity resource
博(農)	渡邊 彰 (岩手)	畜産物品質制御学	動物の飼養や取扱が食肉の品質及び筋肉に及ぼす影響に関する研究
	Dr.Agr. WATANABE, Akira(I)	Meat Quality Control	Studies on meat quality and muscle biology as influenced by feeding and/or treatment of animals
博(農)	木村 直子 (山形)	動物生殖学・動物発生工学	哺乳類の生殖機能の分子メカニズムおよび動物の性の制御
	Dr.Agr. KIMURA, Naoko(Y)	Animal reproductive biology, Animal biotechnology	1) Molecular reproduction and development in mammals 2)Sex control in animals
農博	高橋 敏能 (山形)	家畜飼養学	1)家畜の肥育に関する栄養生理学的研究
	Dr.Agr. TAKAHASHI, Toshiyoshi(Y)	Animal Feeding	Nutritional and physiological studies on fattening of domestic animals 2)未利用資源の飼料化に関する研究 Studies on development as feed of unused resources
農博	戸津川 清 (山形)	動物発生工学	動物の生殖及び発生工学に関する理論と応用
	Dr.Agr. TOTSUKAWA, Kiyoshi(Y)	Animal Biotechnology	Theoretical and applied studies on animal reproduction and biotechnology
博(農)	堀 口 健一 (山形)	家畜管理学	循環型家畜管理システムに関する研究
	Dr.Agr. HORIGUCHI, Ken-ichi(Y)	Animal Management	Study on cyclic domestic animal management system
博(学)	吉田 宣夫 (山形)	飼料学	飼料用稲の生産・利用に関する理論と応用
	Dr.Ph. YOSHIDA, Norio(Y)	Feed science	Theoretical and applied studies on forage rice for production and utilization

生物制御学連合講座 Division : Biocontrol Bioenvironmental Sciences

学位	指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
農博	小池 正徳 (帯広)	昆虫病理学	1)昆虫寄生性菌類による生物防除
	Dr.Agr. KOIKE, Masanori(O)	Insect Pathology	1)Biological control using entomopathogenic fungi 2)寄生性 <i>Verticillium</i> 属菌の分子疫学 2)Molecular epidemiology of insect and plant pathogenic <i>Verticillium</i> spp
博(農)	谷 昌幸 (帯広)	土壌学	1)土壌における溶存有機物の動態
	Dr.Agr. TANI, Masayuki(O)	Soil Science	1)Dynamics of dissolved organic matter in soils 2)畜産廃棄物の再資源化と有効利用 2)Resource recycling and effective utilization of animal wastes
農博	筒木 潔 (帯広)	土壌学	土壌環境および農業生態系における有機物の動態
	Dr.Agr. TSUTSUKI, Kiyoshi(O)	Soil Science	Dynamics of soil organic matter in soil environment and agricultural ecosystem
農博	青山 正和 (弘前)	土壌学	土壌環境における有機物の存在状態と動態
	Dr.Agr. AOYAMA, Masakazu(H)	Soil Science	Dynamics of organic matter in soil environment
農博	佐野 輝男 (弘前)	植物病理学	1)ウイロイド (RNA 病原体) の分子構造・病原性と宿主特異性
	Dr.Agr. SANO, Teruo(H)	Plant Pathology	1)Molecular structure, pathogenesis and host specificity of viroid (RNA pathogen) 2)植物ウイルス・ウイロイド病の診断と防除 2)Diagnosis and control of plant virus and viroid diseases
博(農)	田中 和明 (弘前)	菌学	微小菌類の分類と系統に関する研究
	Dr.Agr. TANAKA, Kazuaki(H)	Mycology	Studies on taxonomy and phylogeny of microfungi

農博 比留間 潔 (弘前)	昆虫生理学・分子昆虫学	昆虫の脱皮, 変態のホルモン制御
Dr.Agr. HIRUMA, Kiyoshi(H)	Insect Physiology, Molecular Entomology	Hormonal control of insect metamorphosis; Hormonal regulation of the transcriptional cascade for larval molting
農博 河 合成 直 (岩手)	植物栄養生理学	イネ科植物における鉄などの微量必須元素の吸収・移行の機構
Dr.Agr. KAWAI, Shigenao(I)	Plant Nutrition and Physiology	Mechanisms of micronutrient absorption and translocation in plants
農博 溝 田 智 俊 (岩手)	同位体地球化学	親生物元素の安定同位体地球化学
Dr.Agr. MIZOTA, Chitoshi(I)	Stable Isotope Geochemistry of Light Elements	Isotope geochemistry of biological cycling of biophile light elements
農博 俵 谷 圭太郎 (山形)	植物栄養学・土壌学	菌根形成機構の解明および菌根の利用
Dr.Agr. TAWARAYA, Keitaro(Y)	Plant Nutrition and Soil Science	Mechanism of mycorrhizal colonization and utilization of mycorrhiza
農博 生 井 恒 雄 (山形)	植物病理学	1)イネいもち病菌の生態に関する研究 1)Ecological studies on rice blast fungus 2)植物病害の総合防除に関する研究 2)IPM of plant disease
Dr.Agr. NAMAI, Tsuneo(Y)	Plant Pathology	
農博 安 田 弘 法 (山形)	動物生態学	節足動物の多種共存機構と害虫の生物的防除に関する研究
Dr.Agr. YASUDA, Hironori(Y)	Animal Ecology	Biological control of pest insects

生物資源科学専攻 Specialty : Science of Bioresources

生物機能開発学連合講座 Division : Bioprocess Engineering

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Proffesor (affiliation)		名称 Department	内 容 Descriptions
博(農) 小 嶋 道 之 (帯広)	Dr.Agr. KOJIMA, Michiyuki(O)	生物化学 Biochemistry	生物機能に影響を及ぼす成分の構造および作用機構の解析 Structure analysis and action mechanism of constituent which affects the biofunction
理博 後 藤 健 (帯広)	Dr.Sc. GOTO, Ken(O)	光生物学 Photobiology	藻類における生物時計の環境適応機能, 特にセルサイクル制御と抗酸化能制御に関連して Studies on adaptational roles of biological clocks in algae, with special reference to regulation of cell cycle progression and defense against environmental stress
理博 石 黒 誠 一 (弘前)	Dr.Sc. ISHIGURO, Seiichi(H)	細胞工学 Cell Technology	視覚のメカニズム, 細胞分化のメカニズム Molecular mechanism of vision, Molecular mechanism of cell differentiation
理博 石 田 幸 子 (弘前)	Dr.Sc. ISHIDA, Sachiko(H)	発生生物学 Developmental Biology	動物の胚発生及び再生機構 Animal embryogenesis and regeneration
農博 大 町 鉄 雄 (弘前)	Dr.Agr. OHMACHI, Tetsuo(H)	生物化学 Biochemistry	微生物における遺伝情報発現調節機構とその応用 Gene expression in prokaryotes and lower eukaryotes
農博 片 方 陽 太 郎 (弘前)	Dr.Agr. KATAGATA, Yotaro(H)	生物化学 Biochemistry	動物培養細胞における細胞の異常分化 (腫瘍) とその関連タンパク質の生化学的研究 Abnormal differentiation (tumor) in cultured epithelial cells and biological studies on the related proteins
理博 黒尾(片倉)正樹 (弘前)	Dr.Sc. KURO-O(KATAKURA), Masaki(H)	分子細胞遺伝学 Molecular Cytogenetics	脊椎動物における遺伝的多様性の分子遺伝学的研究 Analyses of genetic diversities in vertebrates
理博 鮫 島 正 純 (弘前)	Dr.Sc. SAMESHIMA, Masazumi(H)	植物形態機能学 Cell Structure and Function	休眠体の形成・維持機構 Formation and maintenance of dormancy
理博 橋 本 勝 (弘前)	Dr.Sc. HASHIMOTO, Masaru(H)	天然物有機化学 Natural Product Chemistry	化学合成手法を用いた天然物化学研究 Study of natural product chemistry employing organic synthesis
農博 宮 入 一 夫 (弘前)	Dr.Agr. MIYAIRI, Kazuo(H)	生物化学 Biochemistry	微生物由来生理活性タンパク質 (酵素を含む) の分子構造と機能の解析およびその利用 Molecular structure, function, and utilization of bioactive protein (enzyme etc.) produced by microorganism
農博 磯 部 公 安 (岩手)	Dr.Agr. ISOBE, Kimiyasu(I)	応用微生物学 Applied Microbiology, Enzymology	微生物の産生する酵素の構造と機能の解析およびその応用 Studies on new microbial enzymes screening, structure, function and application
農博 平 秀 晴 (岩手)	Dr.Agr. TAIRA, Hideharu(I)	生物化学 Biochemistry	細胞のストレス応答に関する研究 Cellular stress response
農博 上 木 厚 子 (山形)	Dr.Agr. UEKI, Atsuko(Y)	微生物資源利用学 Applied and Environmental Microbiology	メタン生成嫌気性微生物群集の構造と機能およびその利用 Structure, function and application of methanogenic microbial community
博(農) 小 関 卓 也 (山形)	Dr.Agr. KOSEKI, Takuya(Y)	酵素利用学 Applied Enzymology	植物細胞壁分解酵素の機能解析およびその利用研究 Functional analysis and applied studies on plant cell wall-degrading enzymes

ゲノム工学連合講座 Division : Functional Genomics

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称 Department	内 容 Descriptions	
農博 加 藤 清 明 (帯広)	植物分子育種学	植物育種における分子の基礎と応用	
Dr.Agr. KATO, Kiyoaki(O)	Plant Molecular Breeding	Molecular basis and applied studies on plant breeding	
農博 三 浦 秀 穂 (帯広)	植物遺伝・育種学	ムギ類およびマメ類の適応性と品質に関する教育研究	
Dr.Agr. MIURA, Hideho(O)	Plants Genetics and Breeding	Improvement of production and quality in wheat and leguminous crops	
博(理) 牛 田 千 里 (弘前)	分子生物学	機能 RNomics, 非翻訳 RNA の機能と構造に関する研究	
Dr.Sc. USHIDA, Chisato(H)	Molecular Biology	Functional RNomic. Function and structure of ncRNAs	
医博 菊 池 英 明 (弘前)	分子生物学	ダイオキシンによるシグナル伝達系活性化機構とその毒性に関する研究	
M.D. KIKUCHI, Hideaki(H)	Molecular Biology	Studies on dioxin mediated signal transduction and its toxicity	
博(農) 千 田 峰 生 (弘前)	植物分子遺伝学	黄大豆の種子着色抑制機構に関する分子遺伝学的研究	
Dr.Agr. SENDA, Mineo(H)	Plant Molecular Genetics	Molecular suppressive mechanism of seed pigmentation in yellow soybean	
農博 原 田 竹 雄 (弘前)	植物分子育種学	植物の分子育種学的基礎および応用研究	
Dr.Agr. HARADA, Takeo(H)	Plant Molecular Breeding	Theoretical and applied studies on plant molecular breeding	
理博 姫 野 俵 太 (弘前)	生化学・分子生物学	RNA の構造と機能, 遺伝情報翻訳システムの分子メカニズム	
Dr.Sc. HIMENO, Hyouta(H)	Biochemistry, Molecular Biology	Structure and function of RNA, Molecular mechanism of the translation system	
理博 福 澤 雅 志 (弘前)	発生生物学	形態形成に関わる転写因子群の機能解析	
Dr.Sc. FUKUZAWA, Masashi(H)	Developmental Biology	Functional analysis of transcription factors involved in morphogenesis	
農博 高 畑 義 人 (岩手)	植物育種学	バイオテクノロジーを用いた植物育種の理論と応用	
Dr.Agr. TAKAHATA, Yoshihito(I)	Plant Breeding	Theoretical and applied studies on plant breeding by biotechnology	
農博 堤 賢 一 (岩手)	分子遺伝学	動・植物細胞の細胞分化機構	
Dr.Agr. TSUTSUMI, Ken-ichi(I)	Molecular Genetics	Differentiation of animal and plant cells	
農博 阿 部 利 徳 (山形)	植物遺伝・育種学	植物のバイオテクノロジーと種子形質の分子遺伝・育種	
Dr.Agr. ABE, Toshinori(Y)	Plants Genetics and Breeding	Plant biotechnology and molecular genetics of seeds for plant breeding	
医博 佐 藤 英 世 (山形)	生化学・分子栄養学	1)生体抗酸化系の発現制御機構	
M.D. SATO, Hideyo(Y)	Biochemistry and Molecular Nutrition	1)Regulatory mechanisms of anti-oxidant systems 2)アミノ酸トランスポーターの生理機能 2)Physiological functions of amino acid transporters	

生物資源利用学連合講座 Division : Utilizaiton of Bioresources

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称 Department	内 容 Descriptions	
農博 大 西 正 男 (帯広)	生物機能化学	1)脂質の構造, 代謝および生物機能	
Dr.Agr. OHNISHI, Masao(O)	Biofunctional Chemistry	1)Chemical structure, metabolism, and biological function of membrane lipids 2)食品中の脂質機能と抗酸化能 2)Lipid functionality and antioxidant potency of foods	
農博 小 田 有 二 (帯広)	微生物利用学	農畜産物の微生物変換に関する研究	
Dr.Agr. ODA, Yuji(O)	Applied Microbiology	Microbial conversion of agricultural products	
農博 木 下 幹 朗 (帯広)	食品機能学	食品成分中における機能性脂質の生化学的研究	
Dr.Agr. KINOSHITA, Mikio(O)	Food Functional Chemistry	Food Biochemistry of Functional Lipids	
農博 弘 中 和 憲 (帯広)	食品工学	農作物の品質保持に関する理論と応用	
Dr.Agr. HIRONAKA, Kazunori(O)	Food Engineering	Theoretical and applied studies on quality preservation of agricultural products	
農博 福 島 道 広 (帯広)	栄養生化学	栄養生化学およびその分子生物学に関する理論と応用	
Dr.Agr. FUKUSHIMA, Michihiro(O)	Nutritional Biochemistry	Theoretical and applied study on nutritional biochemistry and molecular biology	
農博 戸 羽 隆 宏 (弘前)	食品化学・食品微生物学	食品の安全性の向上に関する研究, 乳酸菌に関する研究	
Dr.Agr. TOBA, Takahiro(H)	Food Chemistry and Microbiology	1)Control of food-borne pathogen 2)Studies on lactic acid bacteria	
博(工) 岡 部 敏 弘 (岩手)	環境調和型材料	バイオマス資源を用いた循環型処理技術の開発	
Dr.Eng. OKABE, Toshihiro(I)	Ecomaterial	The development of the circulation type management technology using biomass resources	
農博 木 村 賢 一 (岩手)	ケミカルバイオロジー	天然資源由来の低分子生物活性物質の化学・生物学的研究	
Dr.Agr. KIMURA, Ken-ichi(I)	Chemical Biology	Chemical and Biological Study on Bioprobes derived from Natural Resources	
博(農) 小藤田 久 義 (岩手)	木材化学	天然有機化合物の構造と機能に関する理論と応用	
Dr.Agr. KOFUJITA, Hisayoshi(I)	Wood Chemistry	Theoretical and applied studies on structure and function of natural organic compound	
学博 菅 原 悦 子 (岩手)	調理科学	調理加工による食品中の香気成分の生成と分解	
Dr.Ph. SUGAWARA, Etsuko(I)	Cookery science	Formation and degradation of the aroma components in foods by cooking and processing.	

農博 塚 本 知 玄 (岩手) Dr.Agr. TSUKAMOTO, Chigen(I)	食品化学 Food Chemistry	大豆加工食品の機能性並びに呈味性の改善 Improvement of functionality and taste characteristics of soyfoods
農博 長 澤 孝 志 (岩手) Dr.Agr. NAGASAWA, Takashi(I)	栄養生化学 Nutritional Biochemistry	1)骨格筋タンパク質の合成と分解の機構とその食品による調節 1)Protein synthesis and degradation in skeletal muscle and its regulation by food 2)活性酸素による生体高分子の修飾とその制御 2) Modification and regulation of bio-molecule by reactive oxygen species
農博 三 浦 靖 (岩手) Dr.Agr. MIURA, Makoto(I)	食品化学工学 Food Chemical Engineering	食品の加工, 保蔵, 品質評価に関する理論と応用 Theoretical and applied studies on food processing, preservation and quality evaluation
農博 五十嵐 喜 治 (山形) Dr.Agr. IGARASHI, Kiharu(Y)	食品・栄養化学 Food and Nutritional Chemistry	食品素材中の栄養生理機能物質の化学と機能発現機構 Chemistry of nutritionally and physiologically functional substances in food-stuffs and studies on their function mechanism
農博 高 橋 孝 悦 (山形) Dr.Agr. TAKAHASHI, Koetsu(Y)	森林資源利用学 Forest Products	樹木の成分と利用に関する研究 Study of chemical component and its utilization on trees
農博 夏 賀 元 康 (山形) Dr.Agr. NATSUGA, Motoyasu(Y)	農産物加工工学 Agricultural Process Engineering	農産物の非破壊計測 Non-destructive analysis of agricultural product
農博 貫 名 学 (山形) Dr.Agr. NUKINA, Manabu(Y)	生理活性天然物化学 Natural Products Chemistry of the Bio-Active Substances	生理活性天然物に関する研究 Bio-organic chemistry of the bio-active natural products
農博 村 山 哲 也 (山形) Dr.Agr. MURAYAMA, Tetsuya(Y)	生物有機化学 Bioorganic Chemistry	自生生物に含まれる重要な物質の化学 Chemical studies on the important substance contained in Plants

寒冷圏生命システム学専攻 Specialty : Science of Cryobiosystems

熱・生命システム学連合講座 Division : Thermo-Biosystem Relations

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Proffesor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
農博 日 高 智 (帯広) Dr.Agr. HIDAKA, Satoshi(O)	家畜管理学 Animal Husbandry		家畜の生理と生産性に及ぼす環境の影響 Effect of environment on animal physiology and performance
理博 山 本 紳 朗 (帯広) Dr.Sc. YAMAMOTO, Shinro(O)	作物生理学 Crop Physiology		草地と耕地における作物と環境にかかわる植物生理学 Plant physiology on grassland and crop field
農博 赤 田 辰 治 (弘前) Dr.Agr. AKADA, Shinji(H)	植物分子生物学 Plant Molecular Biology		マメ科植物及びブナにおける環境応答の分子機構 Molecular mechanisms underlying environmental responses in Legume and beech
農博 石 川 隆 二 (弘前) Dr.Agr. ISHIKAWA, Ryuji(H)	植物育種学・植物遺伝学 Plant Genetics and Breeding		1)イネの適応性遺伝子の遺伝学的解析 2)トランスボゾンによる遺伝子タッキングシステムの開発 Functional genomics of rice genes
農博 杉 山 修 一 (弘前) Dr.Agr. SUGIYAMA, Shuichi(H)	作物学・草地学 Crop Science and Grassland Ecology		イネ科植物の環境適応戦略の生理機構と遺伝的背景に関する研究 Physiological mechanism and genetic background of adaptive strategy in grass species
理博 一ノ瀬 充 行 (岩手) Dr.Sc. ICHINOSE, Mitsuyuki(I)	生理学 Physiology		生活環境および福祉機器の快適性に関する人間生理工学 Physiological Human engineering for comfortable environment in livelihood
医博 伊 藤 菊 一 (岩手) M.D. ITO, Kikukatsu(I)	システム生物学 System Biology		植物の発熱制御機構に関する研究 Thermoregulation in plants
理博 上 村 松 生 (岩手) Dr.Sc. UEMURA, Matsuo(I)	植物生理学 Plant Physiology		植物の寒冷ストレス適応に関する分子生理学的研究とその応用 Physiological and molecular biological studies on cold adaptation in plants
農博 岡 田 益 己 (岩手) Dr.Agr. OKADA, Masumi(I)	農業気象学 Agrometeorology		気候変動に対する植物生長応答の評価 Evaluation of plant growth responses to climate change
理博 菅 野 洋 光 (岩手) Dr.Sc. KANNO, Hiromitsu(I)	農業気象学 Agrometeorology		東北地方における「やませ」および夏季気象変動に関する理論と応用 Theoretical and applied studies on 'Yamase' and summertime meteorological fluctuations over the Tohoku Region
医博 佐 藤 拓 己 (岩手) M.D. SATOH, Takumi(I)	神経科学・細胞生物学 Neuroscience, Cell Biology		親電子性物質による脳保護機構 Cysteine regulation of neuron survival by electrophilic
博(農) 鮫 島 良 次 (岩手) Dr.Agr. SAMESHIMA, Ryoji(I)	農業気象学 Agrometeorology		温暖化・CO ₂ 濃度上昇に対する植物生長応答の評価 Evaluation of plant growth responses to global warming and elevated atmospheric CO ₂
理博 新 貝 鈿 蔵 (岩手) Dr.Sc. SHINGAI, Ryuzo(I)	神経科学 Neuroscience		神経情報処理 Neural information processing

農博 鈴木 幸一 (岩手) Dr.Agr. SUZUKI, Koichi(I)	昆虫生理学 Insect Physiology	1)昆虫の機能利用 1)Insect biotechnology 2)昆虫休眠の分子機構 2)Molecular mechanism of insect diapause
農博 寺内 良平 (岩手) Dr.Agr. TERAUCHI, Ryohei(I)	植物遺伝学 Plant Genetics	組み換え植物の作出に関する研究 Researches on transgenic plants
博(理) 西原 昌宏 (岩手) Dr.Sc. NISHIHARA, Masahiro(I)	植物分子育種学 Plant Molecular Breeding	植物分子育種におけるバイオテクノロジーの基礎及び応用概論 Basic and applied biotechnology for plant molecular breeding
農博 吉川 信幸 (岩手) Dr.Agr. YOSHIKAWA, Nobuyuki(I)	植物病理学 Plant Pathology	寒冷地果樹ウイルスのゲノムの構造と機能に関する研究 Structure and function of the genomes of the viruses isolated from fruit trees
理博 三橋 渉 (山形) Dr.Sc. MITSUHASHI, Wataru(Y)	植物生化学 Plant Biochemistry	植物体細胞胚の形成機構の研究 Study on Plant Somatic Embryogenesis

生物環境科学専攻 Specialty : Science of Biotic Environment

地域資源経済学連合講座 Division : Rural Resource Economics

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
博(学) 姜 興起 (帯広) Dr.Ph. KYO, Koki(O)	統計学 Statistics		統計データ解析・地域経済の統計分析・農業経済の統計分析 Statistical Data Analysis/Statistical Analysis of Regional Economy/Statistical Analysis of Agricultural Economy
農博 澤田 学 (帯広) Dr.Agr. SAWADA, Manabu(O)	農業経済学 Agricultural Economics		食料需要分析・食品安全性の経済評価・甘味資源政策の厚生分析 Food Demand Analysis / Economic Evaluation of Food Safety / Welfare Analysis of Sweetener and Sweetener Crop Policy
博(農) 仙北谷 康 (帯広) Dr.Agr. SEMBOKUYA, Yasushi(O)	農業経済学 Agricultural Economics		農場における衛生管理高度化の経済分析・農産物流通の比較構造分析 Economic Analysis on the Development of Farm Level Hygiene Management / Comparative Analysis on the Distribution System of Agricultural Products
農博 樋口 昭則 (帯広) Dr.Agr. HIGUCHI, Akinori(O)	農業経営学 Farm Management		農業経営計画及び地域農業計画に関する理論と応用 Theoretical and applied studies on farm and regional agricultural planning
博(農) 泉谷 眞実 (弘前) Dr.Agr. IZUMIYA, Masami(H)	農業市場学 Agricultural Marketing		廃棄バイオマスのリサイクルに関する経済分析 Economic Analysis of Waste Biomass Recycling
農博 神田 健策 (弘前) Dr.Agr. KANDA, Kensaku(H)	協同組合学 Co-operative Studies		現代社会における協同組合の機能・組織の役割と関係 Study on the function and role of co-operatives in modern society
農博 澁谷 長生 (弘前) Dr.Agr. SHIBUYA, Cyousei(H)	農業経済学 Agricultural Economics		地域資源管理システムに関する研究 Study on systems of regional resource management
農博 岡田 秀二 (岩手) Dr.Agr. OKADA, Shuji(I)	山村経済論 Economics of Mountain Village		山村経済の構造変貌と地域開発政策・山村政策の展開 Study on the regional development and the structure of mountain village economy
博(農) 木下 幸雄 (岩手) Ph.D. KINOSHITA, Yukio(I)	農業経営・経済学 Farm management and Agricultural economics		農業経営の成長に関する研究・農業水管理制度の国際比較 Farm growth management, international comparison of institution for water management in agriculture
農博 玉 真之介 (岩手) Dr.Agr. TAMA, Shinnosuke(I)	農業経済学・農業史 Agricultural Economics, Agricultural History		日本農業の社会経済的性格についての考察 Socio-economic study on Japanese agriculture
文博 岩鼻 通明 (山形) Dr.Lit. IWAHANA, Michiaki(Y)	環境地理学 Environmental Geography		山村の環境と開発に関する研究 Study on the environment and development of mountain village
農博 小沢 互 (山形) Dr.Agr. OZAWA, Wataru(Y)	農業経済学 Agricultural Economics		経営の効率性に関する研究・農村地域の合意形成に関する研究 Study on management efficiency / Study on consensus-building of rural area
農博 菊間 満 (山形) Dr.Agr. KIKUMA, Mitsuru(Y)	林業経済学 Forest Economy		山林の資源管理と木材・住宅市場に関する経済理論と政策 Economic theory and policy on resources management of mountain village and wood house market
博(農) 金 成学 (山形) Dr.Agr. KIM, Songaku(Y)	食料経済学 Food Economics		食品安全確保システム構築に関する社会・経済的研究 Socio and Economical Study on Food Safety System

地域環境工学連合講座 Division : Agricultural and Environmental Engineering

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
農博 岸 本 正 (帯広) Dr.Agr. KISHIMOTO, Tadashi(O)	農業機械学 Agricultural Machinery		1)農用車両走行装置の動力学的特性の解析 1)Dynamics of traction device of agricultural vehicle 2)家畜ふん尿の土壌還元技術に関する研究 2) Development of application technology for dairy manure slurry
農博 佐 藤 禎 稔 (帯広) Dr.Agr. SATOW, Tadatoshi(O)	農業機械学 Agricultural Machinery		1)農業機械のメカトロニクス化に関する研究 1)Studies on mechatronics in agricultural machinery 2)環境保全のための農薬散布技術の開発 2)Development of agrochemical application technology for environmental preservation
理博 武 田 一 夫 (帯広) Dr.Sc. TAKEDA, Kazuo(O)	雪氷学・寒地工学 Cold Regions Science and Technology		寒冷地域における雪氷現象の解明, 自然環境の保全・防災に関わる雪氷・土壌凍結・緑化技術の研究 Research of science and technology on environmental preservation and prevention disasters in cold regions
農博 辻 修 (帯広) Dr.Agr. TSUJI, Osamu(O)	農地保全学 Soil and Water Conservation		1)寒冷地における土壌浸食防止 1)Water and wind erosion in cold regions 2)GIS を用いた耕地防風林存続に関する研究 2)Conservation of windbreaks using GIS
農博 泉 完 (弘前) Dr.Agr. IZUMI, Mattashi(H)	農業水文学 Irrigation, Drainage and Hydraulic Engineering		水利構造物の水理設計と水田用水量 Hydraulic design of hydraulic facilities and water requirement
農博 工 藤 明 (弘前) Dr.Agr. KUDO, Akira(H)	環境水文学 Environmental water use engineering		1)森林流域からの流出、流出負荷量について 1)Runoff and effluent load on forested catchments 2)農村地帯の水環境と水質改善 2)Water environment and water quality conservation in rural areas
農博 佐々木 長 市 (弘前) Dr.Agr. SASAKI, Choichi(H)	農地工学 Agricultural Land Engineering		降下浸透水の浸透型が層内諸現象に及ぼす影響に関する研究 Studies on the influence of percolation pattern in seepage water on several phenomena in a layer
農博 高 橋 照 夫 (弘前) Dr.Agr. TAKAHASHI, Teruo(H)	農業情報工学 Agricultural Information Engineering		1)地域・環境及び農業分野における情報システム・ネットワークの利用向上 1)Improvement of information system and network for agriculture 2)農業分野におけるマシンビジョンの応用 2)Application of machine vision for agriculture
農博 張 樹 槐 (弘前) Dr.Agr. ZHANG, Shu Huai(H)	農業機械学 Agricultural Machinery		1)画像処理技術の農業への応用 1)Applications of image processing technology for agriculture 2)農産物品質の非破壊計測 2)Non-destructive measurements for agricultural product's quality
農博 倉 島 栄 一 (岩手) Dr.Agr. KURASHIMA, Eiichi(I)	水文学 Hydrology		大気と地表の熱交換が関与する流出の研究 Research on watershed runoff relevant to heat transfer at the air-ground interface
農博 古 賀 潔 (岩手) Dr.Agr. KOGA, Kiyoshi(I)	農地土工学 Agricultural Land and Soil Engineering		農業・農地における土壌の理工学性 Physical and mechanical characteristics of soils in agriculture and agricultural land
博(農) 小 林 幹 佳 (岩手) Dr.Agr. KOBAYASHI, Motoyoshi(I)	水利環境工学 Water Environmental Engineering		水・土環境に関わるコロイド現象の基礎的研究 Colloid science and technology
工博 颯 田 尚 哉 (岩手) Dr.Eng. SATTA, Naoya(I)	環境工学 Environmental Engineering		土壌－水系における物質移動に関わる実験的理論的研究 Experimental and theoretical studies on transport of elements in water-soil system
農博 武 田 純 一 (岩手) Dr.Agr. TAKEDA, Jun-ichi(I)	農業機械学 Agricultural Machinery		農作業システムの自動化 Automation for agricultural systems
農博 広 田 純 一 (岩手) Dr.Agr. HIROTA, Jun-ichi(I)	農村計画学 Rural Planning		農村地域の整備と保全に関わる計画と政策 Rural planning and rural development
農博 廣 間 達 夫 (岩手) Dr.Agr. HIROMA, Tatsuo(I)	農業機械学 Agricultural Machinery		オフロード車両の走行力学 Off road vehicle traction mechanics
農博 三 輪 弼 (岩手) Dr.Agr. MIWA, Hajime(I)	河川構造物論 Problems on Hydraulic Structures		河川構造物(堰, 床止め, 護岸, 堤防など)の計画・設計・管理 Planning, design and operation of hydraulic structures (diversion dams, river protection works, embankments, etc.)
農博 安 中 武 幸 (山形) Dr.Agr. ANNAKA, Takeyuki(Y)	土壌物理学 Soil Physics		土壌における水と物質の移動機構に関する理論と応用 Mechanism of moisture and solute movement in soils
農博 大久保 博 (山形) Dr.Agr. OKUBO, Hiroshi(Y)	河川環境工学・農業水文学 Stream conservation and agricultural water use engineering		河川環境工学および農業水文学に関する基礎および理論と応用 Fields research and analysis of influences and impacts of human activity to stream, river and agricultural channel bio-environment aimed to countermeasures
博(農) 奥 山 武 彦 (山形) Dr.Agr. OKUYAMA, Takehiko(Y)	農村工学 Rural engineering		地盤環境の調査・計測 Survey of underground environment

地域環境管理学連合講座 Division : Environmental Resource Management

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
医博 岩 佐 光 啓 (帯広) M.D. IWASA, Mitsuhiro(O)	昆虫分類学・環境昆虫学	Insect Taxonomy Environmental Entomology	畜産に関連する双翅目ハエ類の分類, 生態, 疫学に関する研究 Studies of taxonomy, ecology and epidemiology of dipterous flies associated with agriculture and veterinary medicine
理博 押 田 龍 夫 (帯広) Dr.Sc. OSHIDA, Tatsuo(O)	野生動物学	Mammalogy	哺乳類の生態学および系統地理学的研究 Ecological and phylogeographical studies of wild mammals
農博 仲 島 義 貴 (帯広) Dr.Agr. NAKASHIMA, Yoshitaka(O)	害虫管理学	Pest management	昆虫生態学・生物的防除 Biological control and insect ecology
博(農) 平 田 昌 弘 (帯広)	牧野生態学	Rangeland Ecology	1)乾燥地での牧野生態系と環境保全の研究 1)Study on rangeland ecology and environmental conservation in dry areas 2)乾燥地での牧畜生産と乳文化論の研究 2)Study on subsistence and milk culture of pastoralists in dry areas
農博 本 江 昭 夫 (帯広) Dr.Agr. HONGO, Akio(O)	草地学	Grassland Science	植物の放牧適性, および過放牧による草地の砂漠化の防止 Adaptability of plants to grazing, and control of desertification of overgrazed pasture
農博 柳 川 久 (帯広) Dr.Agr. YANAGAWA, Hisashi(O)	野生動物管理学	Wildlife Management	哺乳類と鳥類の生態, 分類, 保護及び管理に関する研究 Mammalogy and ornithology for wildlife management
理博 檜 垣 大 助 (弘前) Dr.Sc. HIGAKI, Daisuke(H)	砂防学・応用地形学	Erosion Control Engineering, Engineering Geomorphology	山地流域管理と斜面災害対策に関する研究 Mountain watershed management, landslide hazard management
農博 青 井 俊 樹 (岩手) Dr.Agr. AOI, Toshiki(I)	野生動物管理学	Wildlife Management	野生動物の生態と生息環境のあり方に関する理論と方法 Study for relationship between habitat management and wildlife ecology
学博 井良沢 道 也 (岩手)	砂防学	Erosion Control Engineering	1)土砂移動現象の解明と防止に関する研究 1)Study for technique on prevention of soil erosion 2)森林における水文特性の解明及び緑化に関する研究 2)Study for hydrological characteristic in the forest and technique of revegetation
農博 澤 口 勇 雄 (岩手) Dr.Agr. SAWAGUCHI, Isao(I)	森林管理学	Forest Management	森林生産基盤の整備計画法に関する理論と応用 Theoretical and applied study on forest-road networks design
農博 関 野 登 (岩手) Dr.Agr. SEKINO, Noboru(I)	木質材料学	Wood-based Material	木質複合材料の製造技術と応用 Production technology and utilization of wood-based composites
農博 橋 本 良 二 (岩手) Dr.Agr. HASHIMOTO, Ryoji(I)	森林育成学	Sylvicultural Science	森林の更新・生産過程における木本種の環境生理 Environmental physiology of woody plant species in regeneration and production processes of forests
農博 比屋根 哲 (岩手) Dr.Agr. HIYANE, Akira(I)	森林計画学・環境教育論	Forest Planning Environmental Education	1)国有林における森林施業史の分析 1)The history of forest working system in Japan national forest 2)環境教育における教育評価手法 2)The evaluation method of environmental education
農博 小野寺 弘 道 (山形) Dr.Agr. ONODERA, Hiromichi(I)	森林雪氷学・砂防学	Forest and Snow Science, Erosion Control Engineering	積雪環境と森林の動態に関する研究 Studies on snow environment and forest dynamics
農博 小 山 浩 正 (山形) Dr.Agr. KOYAMA, Hiromasa(Y)	地域生態学	Regional Ecology	森林の動態及び更新技術の研究 Forest dynamics and regeneration techniques
農博 高 橋 教 夫 (山形) Dr.Agr. TAKAHASHI, Norio(Y)	森林経理学	Forest Management	森林施業および森林調査の理論・技術 Theory and application of forest management and forest inventory
農博 野 堀 嘉 裕 (山形) Dr.Agr. NOBORI, Yoshihiro(Y)	森林情報学	Forest Intelligence	森林情報の多目的利用 Multi-purpose inventory of forest information
農博 林 田 光 祐 (山形) Dr.Agr. HAYASHIDA, Mitsuhiro(Y)	森林生態学	Forest Ecology	森林群集の生態の解明とそれを用いた生物多様性の保全 Ecology of forest community and conservation of biodiversity

第2章 各種委員会等

1 研究科教授会

(1) 構成員

平成 22 年 4 月 1 日現在

連合講座	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
研究科長	平 秀晴			
研究科長補佐	比屋根 哲			
植物生産学 (16 人)	壽松木 章 星野 次汪 魚住 順 小森 貞男 佐川 了 築城 幹典	荒川 修 葛西 身延 伊藤 大雄 大河 浩 松山 信彦	平 智 西澤 隆 安藤 豊 藤井 弘志	花田 正明
動物生産学 (18 人)	喜多 一美 佐野 宏明 高橋 壽太郎 橋爪 力 小田 伸一 出口 善隆 松原 和衛	鈴木 裕之 松崎 正敏	高橋 敏能 木村 直子 堀口 健一 吉田 宣夫	鈴木 三義 桑山 秀人 門平 睦代 河合 正人 柏村 文郎
生物制御学 (15 人)	河合 成直 溝田 智俊 磯貝 雅道	青山 正和 佐野 輝男 佐原 雄二 比留間 潔 田中 和明	俵谷 圭太郎 生井 恒雄 安田 弘法 佐藤 智 長谷 修	筒木 潔 小池 正徳
生物機能開発学 (18 人)	平 秀晴 坂本 裕一 山下 哲郎	石黒 誠一 石田 幸子 大町 鉄雄 片方 陽太郎 黒尾(片倉)正樹 鮫島 正純 橋本 勝 宮入 一夫 殿内 暁夫	上木 厚子 加来 伸夫 小関 卓也	大和田 琢二 小嶋 道之 得字 圭彦
ゲノム工学 (14 人)	高畑 義人 堤 賢一 横井 修司	菊池 英明 原田 竹雄 姫野 俵太 牛田 千里 柏木 明子 千田 峰生 福島 雅志	阿部 利徳 佐藤 英世	三浦 秀穂 加藤 清明

連合講座	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
生物資源利用学 (19 人)	菅原 悦子 長澤 孝志 伊藤 芳明 木村 賢一		五十嵐 喜治 高橋 孝悦 夏賀 元康 貫名 学	大西 正男 小田 有二 福島 道広 木下 幹朗
熱・生命システム学 (19 人)	伊藤 菊一 上村 松生 岡田 益己 小栗栖 太郎 新貝 鉦蔵 鈴木 幸一 安 嬰 菅野 洋光 鮫島 良次 寺内 良平 河村 幸男 斎藤 靖史	石川 隆二 杉山 修一 赤田 辰治	三橋 渉	日高 智 倉持 勝久 山本 紳朗
地域資源経済学 (16 人)	岡田 秀二 玉 真之介 木下 幸雄 柴崎 茂光 山本 信次	神田 健策 澁谷 長生 武田 共治	岩鼻 道明 小沢 互 菊間 満 家串 哲生 金 成学 角田 毅	樋口 昭則 仙北谷 康
地域環境工学 (17 人)	倉島 栄一 古賀 潔 武田 純一 広田 純一 三輪 式	工藤 明 佐々木 長市 高橋 照夫 張 樹槐 藤崎 浩幸	安中 武幸 大久保 博	武田 一夫 岸本 正 佐藤 禎稔 辻 修 宗岡 寿美
地域環境管理学 (15 人)	青井 俊樹 橋本 良二 比屋根 哲 東 淳樹 國崎 貴嗣	檜垣 大助 石田 清	小野寺 弘道 高橋 教夫 野堀 嘉裕 小山 浩正	本江 昭夫 押田 龍夫 柳川 久 紺野 康夫
(167 人)	(55 人)	(41 人)	(38 人)	(33 人)

(2) 審議事項

開催年月日	審 議 事 項
平成 22 年 9 月 8 日	1 平成 22 年 10 月入学者選抜試験合格者の選考について 2 平成 22 年 10 月入学者選抜試験合格予定者の研究題目及び指導教員（補助教員を含む）の決定について 3 学位授与の認定について 4 単位制学生の修了認定について 5 平成 22 年度教員資格審査について
平成 23 年 2 月 10 日	1 連合農学研究科長候補者の決定について 2 平成 23 年 4 月入学者選抜試験合格者の選考について 3 平成 23 年 4 月入学者選抜試験合格予定者の研究題目及び指導教員（補助教員を含む）の決定について 4 学位授与の認定について 5 単位制学生の修了認定について 6 平成 23 年度連合農学研究科予算配分基本方針等について 7 連合農学研究科専攻毎の人材養成目標について 8 平成 23 年 10 月入学学生募集要項（案）について

2 代議員会

(1) 平成 22 年度委員

役職・専攻	連合講座	氏 名	所属大学
研究科長		平 秀 晴	
研究科長補佐		比屋根 哲	
生物生産科学	植物生産学	葛 西 身 延	弘前大学
	動物生産学	柏 村 文 郎	帯広畜産大学
	動物生産学	佐 野 宏 明	岩手大学
	生物制御学	筒 木 潔	帯広畜産大学
生物資源科学	生物機能開発学	大 町 鉄 雄	弘前大学
	ゲノム工学	菊 池 英 明	弘前大学
	生物資源利用学	小 田 有 二	帯広畜産大学
	生物資源利用学	村 山 哲 也	山形大学
寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	伊 藤 菊 一	岩手大学
生物環境科学	地域資源経済学	小 沢 互	山形大学
	地域環境工学	安 中 武 幸	山形大学
	地域環境管理学	青 井 俊 樹	岩手大学

(2) 審議事項

開 催 年 月 日	審 議 事 項
平成 22 年 4 月 7 日	1 平成 22 年度連合農学研究科予算配分基本方針（案）について 2 平成 22 年度連合農学研究科長裁量経費について 3 平成 22 年度教員資格審査及び再審査の実施について 4 学位論文の受理及び学位審査委員会の設置について 5 学生の異動について 6 14 条特例制度申請者について 7 長期履修制度申請者について 8 指導教員の変更について 9 中間発表会の実施について 10 TA・RA の決定について 11 連合農学研究科研究員の受入について 12 平成 22 年度教員会議及び新入生歓迎会について

開 催 年 月 日	審 議 事 項
平成 22 年 5 月 14 日	1 平成 22 年度代議員会重点検討事項について 2 平成 22 年度科学コミュニケーション（合宿ゼミ）の実施計画について 3 連合農学研究科規則の一部改正（案）について 4 平成 22 年度連合農学研究科予算配分（案）について 5 研究科長裁量経費からの学生交通費等の支援について 6 連携機関以外での研究インターンシップの申請について 7 指導教員の変更について 8 T A 及び R A の決定について
平成 22 年 6 月 11 日	1 教員資格審査委員会の設置について 2 主指導教員の再審査について 3 研究インターンシップについて 4 指導教員の変更について 5 岩手大学大学院連合農学研究科研究員の研究中止について
平成 22 年 7 月 16 日	1 学位論文の受理及び学位審査委員会の設置について 2 平成 22 年 10 月入学者資格認定について 3 平成 22 年 10 月入学者出願に伴う入試委員の推薦及び委嘱について 4 平成 23 年 4 月学生募集要項（案）について 5 岩手連大の学生表彰について（9 月課程修了者分） 6 専攻会議の開催について
平成 22 年 8 月 5 日	1 平成 22 年 10 月入学者の出願状況及び入学試験等委員会委員の委嘱について 2 平成 22 年度岩手大学大学院博士課程研究遂行協力員制度の申請について 3 岩手大学大学院連合農学研究科研究員研究期間変更願について
平成 22 年 9 月 8 日	1 平成 22 年 10 月入学者選抜試験合格者の選考について 2 平成 22 年 10 月入学者選抜試験合格予定者の研究題目及び指導教員（補助教員を含む）の決定について 3 学位論文審査結果及び学位授与の認定について 4 指導教員（補助教員を含む）の変更について 5 連携機関以外での研究インターンシップの申請について 6 岩手大学大学院連合農学研究科研究員研究期間の変更について 7 長期履修制度申請者について 8 専攻及び科目名の英文表記について 9 平成 22 年度連大専攻会議について
平成 22 年 10 月 8 日	1 学位論文の受理及び学位審査委員会の設置について 2 連合農学研究科長候補者の選考実施計画等について 3 指導教員の変更について 4 平成 22 年度岩手大学大学院博士課程研究遂行協力員制度への申請について 5 学生の異動について 6 14 条特例制度申請者について 7 連合農学研究科研究員の受入について 8 平成 22 年 10 月入学に係る連合農学研究科追加予算配分（案）について 9 平成 23 年度連合農学研究科行事日程（案）について

開 催 年 月 日	審 議 事 項
平成22年11月12日	1 平成23年4月入学者選抜試験出願資格認定審査について 2 学位論文提出者の提出資格確認について 3 指導教員等の指名についての原則の一部改正について 4 連合農学研究科学生への交通費支給基準の一部改正について 5 連合農学研究科専攻毎の人材養成目標について 6 長期履修者の期間変更について 7 (財)飯島記念食品科学振興財団外国人留学生研究助成の推薦について 8 平成23年度連合農学研究科行事日程(案)について
平成23年1月7日	1 研究科長候補者(3名)の決定について 2 学位論文の受理及び学位審査委員会の設置について 3 平成23年4月入学者選抜試験について 4 平成23年10月入学者学生募集要項(案)について 5 連合農学研究科専攻毎の人材養成目標について 6 平成23年度連合農学研究科予算配分基本方針(案)について 7 平成23年度リサーチアシスタントの基本方針(案)について 8 連合農学研究科ティーチングアシスタント取扱要領の廃止について 9 研究インターンシップについて 10 指導教員等の指名についての原則の一部を改正する規則(案)について 11 教育研究業績書の記載事項について 12 点検評価委員会報告について 13 平成23年度各種講義の講師選定について 14 平成22年度学位記伝達式及び学位授与祝賀会について 15 平成23年度連合農学研究科行事日程(案)について
平成23年1月24日	1 研究科長候補者選挙結果について 2 平成23年度連合農学研究科予算配分基本方針(案)について
平成23年2月10日	1 平成23年4月入学者選抜試験合格者の選考について 2 平成23年4月入学者選抜試験合格予定者の研究題目及び指導教員(補助教員を含む)の決定について 3 学位論文審査結果及び学位授与の認定について 4 学位論文の受理及び学位審査委員会の設置について 5 平成23年3月期連合農学研究科学生表彰者について 6 平成22年度連合農学研究科第一種奨学金返還免除候補者の選考について 7 指導教員(補助教員を含む)の変更について 8 平成23年度予算配分方針に係る基本的考え方について 9 平成23年度リサーチアシスタント(RA)経費に関する基本方針について(案) 10 広報編集委員会委員の選出について 11 修了予定者(有志)による懇談会の開催について 12 平成23年度入学式及び新入生に対するオリエンテーションについて

第3章 有資格教員一覧

平成22年4月1日現在

専攻	連 合 講 座	弘前大学						岩手大学					
		主指導教員	副指導教員				人数	主指導教員	副指導教員				人数
			教授	准教授	講師	助教			教授	准教授	講師	助教	
生物生産科学	植物生産学	荒川 修 葛西 身延 川崎通夫※		伊藤 大雄 大河 浩 本多 和茂 前田 智雄 松山 信彦			8	黒田 榮喜 壽松木 章 星野 次汪		小森 貞男 佐川 了 下野 裕之 庄野 浩資 立澤 文見 築城 幹典 松嶋 卯月 魚住 順○			11
	動物生産学	鈴木 裕之 松崎正敏※					2	喜多 一美 佐野 宏明 高橋壽太郎 橋爪 力 松原和衛※ 渡邊 彰○		小田 伸一 出口 善隆 村元 隆行		澤井 健	10
	生物制御学	青山 正和 佐野 輝男 比留間 潔 田中和明※	佐原 雄二	松岡 教理			6	河合 成直 溝田 智俊		磯貝 雅道 立石 貴浩			4
生物資源科学	生物機能開発学	石黒 誠一 大町 鉄雄 片方陽太郎 黒尾(片倉)正樹 鮫島 正純 橋本 勝 宮入 一夫 石田 幸子		殿内 暁夫 吉田 孝			10	磯部 公安 平 秀晴		山下 哲郎 荒木功人* 坂本裕一○ 矢野 明○		若林篤光*	7
	ゲノム工学	菊池 英明 原田 竹雄 姫野 俵太 牛田千里※ 千田峰生※ 福澤雅志※		柏木 明子			7	高畑 義人 堤 賢一		横井 修司			3
	生物資源利用学	戸羽 隆宏		園木 和典		前多 隼人	3	長澤 孝志 菅原 悦子 木村賢一※ 小藤田久義※ 塚本知玄※ 三浦 靖※ 岡部敏弘○		伊藤 芳明 小出 章二 前田 武己 内沢秀光○			11
寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	石川 隆二 杉山 修一 赤田辰治※					3	伊藤 菊一 上村 松生 岡田 益己 鈴木 幸一 吉川 信幸 新貝御蔵* 一ノ瀬充行* 佐藤拓己※* 寺内良平○ 西原昌宏○ 菅野洋光○ 鮫島良次○	小栗栖太郎*	河村 幸男 斎藤 靖史 松浦哲也*	安 嬰		17
生物環境科学	地域資源経済学	神田 健策 瀧谷 長生 泉谷真実※		武田 共治			4	岡田 秀二 玉 真之介 木下幸雄※		柴崎 茂光 山本 信次			5
	地域環境工学	泉 完 工藤 明 佐々木長市 高橋 照夫 張 樹槐※		藤崎 浩幸			6	倉島 栄一 古賀 潔 颯田 尚哉 武田 純一 広田 純一 三輪 式 小林幹佳※ 廣間達夫※		三宅 諭 山本 清仁			10
	地域環境管理学	檜垣 大助		石田 清 東 信行 萩原 守			4	青井 俊樹 澤口 勇雄 関野 登 橋本 良二 比屋根 哲 井良沢道也※	立川 史郎	國崎 貴嗣 桐原慎二○	東 淳樹 松木佐和子		11
人 数 計		36	1	15	0	1	53	51	2	31	3	2	89

主指導教員の※印は准教授

○印は客員教員，*印は工学研究科

山形大学						帯広畜産大学						人数合計							
主指導教員	副指導教員				人数	主指導教員	副指導教員				人数	主指導		副指導				計	
	教授	准教授	講師	助教			教授	准教授	講師	助教		教授	准教授	教授	准教授	講師	助教		
安藤 豊 平 智 西澤 隆 藤井 弘志 村山 秀樹					5	堀川 洋		花田 正明			2	11	1	0	14	0	0	26	
高橋 敏能 戸津川 清 吉田 宣夫 堀口 健一 木村直子※					5	柏村 文郎 鈴木 三義 福井 豊 桑山 秀人 手塚 雅文 門平睦代※		河合 正人 木田 克弥 古村 圭子		瀬尾 哲也 松長 延吉	11	15	4	0	6	0	3	28	
生井 恒雄 安田 弘法 俵谷圭太郎		佐藤 智 長谷 修			5	筒木 潔 小池 正徳 谷 昌幸※		橋本 靖			4	10	2	1	6	0	0	19	
上木 厚子 小関卓也※		加来 伸夫			3	後藤 健 小嶋道之※		大和田琢二 得字 圭彦			4	12	2	0	9	0	1	24	
阿部 利徳 佐藤 英世		笹沼 恒男 豊増 知伸			4	三浦 秀穂 加藤清明※				大西 一光	3	8	4	0	4	0	1	17	
五十嵐喜治 高橋 孝悦 貫名 学 村山 哲也 夏賀 元康		芦谷 竜矢 塩野 義人			7	大西 正男 小田 有二 福島 道広 木下幹朗※ 弘中和憲※	小崎 浩	島田謙一郎 中村 正		岡田 朋子 韓 圭鎬	10	12	6	1	9	0	3	31	
三橋 渉					1	山本 紳朗 日高 智	倉持 勝久				3	16	2	2	3	1	0	24	
岩鼻 通明 小沢 互 菊間 満 金 成学※		家串 哲生 角田 毅			6	姜 興起 澤田 学 樋口 昭則 仙北谷康※					4	10	4	0	5	0	0	19	
安中 武幸 大久保 博 奥山 武彦		石川 雅也			4	武田 一夫 辻 修 岸本 正※ 佐藤禎稔※	前多 修二	宗岡 寿美	宮竹 史仁		7	16	4	1	5	1	0	27	
小野寺弘道 小山 浩正 高橋 教夫 野堀 嘉裕 林田 光祐					5	岩佐 光啓 本江 昭夫 柳川 久※ 押田龍夫※ 仲島義貴※ 平田昌弘※		紺野 康夫		高田まゆら	8	14	4	1	6	2	1	28	
35	0	10	0	0	45	35	3	11	1	6	56	124	33	6	67	4	9	243	

第4章 そ の 他

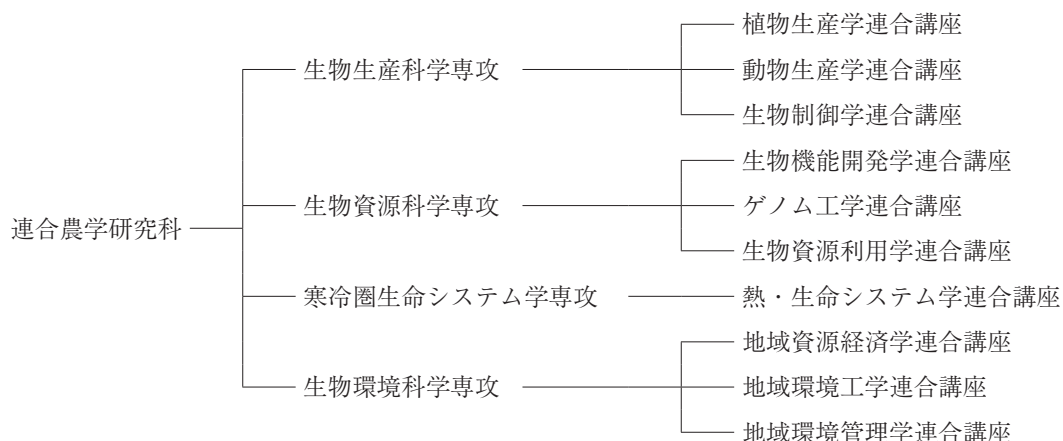
1 組 織

1 設置の趣旨

本研究科は、弘前大学の大学院農学生命科学研究科、岩手大学並びに山形大学の2大学院農学研究科(修士課程)及び帯広畜産大学の大学院畜産学研究科(修士課程)の教員組織、研究設備及び施設の連合により設立された。各大学は、それぞれ教育・研究活動の面において特色を備えている。本研究科の設置の目的は、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育研究体制を整えることによって、生物生産科学、生物資源科学、寒冷圏生命システム学、生物環境科学に関する先端的・学際的諸研究を推進しようとするものである。これらの研究及びゼミナールを通じて、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と関連産業並びに社会の発展に寄与するものである。また、本研究科は、学術の国際交流を積極的に進める体制を作り、最近著しく増加しつつある外国人留学生の受け入れについて、積極的に応じている。

2 研究科の構成

本研究科には、生物生産科学、生物資源科学、寒冷圏生命システム学、生物環境科学の4専攻、10連合講座が置かれている。生物生産科学専攻は植物生産学、動物生産学、生物制御学の3連合講座から、生物資源科学専攻は生物機能開発学、ゲノム工学、生物資源利用学の3連合講座から、寒冷圏生命システム学専攻は熱・生命システム学の1連合講座から、また生物環境科学専攻は地域資源経済学、地域環境工学、地域環境管理学の3連合講座からなっている。



* 「連携大学院」

協定先：(財) 岩手生物工学研究センター

住 所：岩手県北上市成田 22-174-4 協定締結：平成 13 年 4 月 1 日

協定先：(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター

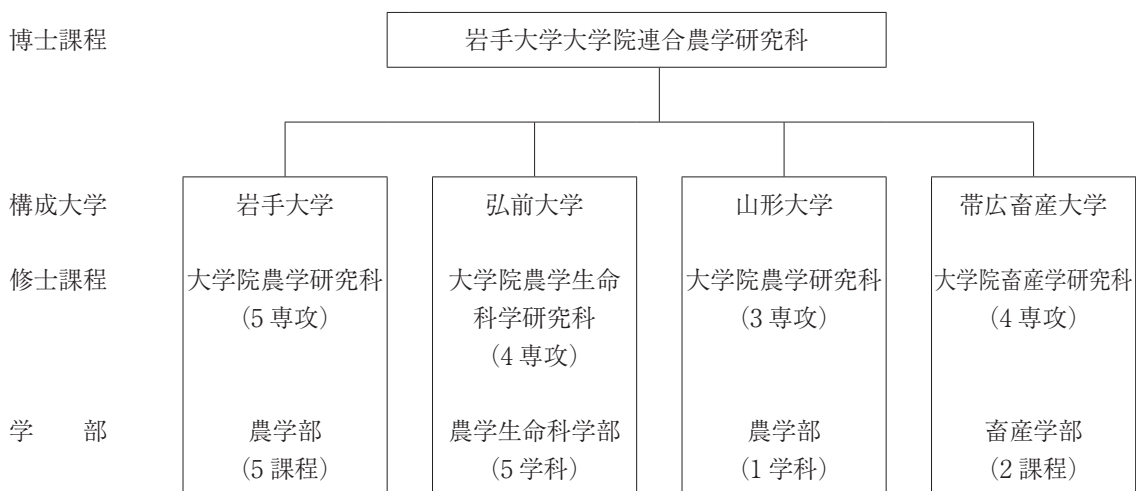
住 所：岩手県盛岡市下厨川字赤平 4 協定締結：平成 18 年 4 月 2 日

協定先：(地独) 青森県産業技術センター

住 所：青森県黒石市田中 82-9 協定締結：平成 22 年 4 月 1 日

3 研究科の基盤組織

本研究科は、弘前大学大学院農学生命科学研究科，岩手大学大学院農学研究科，山形大学大学院農学研究科，帯広畜産大学大学院畜産学研究科（修士課程）及び各大学の附属施設等を基盤として編成されている。各大学の研究科（修士課程）と密接な連携のもとに運営されているが，それぞれの研究科とは別の独立した研究科であり，後期3年のみの博士課程である。



2 予 算 規 模（平成 22 年度）

(1) 運営費

（千円）

大学名等	示達額	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	共通経費	合 計
配分額	200,354	48,497	39,971	34,589	36,453	40,844	200,354

共通経費は，構成大学全体の運営費として設置大学に留め置き執行する。

(2) ティーチング・アシスタント経費及びリサーチ・アシスタント経費

（千円）

区 分	示達額	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
ティーチング・アシスタント	13,810	1,560	780	975	1,170
リサーチ・アシスタント		2,691	3,588	1,196	299
合 計	13,810	4,251	4,368	2,171	1,469

3 主 な 行 事

年 月 日	曜	審 議 事 項
平成 22. 4. 7	水	入学式・新入生オリエンテーション 第 235 回代議員会（多地点システム）
4. 21	水	構成大学教員会議（岩手大学）
4. 22	木	構成大学教員会議（弘前大学）
4. 23	金	構成大学教員会議（山形大学）
4. 26	月	論文博士学位申請受付（9 月期）（5 月 7 日まで）
5. 7	金	構成大学教員会議（帯広畜産大学）
5. 14	金	第 236 回代議員会（弘前大学）
5. 21	金	教員資格審査候補者推薦締切
6. 3	木	全国連合農学研究科協議会（研究科長会議・全体会議）（4 日まで）
6. 4	金	岩手連大構成大学研究科長等連絡会
6. 11	金	第 237 回代議員会（多地点システム）
6. 16	水	農学特別講義Ⅱ（日本語）（多地点システム）（18 日まで）
6. 21	月	課程博士学位論文受付（9 月期）（7 月 2 日まで）
7. 15	木	点検評価委員会
7. 16	金	第 238 回代議員会
		教員資格審査委員会
7. 26	月	平成 22 年 10 月入学入学願書受付（7 月 30 日まで）
8. 5	木	第 239 回代議員会（メール会議）
8. 23	月	科学コミュニケーション（合宿ゼミ）（山形大学）（25 日まで）
9. 7	火	平成 22 年 10 月入学者選抜試験 入学試験委員会 点検評価委員会
9. 8	水	第 240 回代議員会 専攻会議 第 53 回研究科教授会
9. 16	水	平成 22 年 10 月入学合格者発表
9. 24	金	平成 22 年 9 月期岩手大学大学院修了式 平成 22 年 9 月期連合農学研究科学学位記伝達式
10. 1	金	入学式・新入生オリエンテーション（多地点システム） 教員資格取得者研修
10. 7	木	点検評価委員会
10. 8	金	第 241 回代議員会
10. 12	火	論文博士学位申請受付（3 月期）（22 日まで）

11. 4	木	全国連合農学研究科協議会（研究科長会議）（5日まで）
11. 9	火	モンゴル国際シンポジウム（10日まで）
11. 11	木	研究インターンシップ報告会
11. 12	金	点検評価委員会 第242回代議員会
11. 17	水	農学特別講義Ⅰ（英語）（多地点システム）（19日まで）
11. 24	水	平成23年4月入学入学願書受付（11月29日まで）
12. 6	月	課程博士学位論文受付（3月期）（17日まで）
12. 8	水	岩手連大構成法人間連絡調整委員会
平成23. 1. 7	金	点検評価委員会 第243回代議員会
1. 24	月	第244回代議員会
2. 9	木	平成23年4月入学者選抜試験 入学試験委員会
2. 10	金	点検評価委員会 第245回代議員会 第54回研究科教授会
2. 23	水	平成23年4月入学合格者発表

平成22年度広報編集委員会委員名簿

委員長：比屋根 哲（岩手大学 教授・大学院連合農学研究科 研究科長補佐）

委員：颯田 尚哉（岩手大学 教授）

伊藤 芳明（岩手大学 准教授）

田中 和明（弘前大学 准教授）

赤田 辰治（弘前大学 准教授）

加来 伸夫（山形大学 准教授）

金 成学（山形大学 准教授）

桑山 秀人（帯広畜産大学 教授）

押田 龍夫（帯広畜産大学 准教授）

表紙写真

岩手大学リモート・センシングデータ解析室提供

岩手大学大学院連合農学研究科年報

The United Graduate School
of Agricultural Sciences, Iwate University
(doctoral course)

第13号 平成24年12月 発行

〈編集〉岩手大学大学院連合農学研究科

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

電話 (019) 621-6247

FAX (019) 621-6248

Eメール rendai@iwate-u.ac.jp

ホームページ <http://ugas.agr.iwate-u.ac.jp/>

